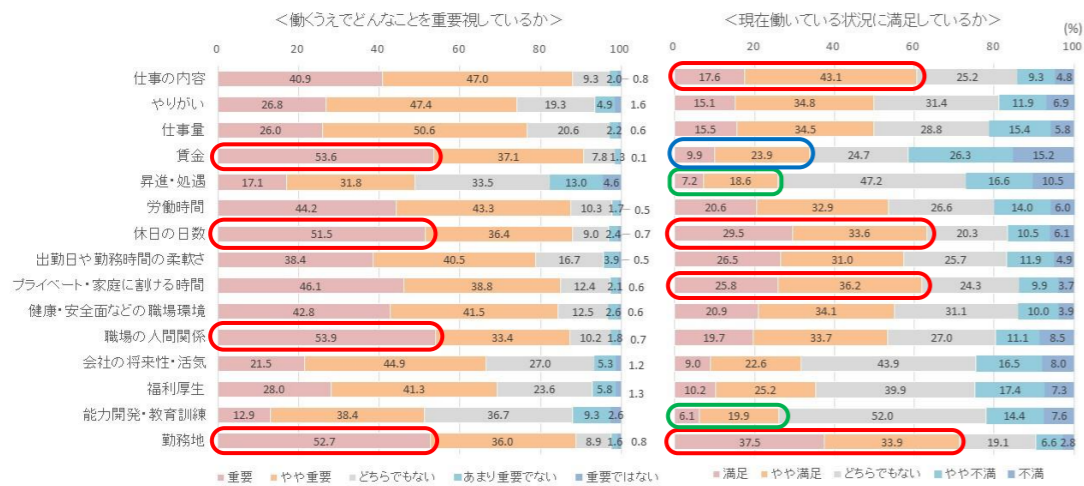


## 4 労働アンケート調査

### 4-1 調査結果概要

#### 1 働くうえで重要視していること・現在働いている状況に対する満足度

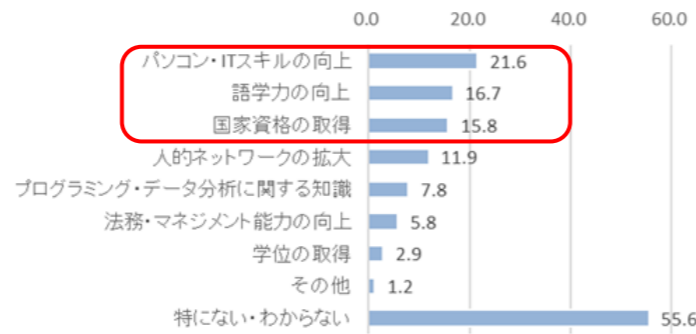
- 働くうえで重要視していること(左図)において、「重要」との回答の割合は「職場の人間関係」(53.9%)、「賃金」(53.6%)、「勤務地」(52.7%)、「休日の日数」(51.5%)の4項目が5割を超える。
- 現在働いている状況に対する満足度(「満足」と「やや満足」の計)(右図)は「勤務地」(71.4%)、「休日の日数」(63.1%)、「プライベート・家庭に割ける時間」(62.0%)、「仕事の内容」(60.7%)の4項目が6割を超える。一方「昇進・処遇」(25.8%)、「能力開発・教育訓練」(26.0%)は3割未満となっている。
- 働くうえで重要視している割合が高い4項目のうち、「職場の人間関係」、「勤務地」、「休日の日数」の3項目は満足度が5割を超えているが、「賃金」(33.8%)は満足度が低い。



(n=2,064)

#### 2 キャリアパスを見据えて取り組みたいこと

- 「パソコン・ITスキルの向上」(21.6%)が最も高い。
- 次いで「語学力の向上」(16.7%)、「国家資格の取得」(15.8%)と続く。
- 回答者の半数弱がキャリアパスを見据え、何らかに取り組みたいとしている。

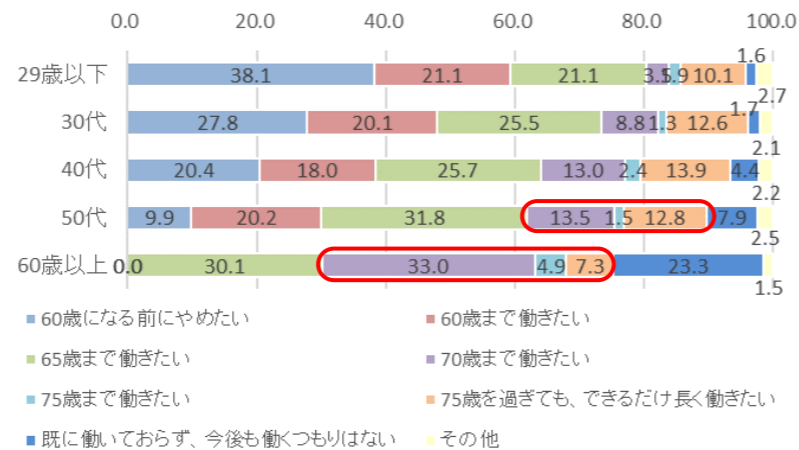


(n=2,064)

#### 3 高齢になってからの働き方

(いつまで働きたいか)

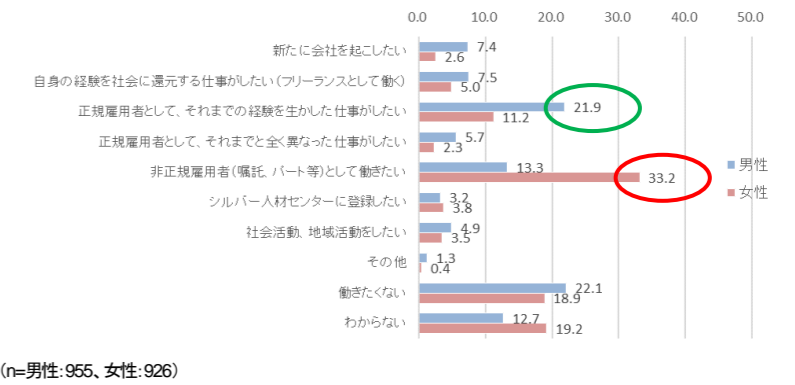
- 年代が高くなるほど、高齢になっても働く意思を持つ割合が高くなる傾向がある。
- 65歳を超えて働くことを希望する人(※)は50代では3割弱(27.8%)、60歳以上では4割を超える(45.2%)。
- (※)「70歳まで働きたい」「75歳まで働きたい」「75歳を過ぎても、できるだけ長く働きたい」の計



(n=2,064)

(高齢になってからの働き方等)

- 男性は「働きたくない」(22.1%)が最も高く、次いで「正規雇用者として、それまでの経験を生かした仕事」(21.9%)と続く。
- 女性は「非正規雇用」(33.2%)が最も高く、次いで「わからない」(19.2%)と続く。

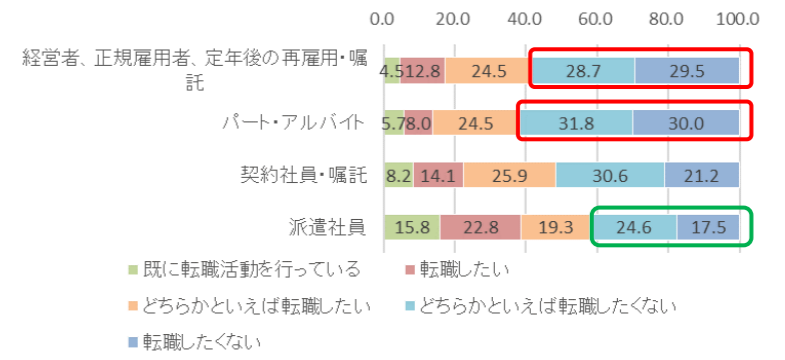


(n=男性:955、女性:926)

#### 4 転職に対する意識

(転職意向)

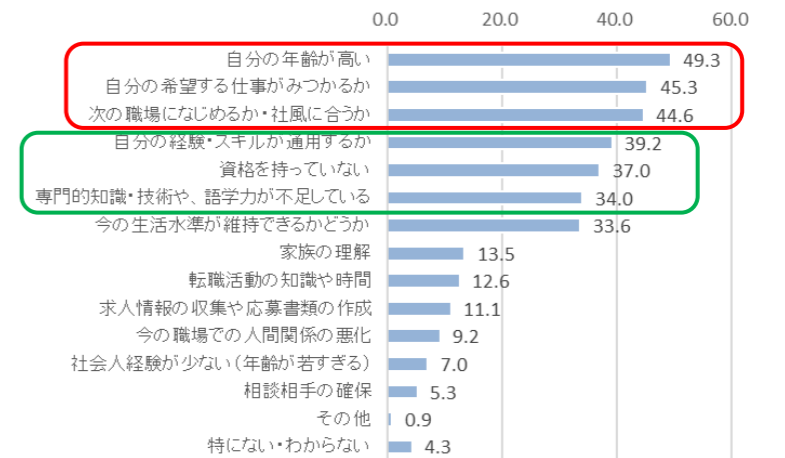
- 転職を希望しない(※)とした割合は「経営者、正規雇用者、定年後の再雇用、嘱託」(58.2%)と「パート・アルバイト」(61.8%)では約6割となっている。
- 一方、「派遣社員」では半数以下(42.1%)となっている。
- (※)「転職したくない」「どちらかといえば転職したくない」の計



(n=正規雇用者等:1,047、パート・アルバイト:424、契約社員・嘱託:85、派遣社員:57)

(転職を検討するうえで不安なこと)

- 「自分の年齢が高い」(49.3%)が最も高い。
- 次いで「自分の希望する仕事が見つかるか」(45.3%)、「次の職場になじめるか・社風に合うか」(44.6%)が4割を超える。
- 「自分の経験・スキルが通用するか」(39.2%)、「資格を持っていない」(37.0%)、「専門知識・技術や、語学力が不足している」(34.0%)と自らの職業能力に対する不安も多くなっている。

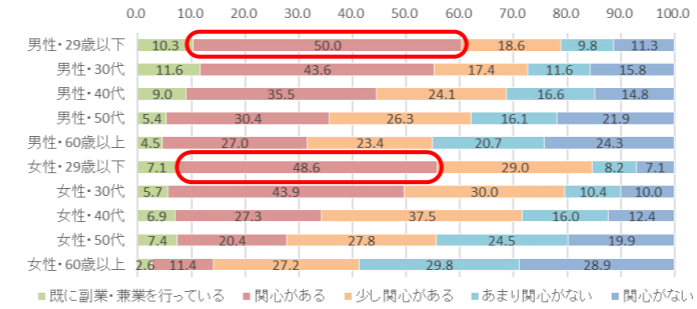


(n=2,064)

#### 5 副業・兼業に対する意識

(副業・兼業意向)

- 男女とも年代が低くなるほど、「関心がある」とした割合は高くなっている。
- 男女とも29歳以下では「関心がある」とした割合は約5割を占める。

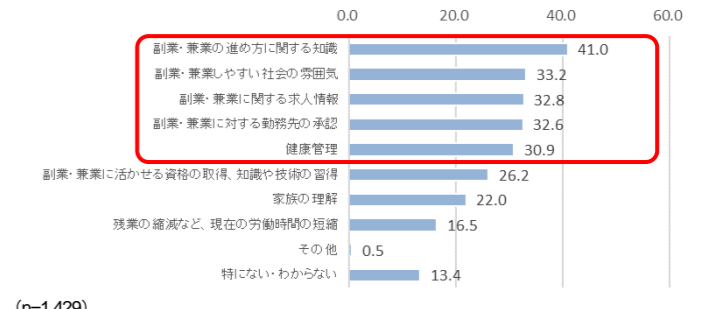


n=

男性 29歳以下:187 30代:232 40代:280 50代:216 60歳以上:106  
女性 29歳以下:176 30代:221 40代:265 50代:208 60歳以上:109

(副業・兼業をするために必要なこと)

- 「副業・兼業の進め方に関する知識」(41.0%)が最も高い。
- 次いで「副業・兼業しやすい社会の雰囲気」(33.2%)、「副業・兼業に関する求人情報」(32.8%)、「副業・兼業に対する勤務先の承認」(32.6%)、「健康管理」(30.9%)が3割を超える。



(n=1,429)

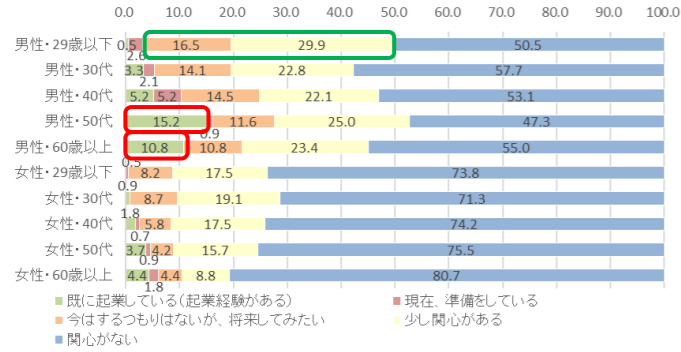


## 6 起業に対する意識

(起業意向)

- 「既に起業している(起業経験がある)」とした割合は50歳代の男性(15.2%)が最も高く、次いで60歳以上の男性(10.8%)と続く。
- 男女とも年代が低くなるほど、関心がある(※)とした割合は高くなっており、29歳以下の男性は4割を超える(46.4%)。

(※)「今はするつもりはないが、将来してみたい」「少し関心がある」の計



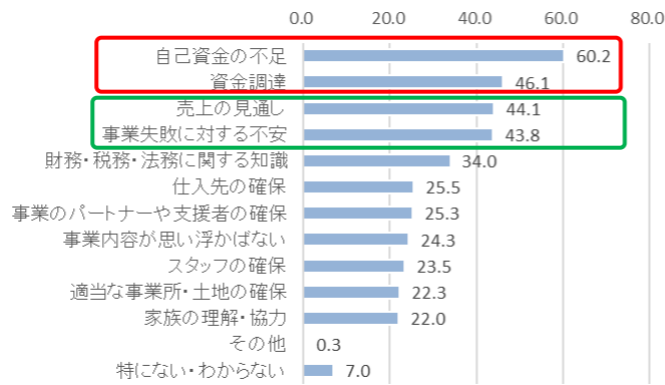
n=	男性	29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上
男性	29歳以下	187	232	280	216	106
女性	29歳以下	176	221	265	208	109

## 7 無職者が今後働くうえで重要なこと

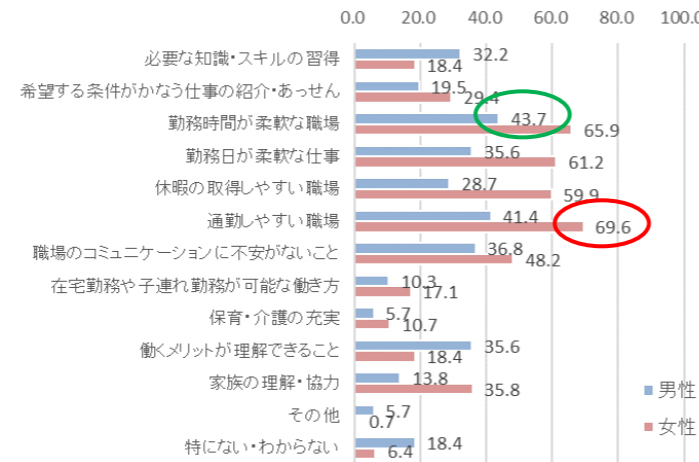
- 男性は「勤務時間が柔軟な職場」(43.7%)が最も高く、次いで「通勤しやすい職場」(41.4%)、「職場のコミュニケーションに不安がないこと」(36.8%)と続く。
- 女性は「通勤しやすい職場」(69.6%)が最も高く、次いで「勤務時間が柔軟な職場」(65.9%)、「勤務日が柔軟な仕事」(61.2%)が6割を超える。

(起業にあたっての課題)

- 「自己資金の不足」(60.2%)が最も高く、次いで「資金調達」(46.1%)となり、資金面の課題が上位を占める。
- 次いで「売上の見通し」(44.1%)、「事業失敗に対する不安」(43.8%)が4割を超える。



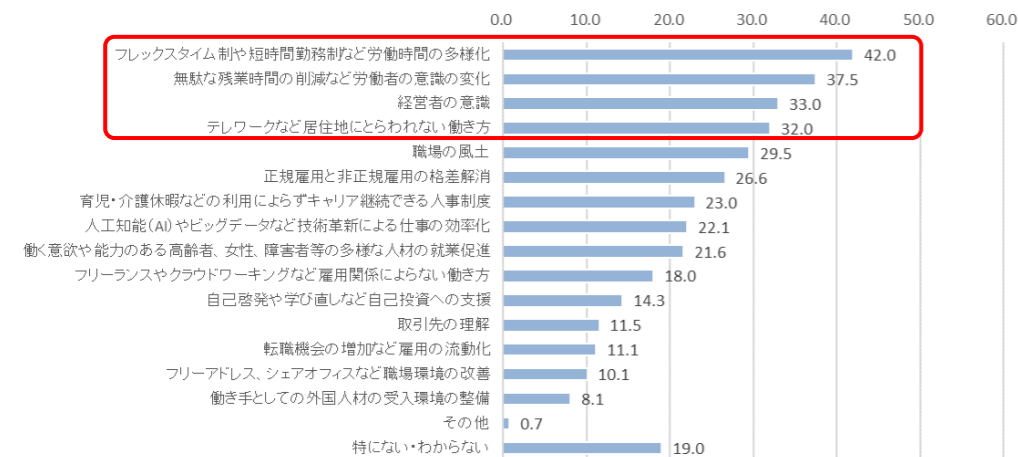
(n=762)



(n=男性:955、女性:926)

## 8 働き方改革の実現に向けて必要なこと

- 「フレックスタイム制や短時間勤務制などの労働時間の多様化」(42.0%)が最も高い。
- 次いで「無駄な残業時間の削減など労働者の意識の変化」(37.5%)、「経営者の意識」(33.0%)、「テレワークなど居住地にとらわれない働き方」(32.0%)が3割を超える。

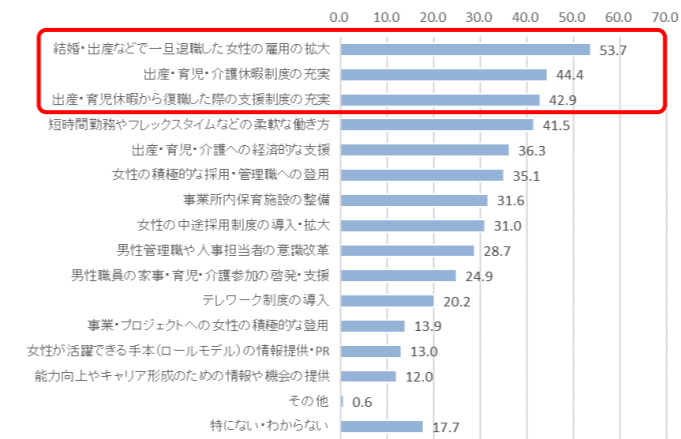


(n=2,064)

## 9 多様な人材が働きやすく活躍できる職場づくりに必要なこと

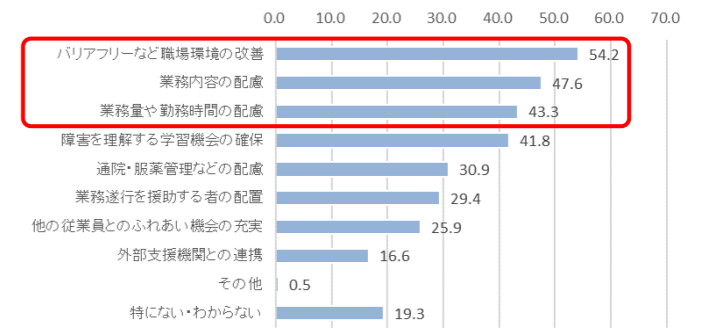
- 女性については「結婚・出産などで一旦退職した女性の雇用の拡大」(53.7%)が最も高く、次いで「出産・育児・介護休暇制度の充実」(44.4%)、「出産・育児休暇から復職した際の支援制度の充実」(42.9%)と続く。
- 障害者については「バリアフリーなど職場環境の改善」(54.2%)が最も高く、「業務内容の配慮」(47.6%)や「業務量や勤務時間の配慮」(43.3%)と続く。
- 外国人については、「日本人従業員のコミュニケーション力の向上」(42.5%)が最も高く、次いで「外国人の日本語学習機会の充実」(40.5%)、「文化・習慣・宗教の違いを理解する学習機会の確保」(35.7%)と続く。

<女性>



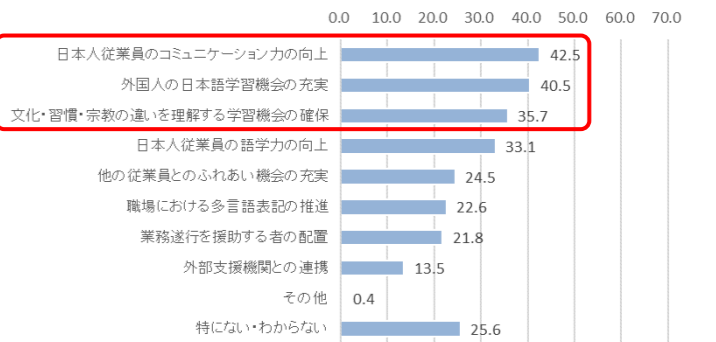
(n=2,064)

<障害者>



(n=2,064)

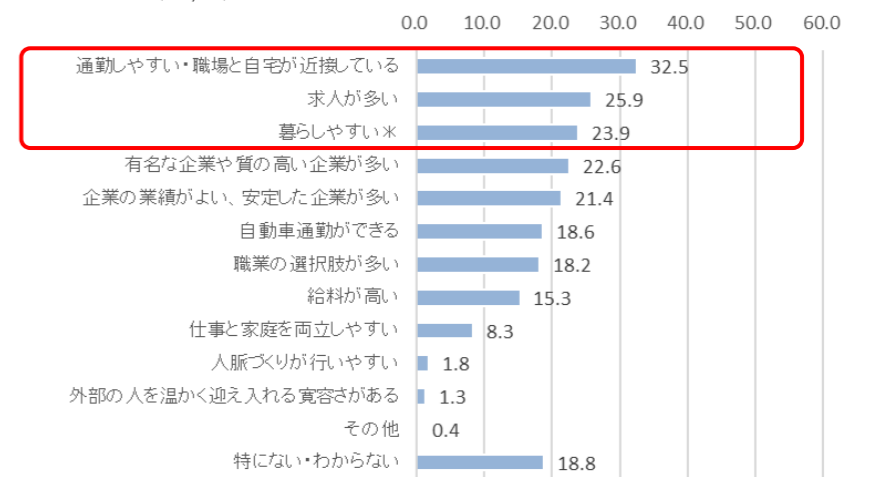
<外国人>



(n=2,064)

## 10 愛知県内で働くメリット

- 「通勤しやすい・職場と自宅が近接している」(32.5%)が最も高い。
- 次いで「求人が多い」(25.9%)、「暮らしやすい(物価が安い、東京に比べてゆとりがある、便利、気候が安定している等)」(23.9%)と続く。



\*暮らしやすい(物価が安い、東京に比べてゆとりがある、便利、気候が安定している等)  
(n=2,064)



## 4-2 調査結果詳細

### (1) 調査の目的及び概要

#### ① 調査目的

主に愛知県内の労働者等が抱える課題や必要な支援策を明らかにするためのアンケート調査を実施した。

今回は、労働力不足の解消に向けた政策検討が重要と考えられるため、有職者のほか、現在働いていない人の就労に対する意向や条件を把握できるようにした。

#### ② 調査の概要

調査方法	インターネットリサーチを活用し、登録モニタを対象として調査を実施。
調査対象	登録モニタのうち、以下の条件を満たす人を調査対象として選定。 <愛知県に在住> ①愛知県内に通勤する有職者 ②無職者(学生を除く) <愛知県外(岐阜県、静岡県、三重県、長野県)に在住> ③愛知県内に通勤する有職者
調査票回収数	2,000 サンプル(実際の回収数は 2,064 票)
調査時期	2019 年 11 月 12 日～11 月 15 日

#### ③ サンプル抽出について

2015 年国勢調査「常住地又は従業地・通学地による年齢(5 歳階級)、男女別人口、就業者数及び通学者数」をもとに年齢階級別の雇用形態の構成比に応じて回答者数を配分。

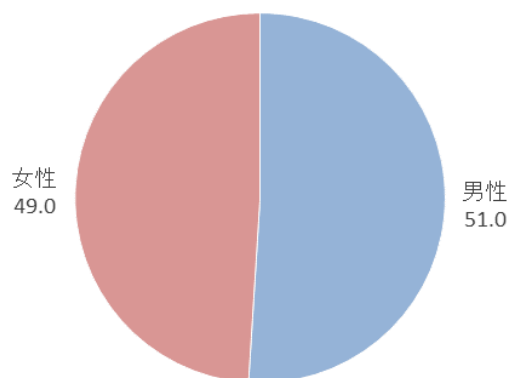
		小計	愛知県在住の就業者	愛知県外在住の就業者	愛知県在住の無職者(就業・通学していない)
合計		2,000	1,549	81	370
男性	29 歳以下	187	164	8	15
	30-39 歳	232	207	12	13
	40-49 歳	280	245	18	17
	50-59 歳	216	185	16	15
	60-64 歳	106	78	6	22
女性	29 歳以下	176	136	7	33
	30-39 歳	221	142	5	74
	40-49 歳	265	192	4	69
	50-59 歳	208	145	3	60
	60-64 歳	109	55	2	52

#### ④ 集計方法

- ・ 単一回答設問であっても、複数選択による回答のあった設問については、複数回答設問として処理しているものもある。
- ・ 集計結果は無回答を除いた数を母数として百分率で示している。また、その値は小数第二位を四捨五入しているため、合計が 100%にならない場合がある。
- ・ この報告書の図表見出し及び文章中での回答選択肢は、本来の意味を損なわない程度に省略して掲載している場合がある。

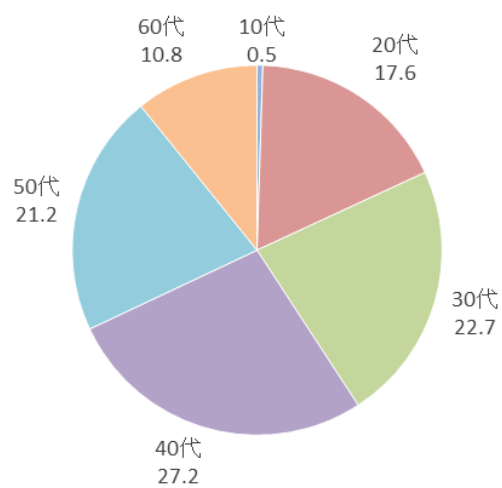
## (2)回答者の属性

### ①性別



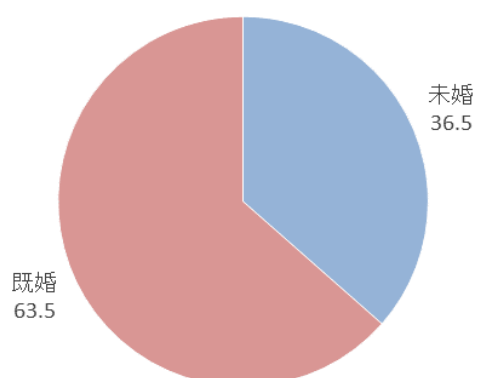
N:2,078

### ②年齢



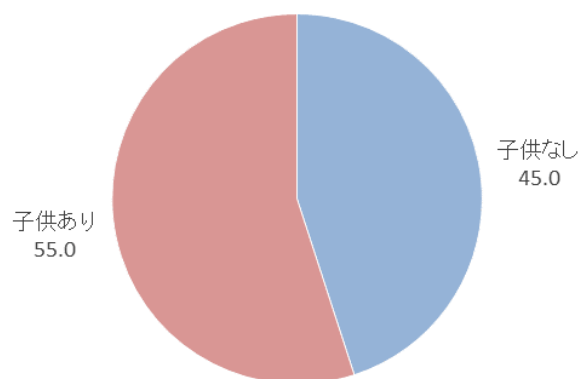
N:2,078

### ③未既婚



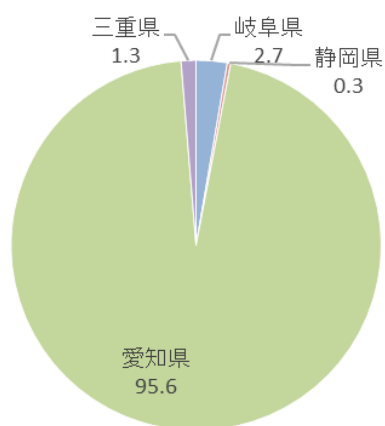
N:2,078

#### ④子供の有無



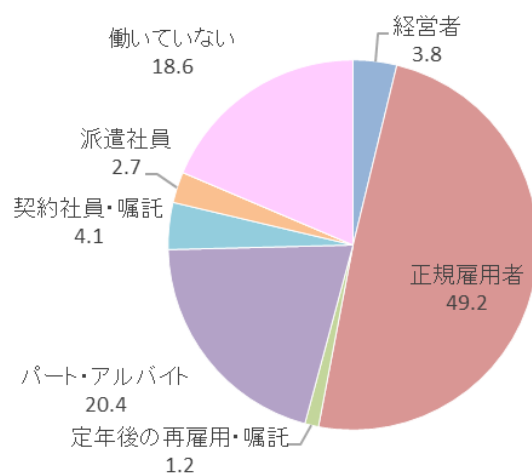
N:2,078

#### ⑤居住地



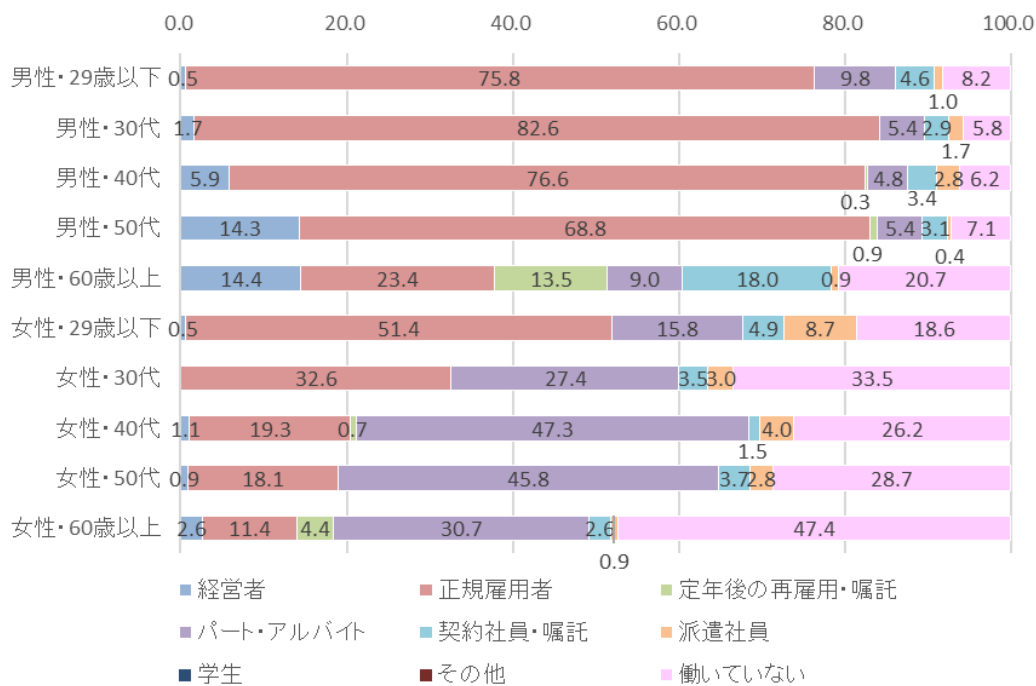
N:2,078

#### ⑥就業形態



N:2,078

<性・年代別によるクロス集計結果>



N:

男性					女性				
29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上	29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上
194	241	290	224	111	183	230	275	216	114

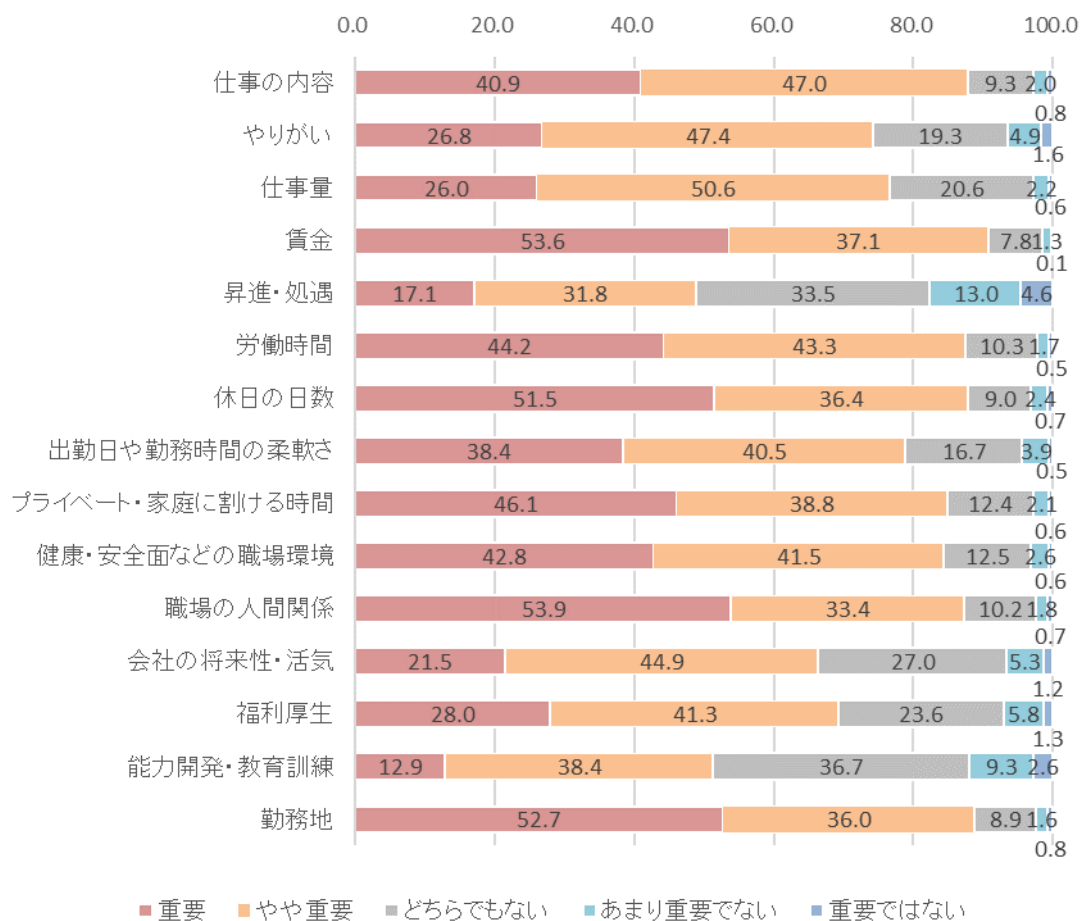


### (3) 調査結果

Q1 あなたは、働くうえで、どんなことを重要視していますか。あなたの考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んでください。

※現在働いていない方は、働くとしたらどんなことを重要視するかを回答してください。

- ・ 働くうえで重要視していることにおいて、「重要」との回答の割合は「職場の人間関係」(53.9%)、「賃金」(53.6%)、「勤務地」(52.7%)、「休日の日数」(51.5%)の4項目が5割を超える。
- ・ 「重要」と「やや重要」を合わせると、「賃金」(90.7%)が最も高く、次いで「勤務地」(88.7%)、「仕事の内容」(87.9%)、「休日の日数」(87.9%)と続く。

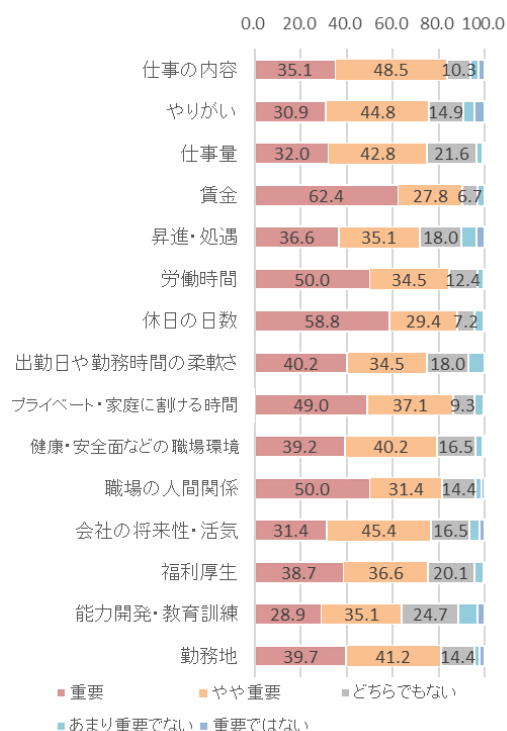


N:2,078

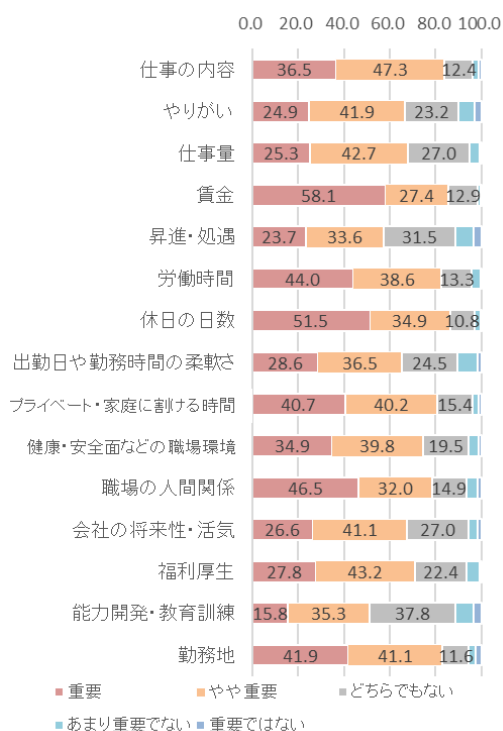
## <性・年代別によるクロス集計結果>

- ・ 男性では、年代が低くなるほど「賃金」と「休日の日数」の割合が高くなる傾向にあり、特に「29歳以下」では60%前後を占める。
- ・ 一方、年代が高くなるほど「勤務地」や「職場の人間関係」が他の項目と比較して重視される傾向にあり、特に「60歳以上」では最も重要とされている。

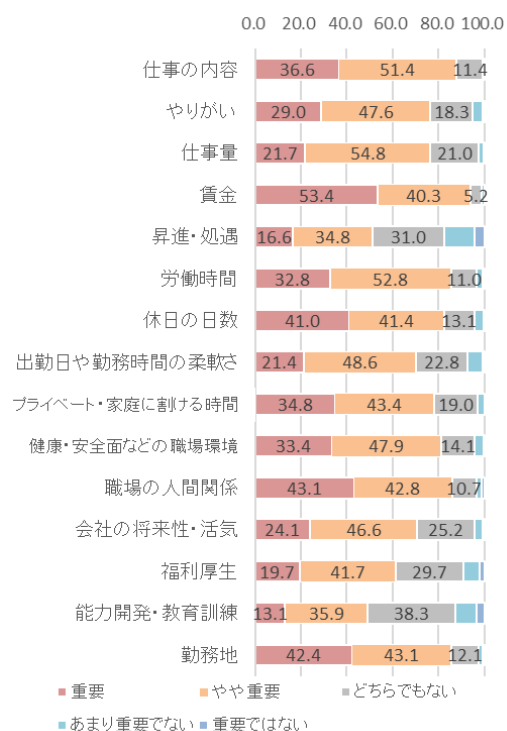
### 男性・29歳以下



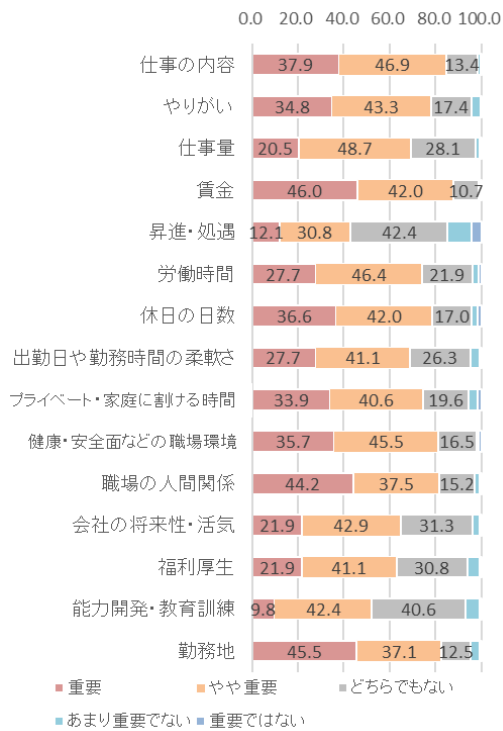
### 男性・30代



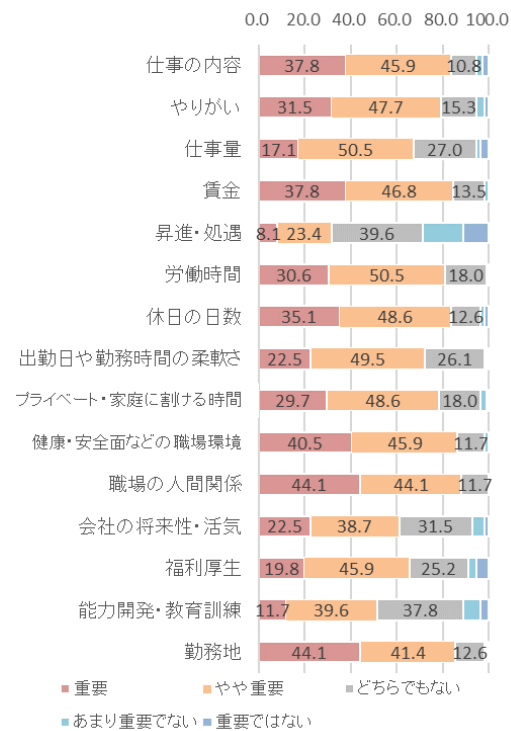
### 男性・40代



## 男性・50代

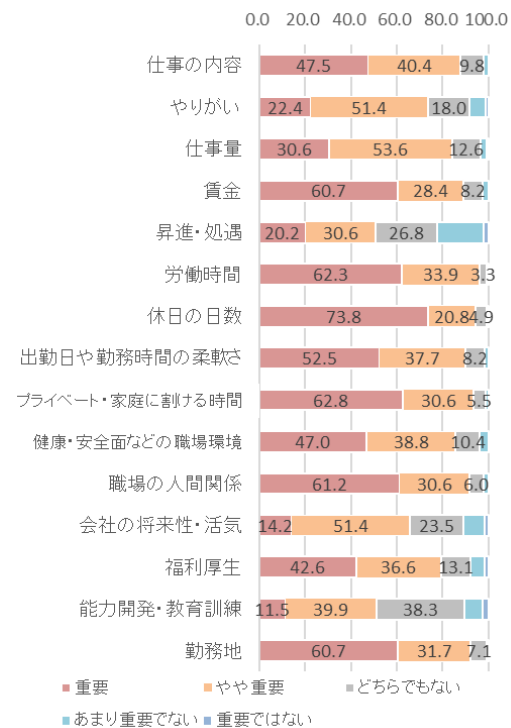


## 男性・60歳以上

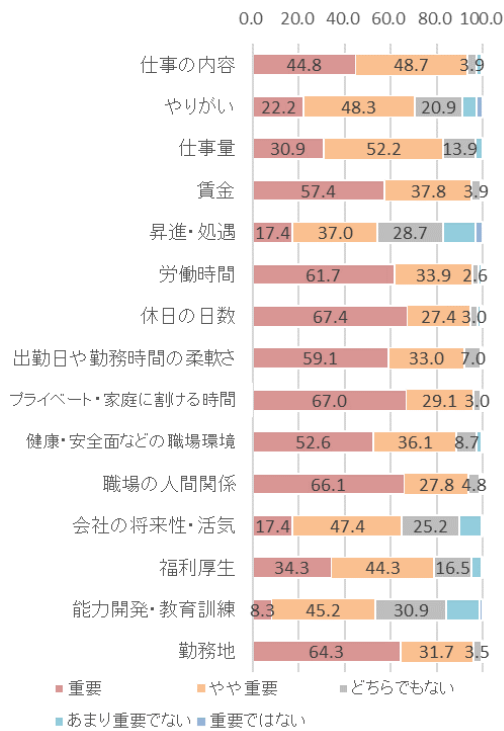


- ・ 女性では、「勤務地」、「職場の人間関係」、「賃金」がすべての年代で「重要」の割合が高い。
- ・ 「休日の日数」は「29歳以下」が73.8%となり非常に高いものの、年代が高くなるほど低下し、「60歳以上」では42.1%となる。
- ・ この他、「29歳以下」と「30代」では「労働時間」や「プライベート・家庭に割ける時間」が60%を超えて高くなり、若い女性が労働時間と私的な時間のバランスを重視している傾向がうかがえる。

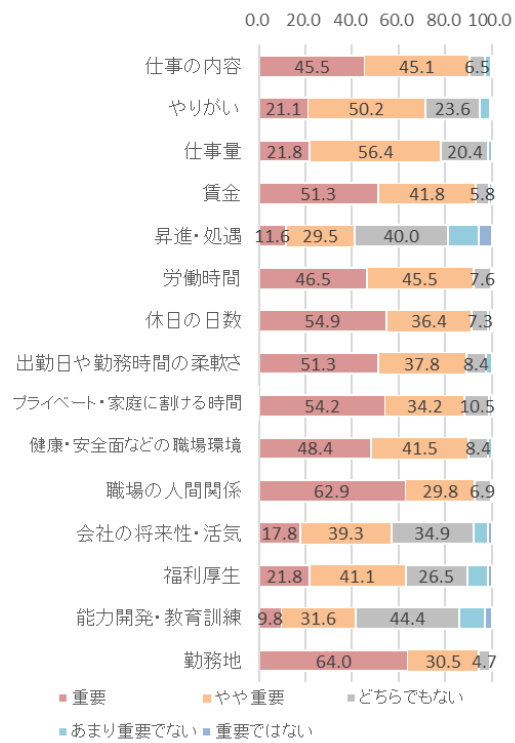
## 女性・29歳以下



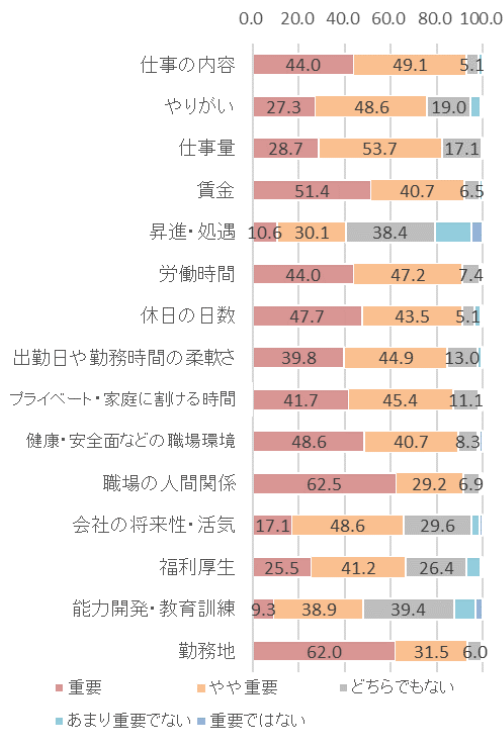
### 女性・30代



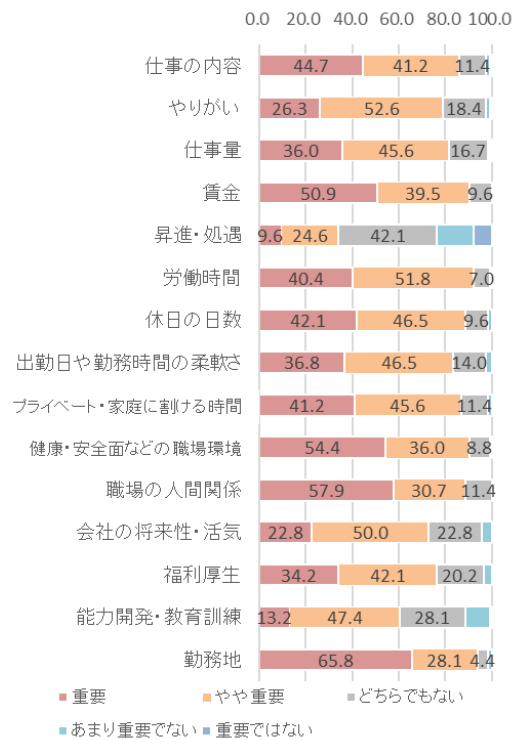
### 女性・40代



### 女性・50代



### 女性・60歳以上



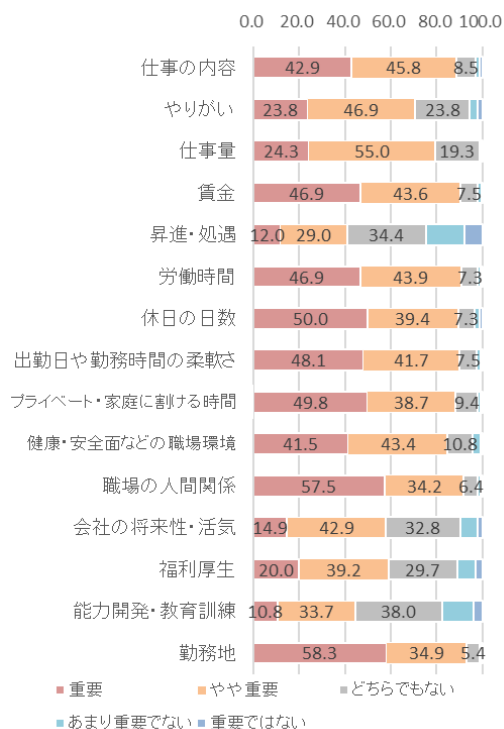
N:

男性					女性				
29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上	29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上
194	241	290	224	111	183	230	275	216	114

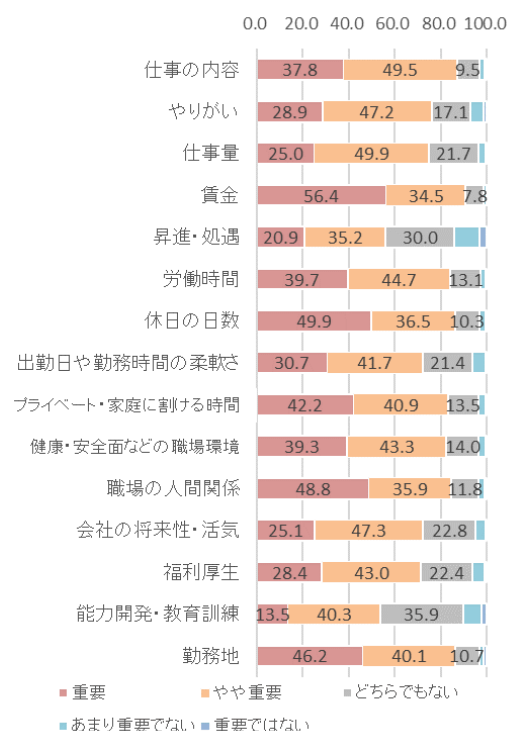
## <就業形態によるクロス集計結果>

- 「経営者、正規雇用者、定年後の再雇用・嘱託(以下、「正規雇用者等」とする)」と「契約社員・嘱託」では、「賃金」(56.4%、60.0%)を「重要」とする割合が最も高く、「休日の日数」(49.9%、52.9%)と「職場の人間関係」(48.8%、35.9%)が続く。
- 「パート・アルバイト」は、「勤務地」(58.3%)や「職場の人間関係」(57.5%)や「賃金」(46.9%)が高い。
- 「派遣社員」は、「勤務地」が73.7%となり非常に高い。「休日の日数」(66.7%)や「プライベート・家庭に割ける時間」(61.4%)も高く、働くうえで重視している状況を基準に就業形態を選択している状況がうかがえる。

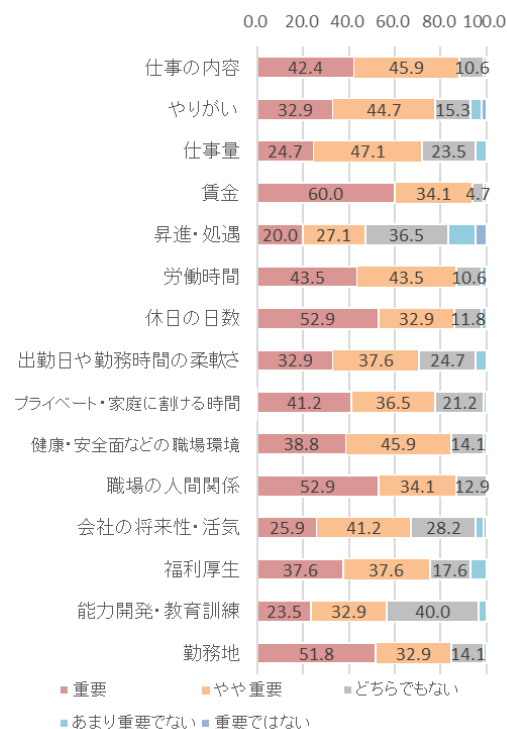
### パート・アルバイト



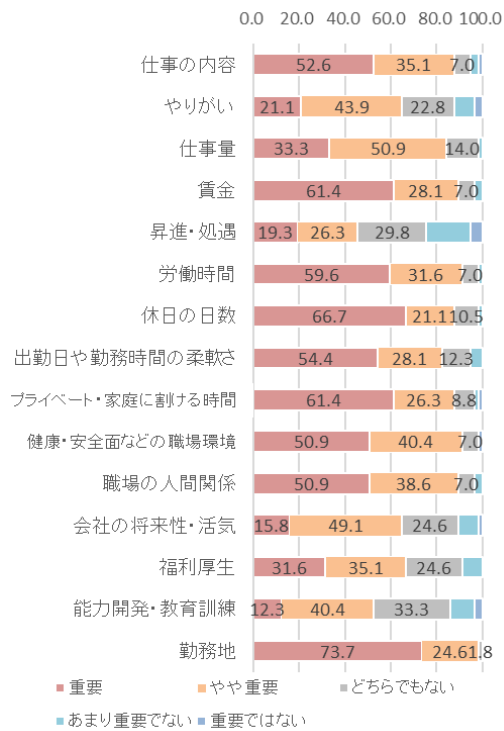
### 経営者、正規雇用者、定年後の再雇用・嘱託



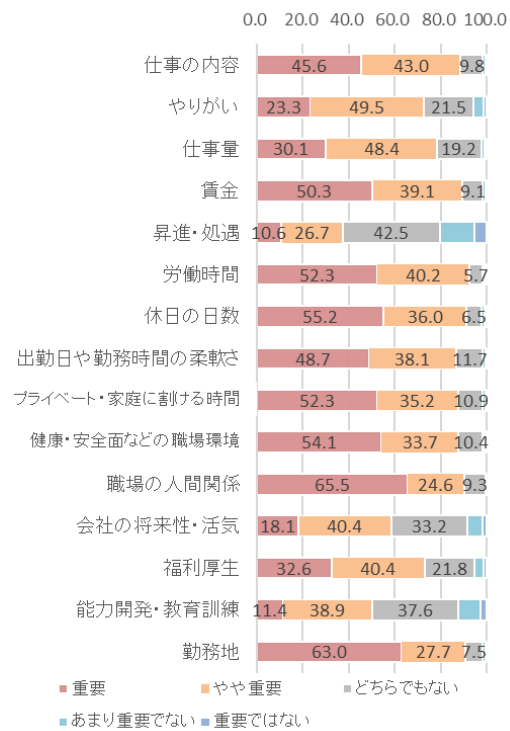
### 契約社員・嘱託



## 派遣社員



## 無職

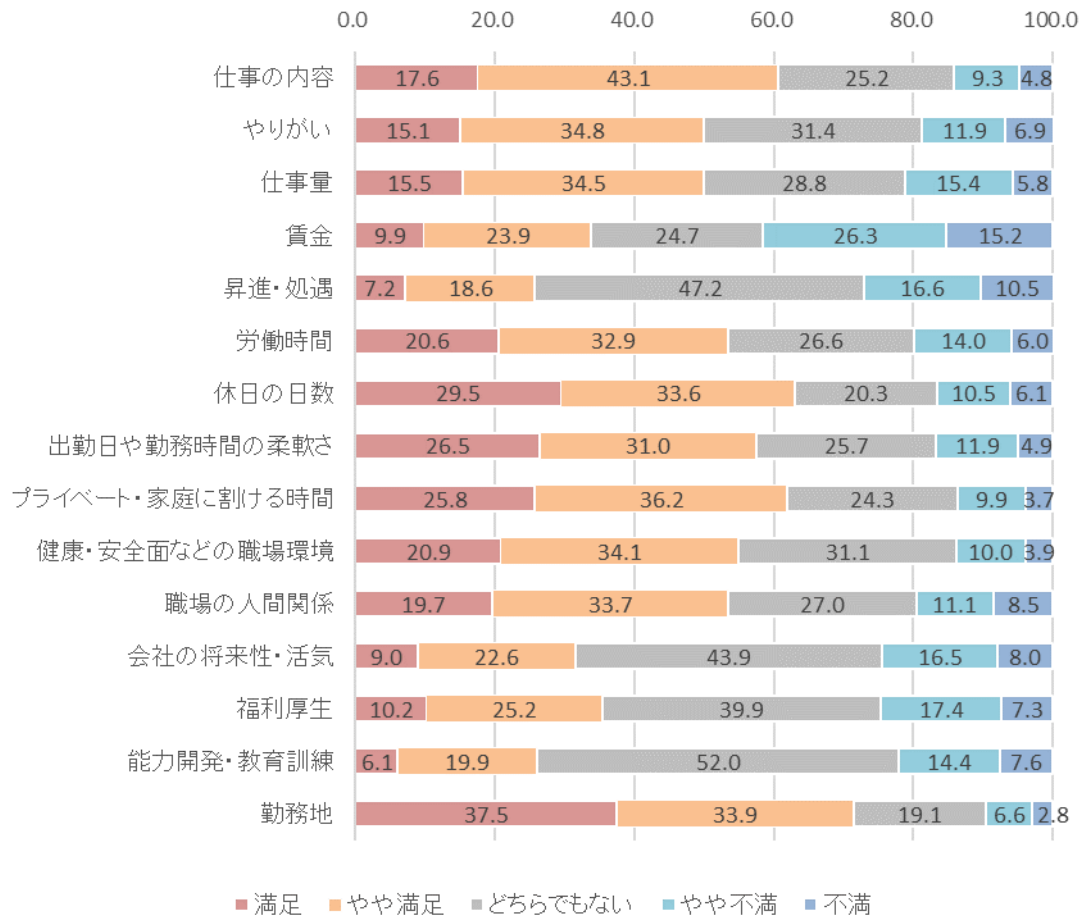


N:

正規雇用者等	パート・アルバイト	契約社員・嘱託	派遣社員	無職
1,126	424	85	57	386

Q2 あなたは、現在働いている状況に満足していますか。あなたの考えに近いものをそれぞれ1つずつ選んでください。

- ・ 現在働いている状況に対する満足度(「満足」と「やや満足」の計)は「勤務地」(71.4%)、「休日の日数」(63.1%)、「プライベート・家庭に割ける時間」(62.0%)、「仕事の内容」(60.7%)の4項目が6割を超える。一方「昇進・処遇」(25.8%)、「能力開発・教育訓練」(26.0%)は3割未満となっている。
- ・ 働くうえで重要としている割合が高い4項目のうち、「職場の人間関係」、「勤務地」、「休日の日数」の3項目は満足度が5割を超えているが、「賃金」(33.8%)は満足度が低い。

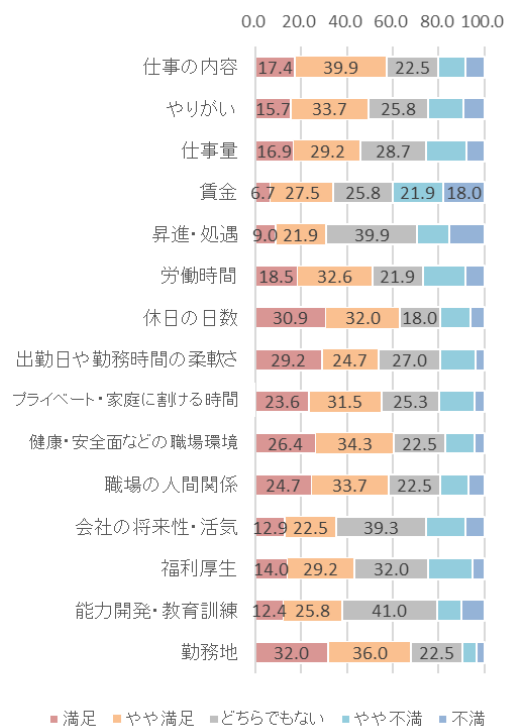


N:2,078

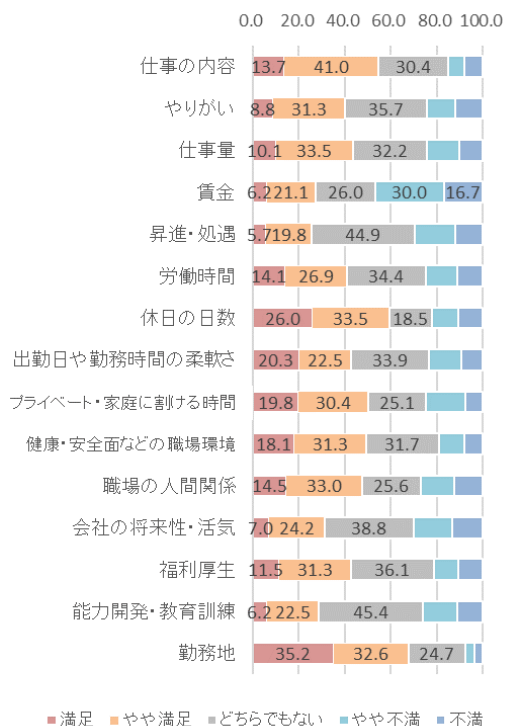
<性・居住地別の就業有無によるクロス集計結果>

男性・29歳以下

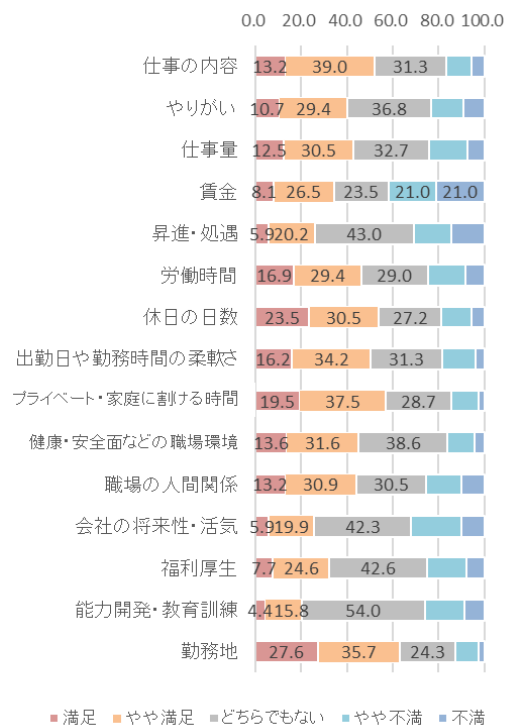
- 満足度の高い「勤務地」、「プライベート・家庭に割ける時間」、「休日の日数」、「仕事の内容」の4つのうち、男性では、「休日の日数」が、年代が低くなるほど高まる傾向にある。
- 満足度の低い「賃金」について、「不満」と「やや不満」の計は「60歳以上」(53.4%)や「30代」(46.7%)で5割前後と高い。



男性・30代

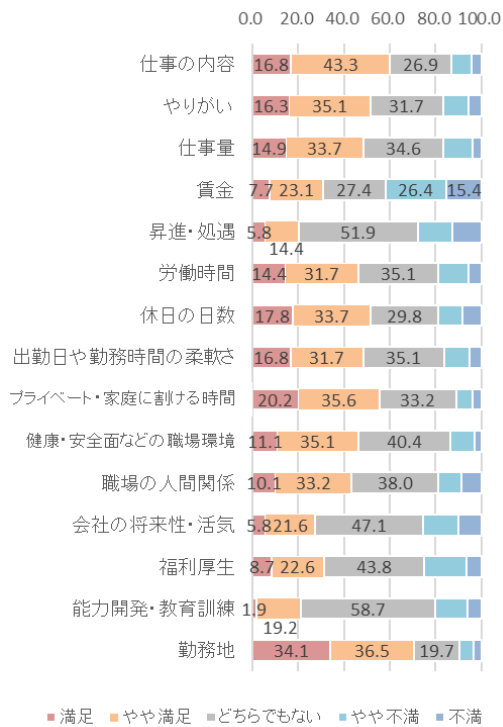


男性・40代

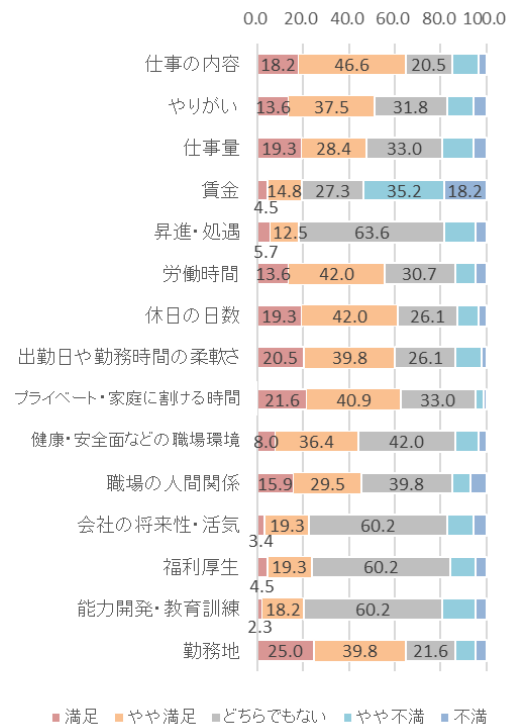




## 男性・50代

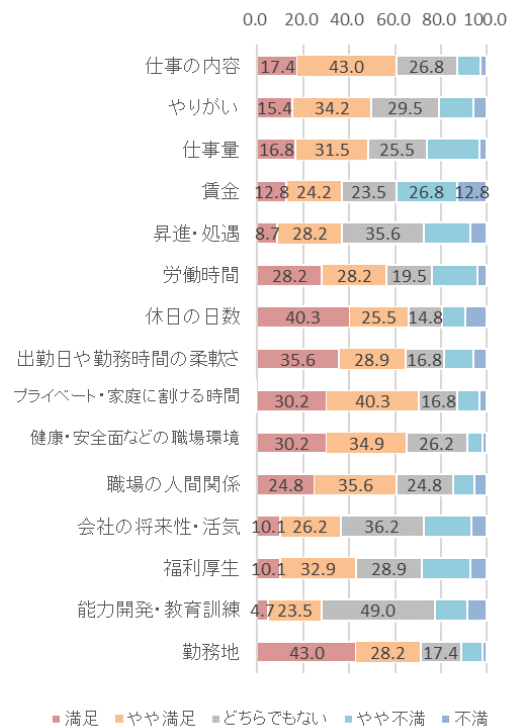


## 男性・60歳以上

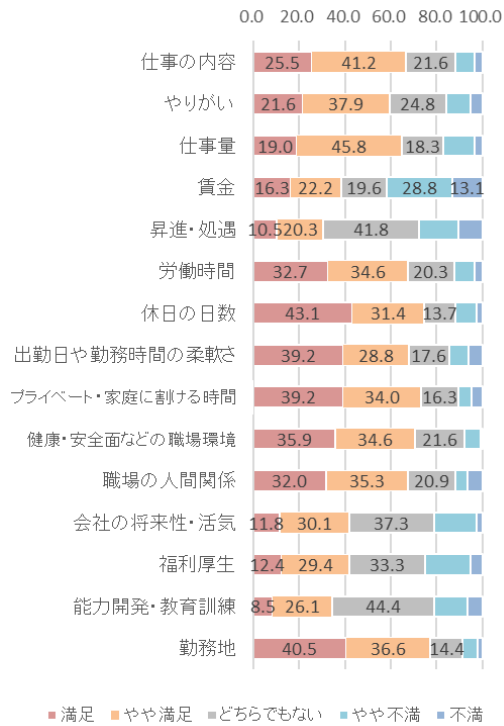


- ・ 満足度の高い「勤務地」、「プライベート・家庭に割ける時間」、「休日の日数」、「仕事の内容」の4つについて、女性では年代を問わずいずれも高い。
- ・ 満足度の低い「賃金」について、「不満」と「やや不満」の計は男性と同様に「30代」(41.9%)と「60歳以上」(41.7%)が高いものの、男性ほどではない。

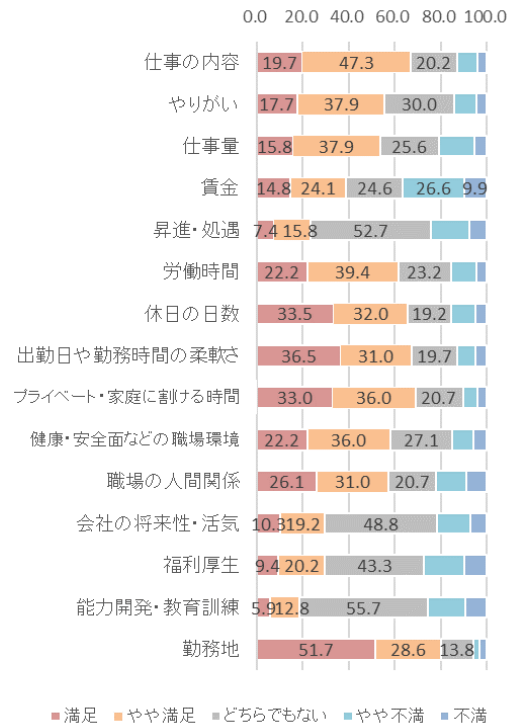
## 女性・29歳以下



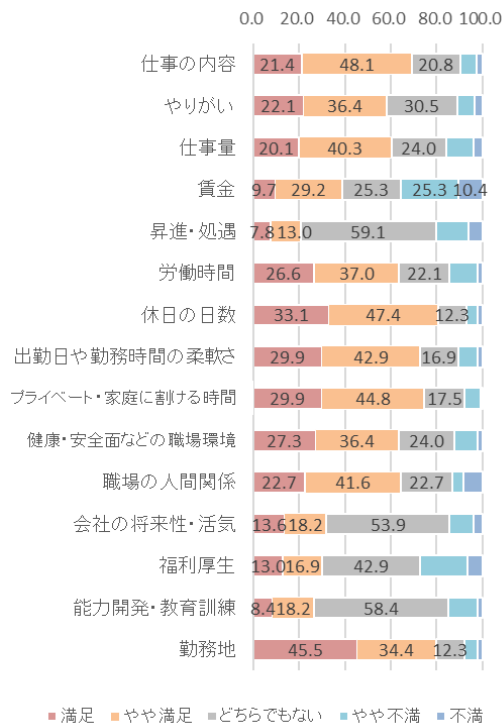
## 女性・30代



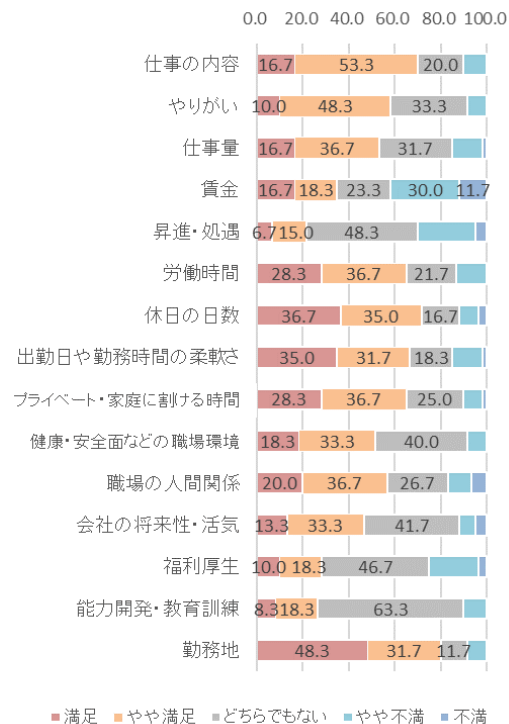
## 女性・40代



## 女性・50代



## 女性・60歳以上



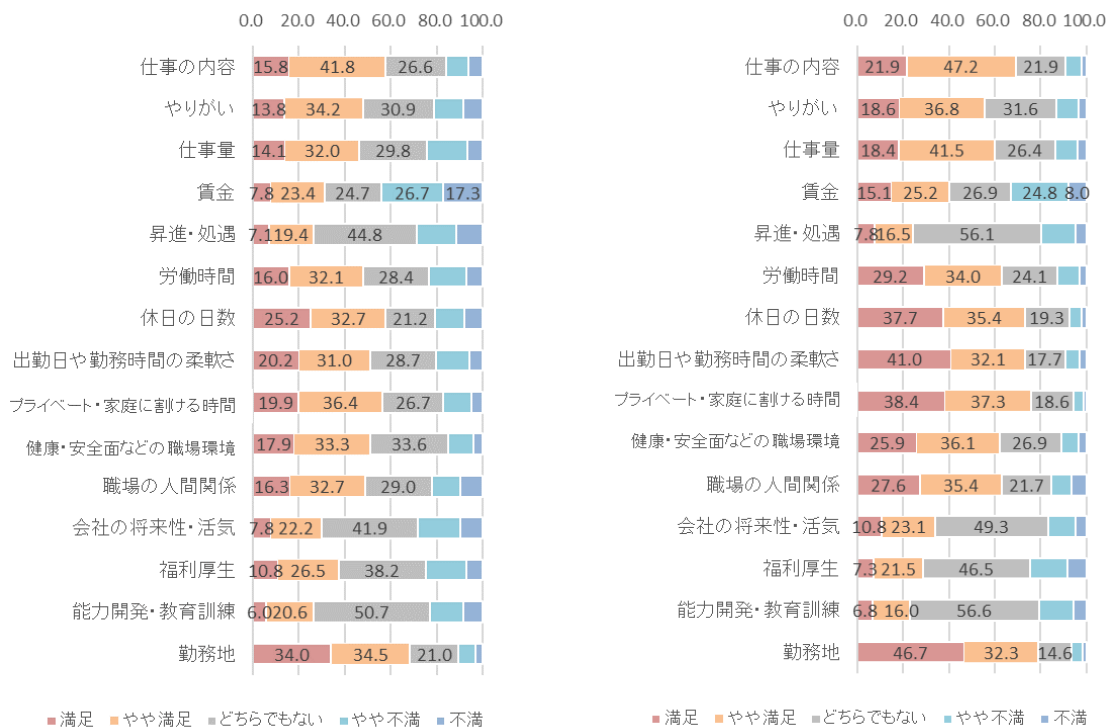
N:

男性					女性				
29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上	29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上
194	241	290	224	111	183	230	275	216	114

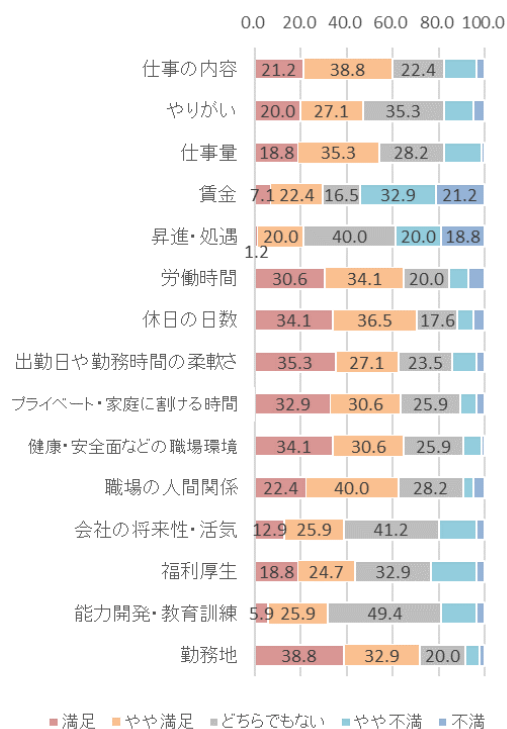
<就業形態によるクロス集計結果>

- ・「正規雇用者等」では、全般的に満足度が低く、特に「賃金」(31.2%)が低い。また、「会社の将来性・活気」(30.0%)も低くなっているが、他の就業形態と比較して突出して低い。
- ・「パート・アルバイト」では、「賃金」(40.3%)の満足度よりも、「能力開発・教育訓練」(22.8%)や「福利厚生」(28.8%)が低い。
- ・「契約社員・嘱託」では、他の就業形態と比較して全般的に満足度が高い。一方、「不満」と「やや不満」の計は「賃金」(54.1%)と「昇進・処遇」(38.8%)が突出して高い。
- ・「派遣社員」では、他の就業形態と比較して全般的に満足度が高い。

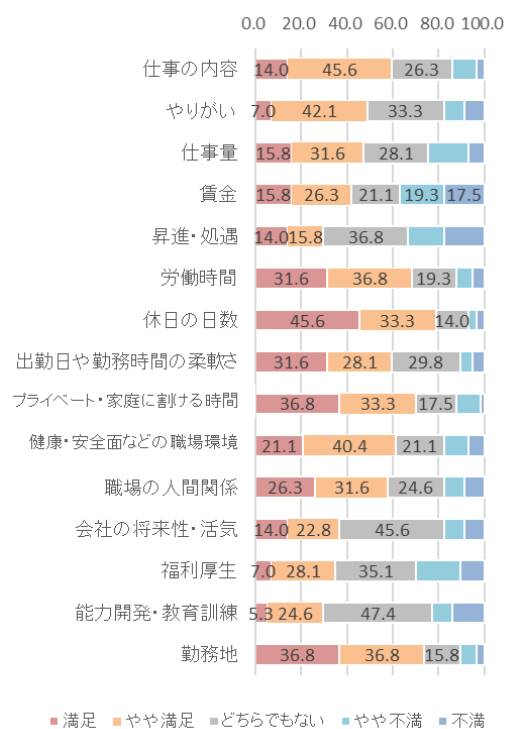
経営者、正規雇用者、定年後の再雇用・嘱託      パート・アルバイト



## 契約社員・嘱託



## 派遣社員



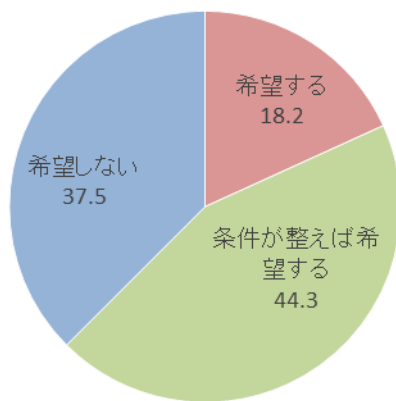
N:

正規雇用者等	パート・アルバイト	契約社員・嘱託	派遣社員
1,126	424	85	57

【現在の就業形態が「パート・アルバイト」「契約社員・嘱託」「派遣社員」の人に対する設問】

Q3 あなたは正規雇用者になることを希望しますか。

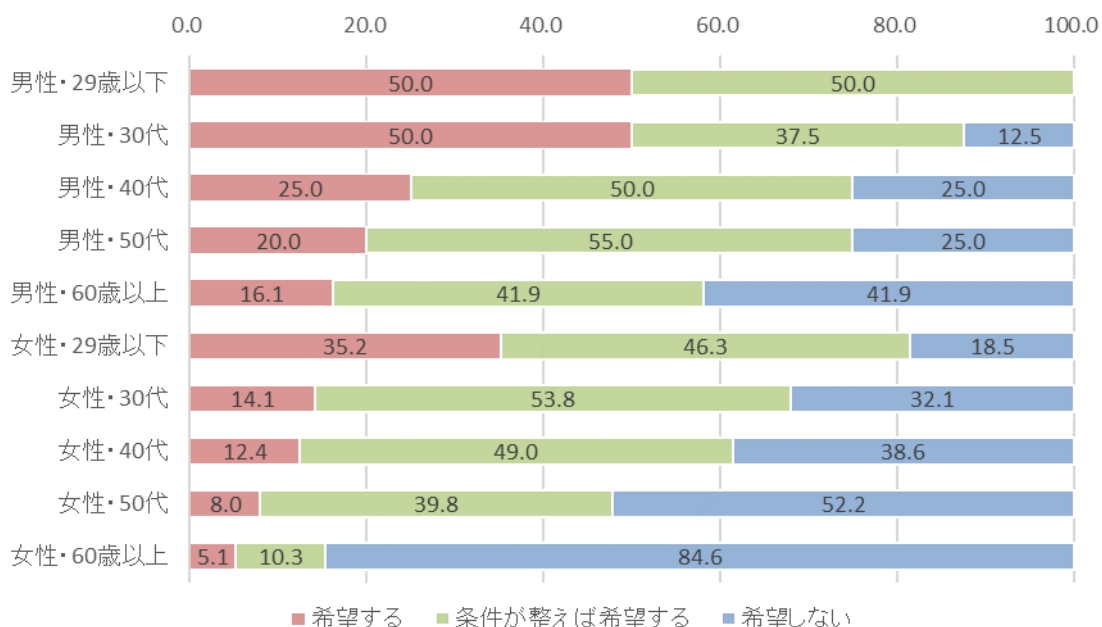
- ・ 正規雇用者でない人が正規雇用者になることを「希望する」は 18.2%、「条件が整えば希望する」は 44.3%となる。
- ・ 「希望しない」も 37.5%となる。



N:566

<性・年代別によるクロス集計結果>

- ・ 男女ともに若い年代ほど「希望する」が高くなる傾向にあり、「条件が整えば希望する」を合わせると、男性・29歳以下(100.0%)、男性・30代(87.5%)及び女性・29歳以下(81.5%)が80%を超える。

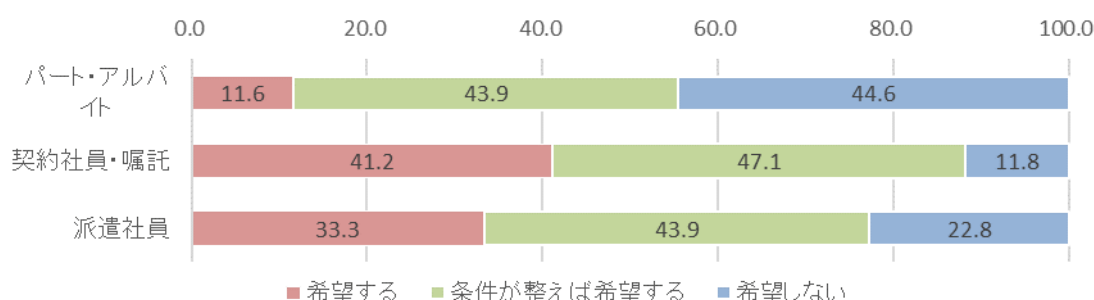


N:

男性					女性				
29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上	29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上
30	24	32	20	31	54	78	145	113	39

<就業形態によるクロス集計結果>

- ・「希望する」と「条件が整えば希望する」を合わせると、「契約社員・嘱託」(88.3%)が約9割を占めており、「派遣社員」(77.2%)も8割近くに達する。
- ・「パート・アルバイト」(55.5%)は5割超にとどまる。



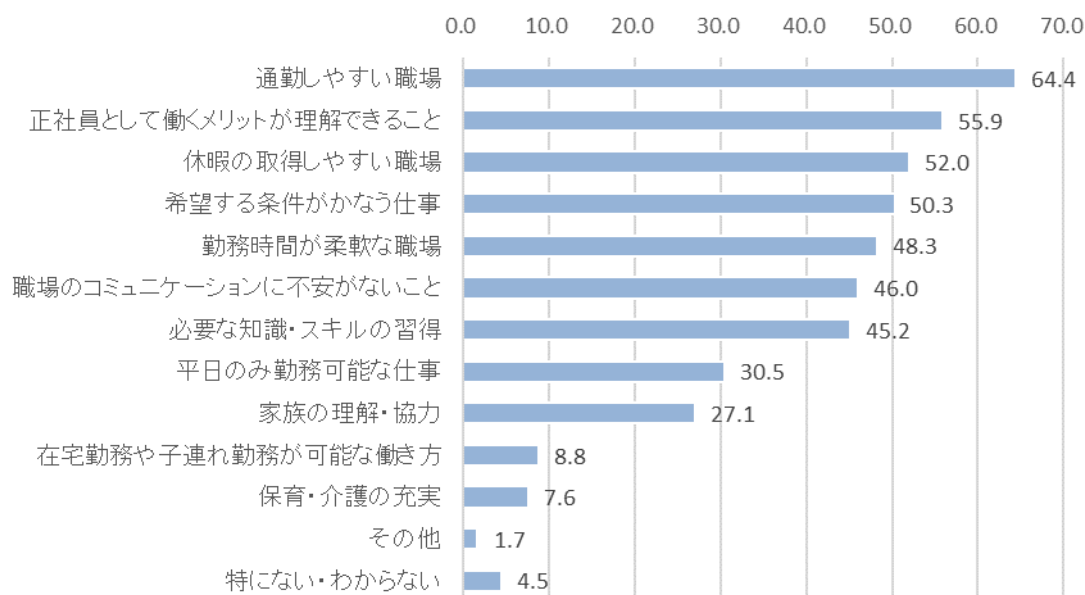
N:

パート・アルバイト	契約社員・嘱託	派遣社員
424	85	57

【Q3で「希望する」「条件が整えば希望する」を選択した人に対する設問】

Q4 ご自身が正規雇用者になるために、必要と考えることについて、当てはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

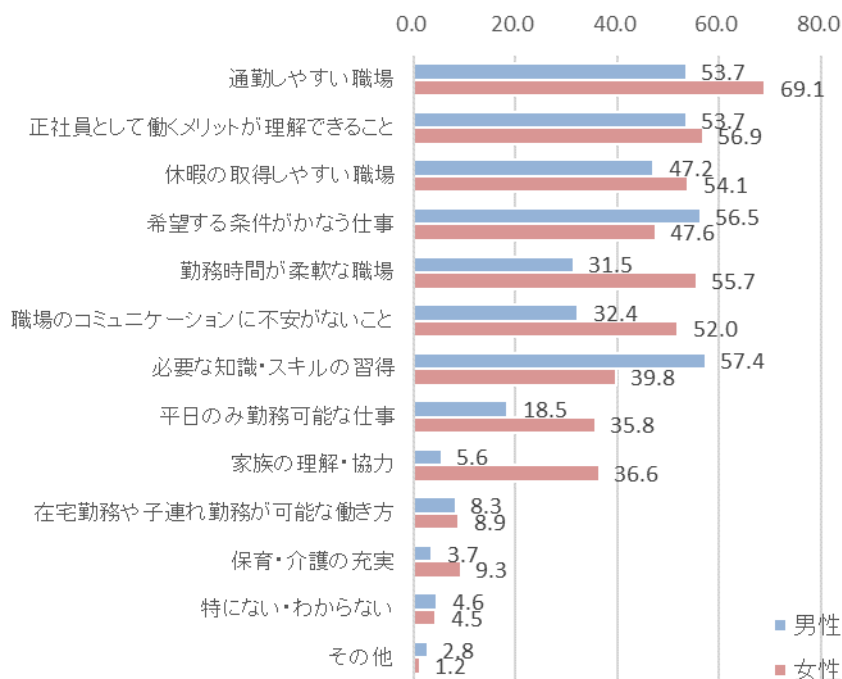
- ・ 今後、正規雇用者になることを希望する人が必要と考えることについて、「通勤しやすい職場」(64.4%)が最も高い。
- ・ 次いで、「正社員として働くメリットが理解できること」(55.9%)や「休暇の取得しやすい職場」(52.0%)、「希望する条件がかなう仕事」(50.3%)が5割を超えた。



N:354

<男女別によるクロス集計結果>

- ・ 男性では、「必要な知識・スキルの習得」(57.4%)が最も高く、次いで「希望する条件が適う仕事」(56.5%)、「通勤しやすい職場」(53.7%)、「正社員として働くメリットが理解できること」(53.7%)が5割を超える。
- ・ 女性では、「通勤しやすい職場」(69.1%)が最も高く、次いで「正社員として働くメリットが理解できること」(56.9%)、「勤務時間が柔軟な職場」(55.7%)、「休暇の取得しやすい職場」(54.1%)、「職場のコミュニケーションに不安がないこと」(52.0%)が5割を超える。
- ・ 上位3項目をはじめ、多くの項目で女性が男性を上回っており、女性の意向の強さがうかがえる。ただし、「希望する条件がかなう仕事」と「必要な知識・スキルの習得」は男性が大きく上回っており、男女による意向の違いが見られる。



N:

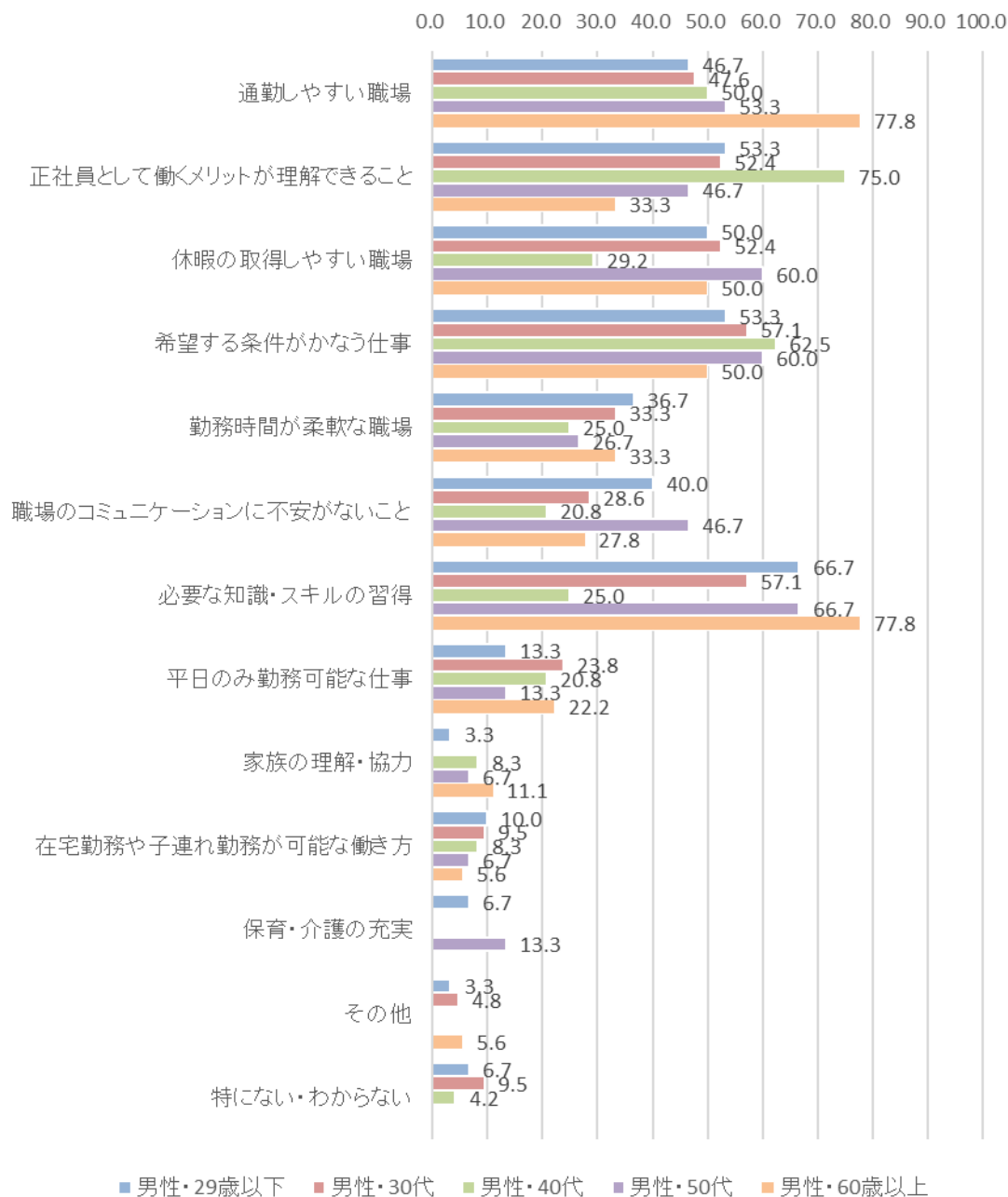
男性	女性
108	246

<性・年代別によるクロス集計結果>

※ サンプル数が少ないため参考集計

(男性)

- ・ 40代、60歳以上を除いて「通勤しやすい職場」よりも「希望する条件がかなう仕事」や「必要な知識・スキルの習得」が高くなる傾向にある。



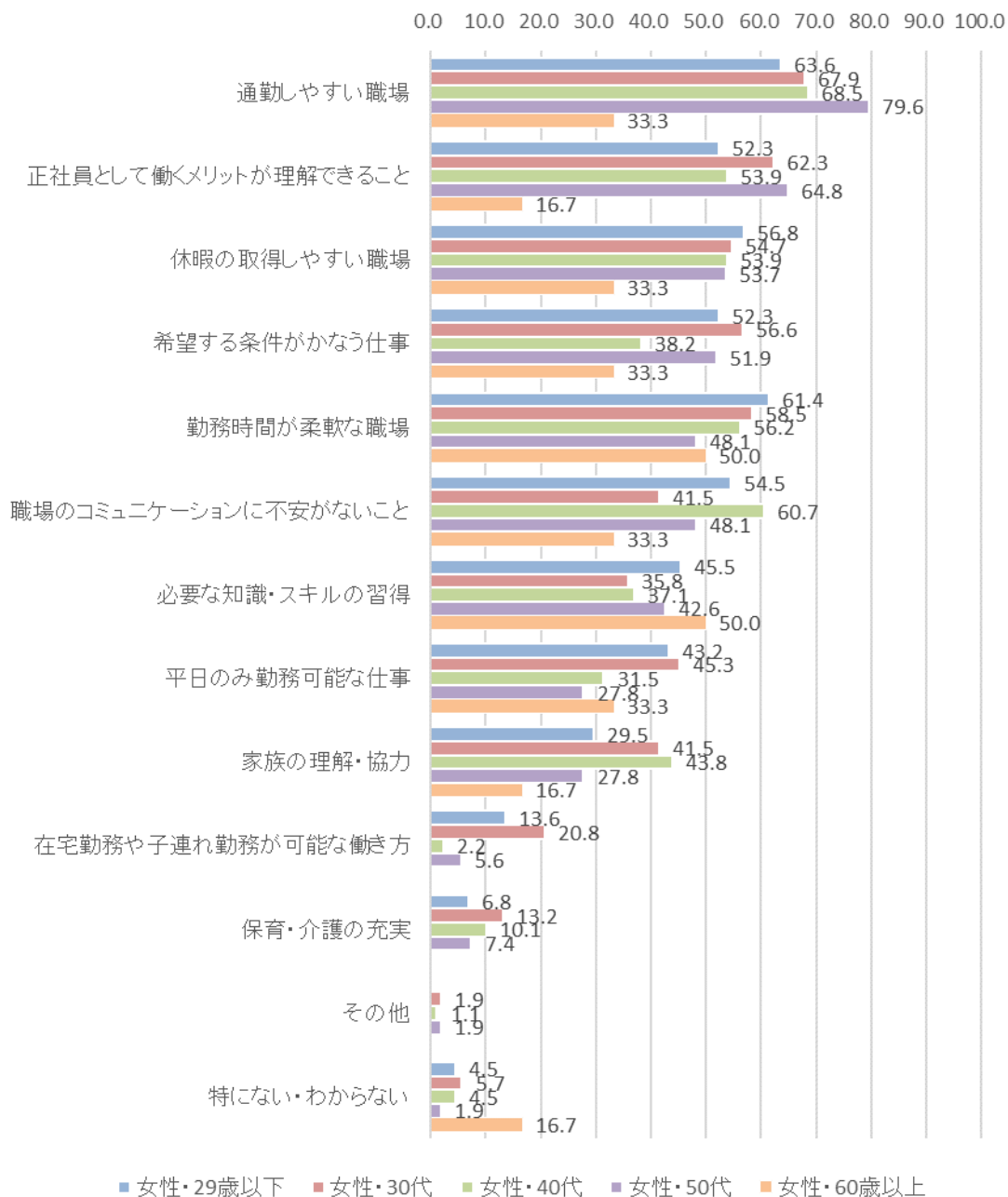
N:

29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上
30	21	24	15	18



(女性)

- ・ 60歳以上を除いて「通勤しやすい職場」が最も高い。
- ・ この他、29歳以下では「勤務時間が柔軟な職場」(61.4%)、30代や50代では「正社員として働くメリットが理解できること」(62.3%、64.8%)、40代では「職場のコミュニケーションに不安がないこと」(60.7%)が他の年代と比較して高い。

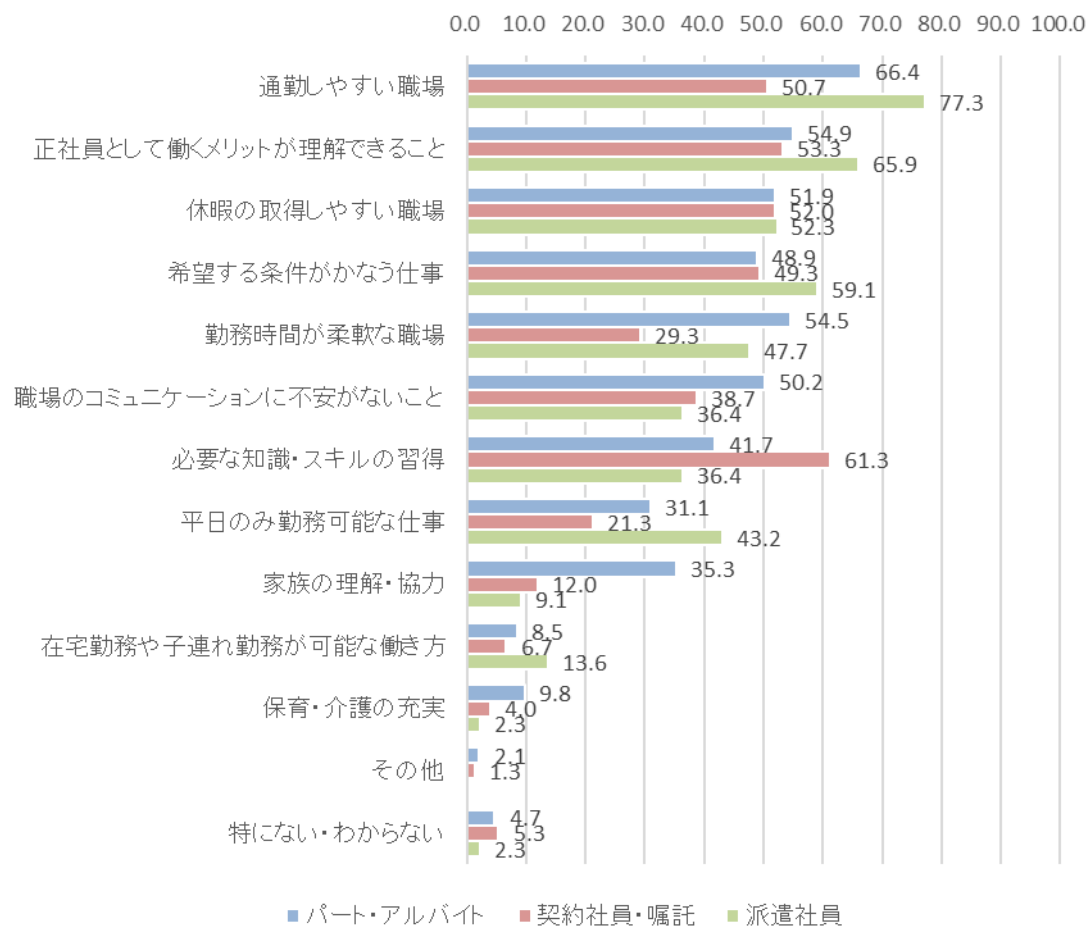


N:

29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上
44	53	89	54	6

<就業形態によるクロス集計結果>

- ・「パート・アルバイト」では、「家族の理解・協力」(35.3%)が、他の就業形態と比較して突出して高い。
- ・「契約社員・嘱託」では、「必要な知識・スキルの習得」(61.3%)が最も高い。なお、「契約社員・嘱託」は正社員に希望する割合が最も高くなっている。
- ・「派遣社員」では、「通勤しやすい職場」(77.3%)が最も高い。また、「平日のみ勤務可能な仕事」(43.2%)が、他の就業形態と比較して突出して高い。



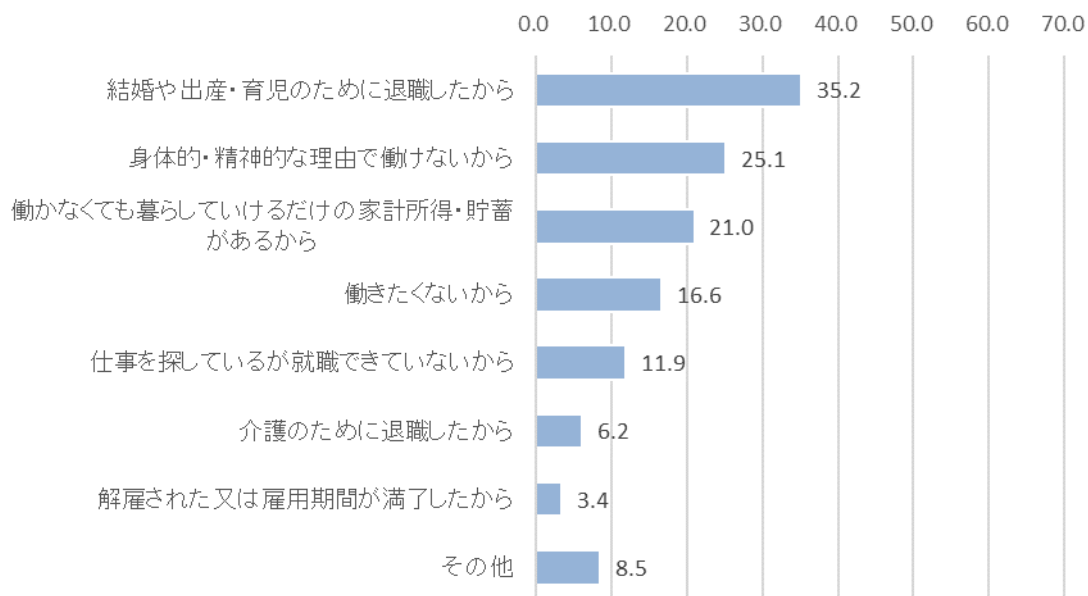
N:

パート・アルバイト	契約社員・嘱託	派遣社員
235	75	44

【現在の就業形態が「働いていない」人に対する設問】

Q5 あなたが働いていない理由について、当てはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

- ・ 「結婚や出産・育児のために退職したから」(35.2%)が最も高く、次いで「身体的・精神的な理由で働けないから」(25.1%)、「働かなくても暮らしていけるだけの家計所得・貯蓄があるから」(21.0%)と続く。
- ・ 「身体的・精神的な理由で働けないから」は25.1%となっており、4人に1人が本人の意思に反して働くことが出来ていない状況にある。



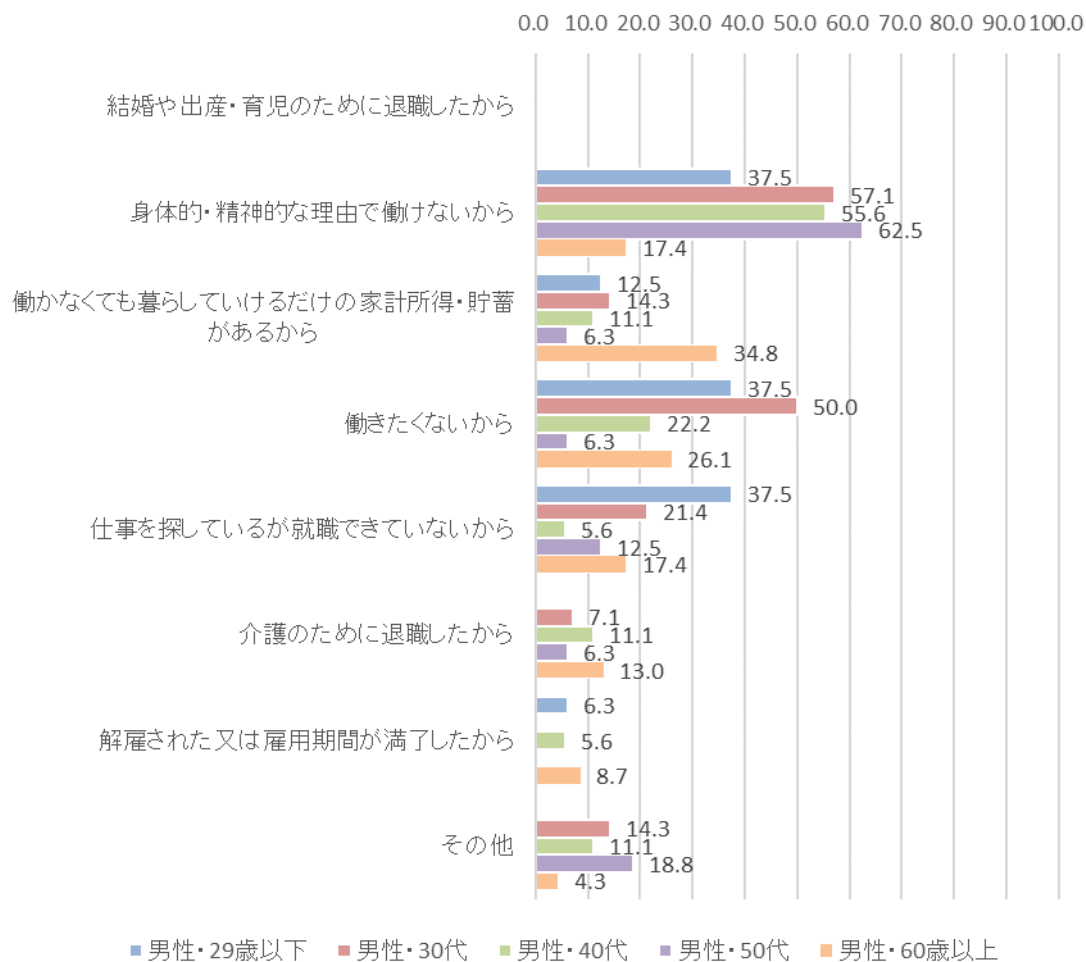
N:386

<性・年代別によるクロス集計結果>

※ サンプル数が少ないため参考集計

(男性)

- ・ 60歳以上を除いて「身体的・精神的な理由で働けないから」が最も高い。
- ・ 29歳以下及び30代では、「働きたくないから」(37.5%、50.0%)が他の年代と比較して突出して高い。
- ・ 更に、29歳以下では、「仕事を探しているが就職できないから」も37.5%と高い。

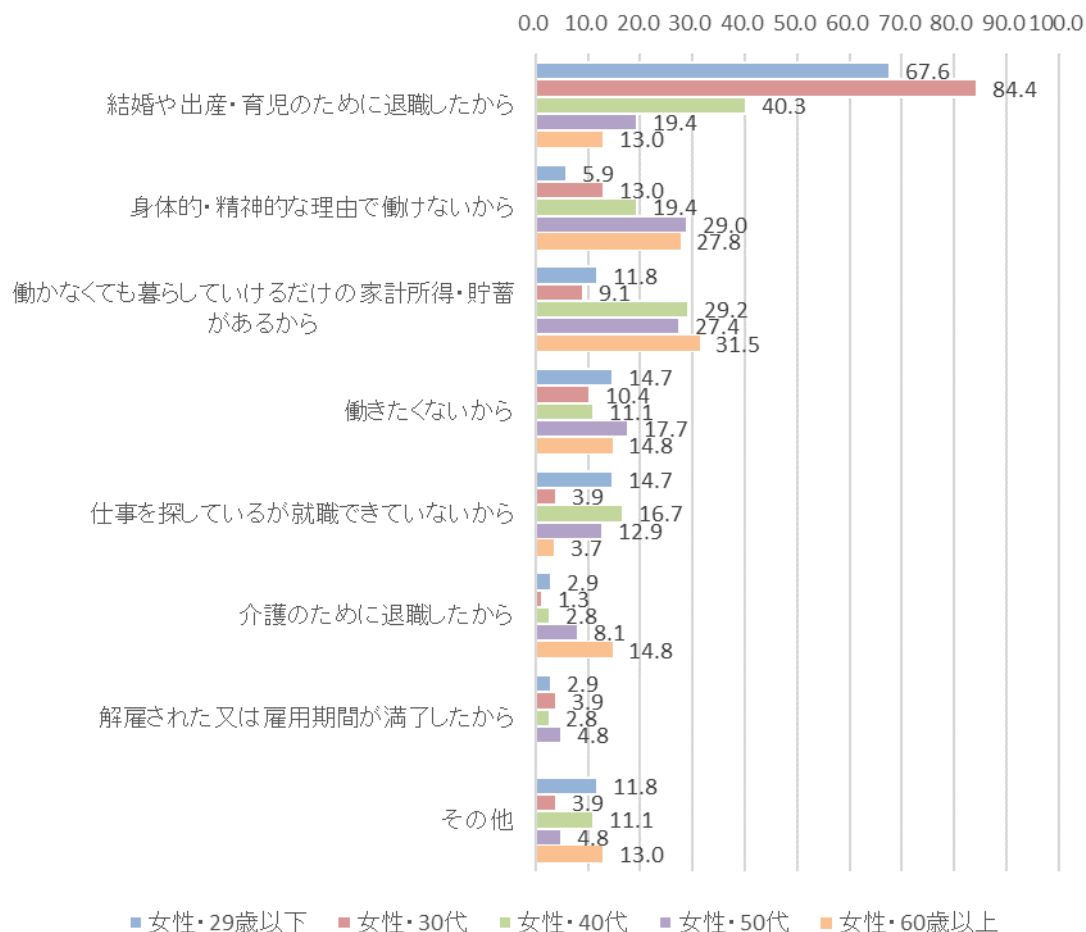


N:

29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上
16	14	18	16	23

(女性)

- ・ 29 歳以下と 30 代では、「結婚や出産・育児のために退職したから」(67.6%、84.4%)が他の年代と比較して突出して高い。
- ・ 40 代よりも高い年代では、「働かなくても暮らしていけるだけの家計所得・貯蓄があるから」が約3割と高い。
- ・ 40 代及び 50 代では、「仕事を探しているが就職できていないから」(16.7%、12.9%)が他の年代と比較して高く、結婚や出産・育児に伴い退職した後に復職できていない状況がうかがえる。
- ・ 60 歳以上では、「介護のために退職したから」(14.8%)が他の年代と比較して高い。



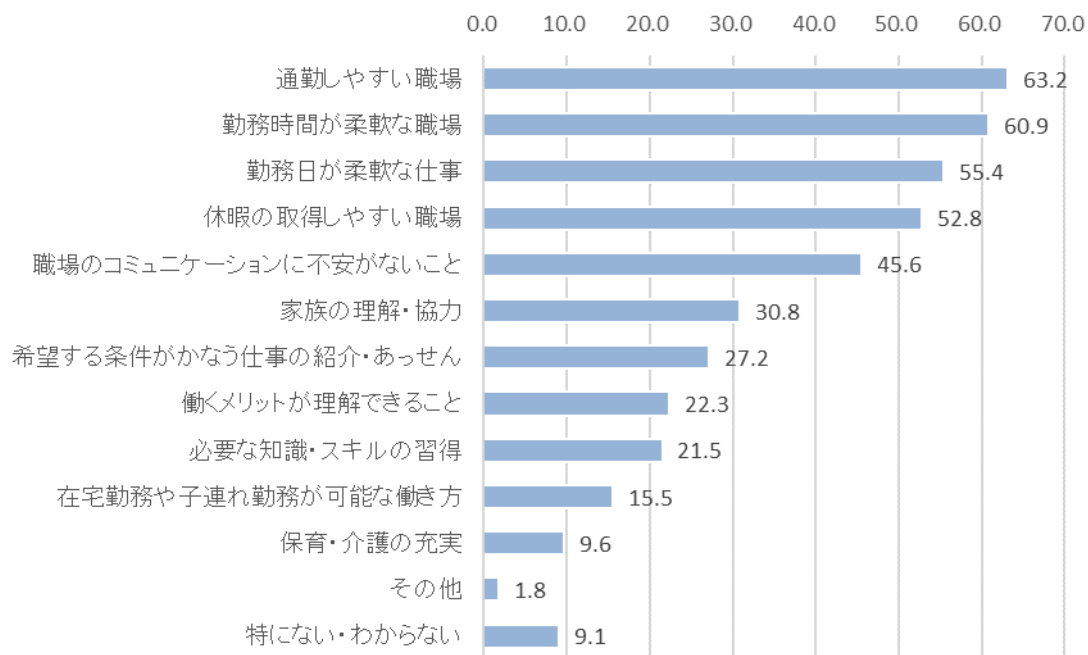
N:

29 歳以下	30 代	40 代	50 代	60 歳以上
34	77	72	62	54

【現在の就業形態が「働いていない」人に対する設問】

Q6 あなたは今後、ご自身が働くうえで何が重要と考えますか。当てはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

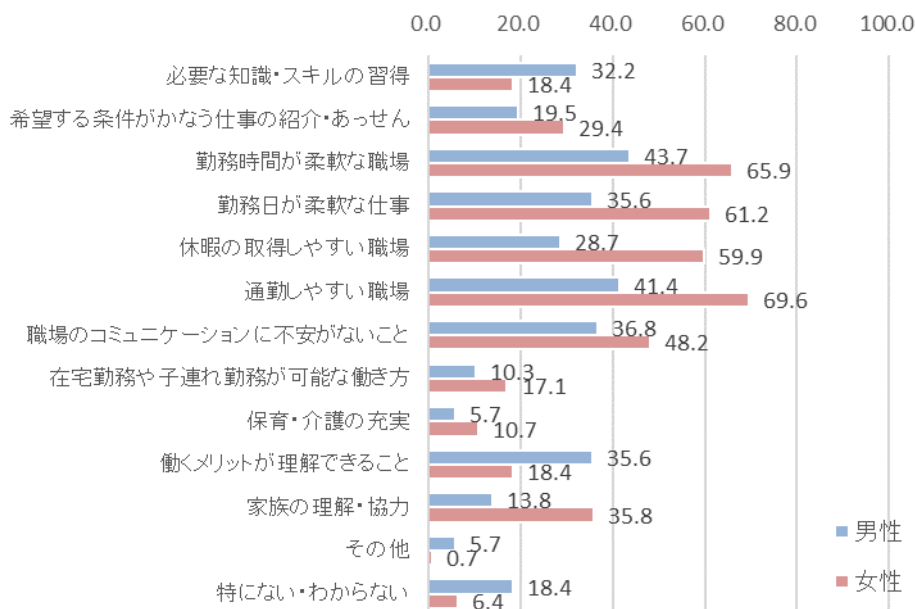
- ・ 働いていない人が働くうえで重要なことについて、「通勤しやすい職場」が63.2%で最も高い。
- ・ 次いで「勤務時間が柔軟な職場」(60.9%)、「勤務日が柔軟な仕事」(55.4%)、「休暇の取得しやすい職場」(52.8%)が5割を超えており、柔軟な働き方に対する希望が高くなっている。



N:386

<性別によるクロス集計結果>

- ・ 男性は「勤務時間が柔軟な職場」(43.7%)が最も高く、次いで「通勤しやすい職場」(41.4%)、「職場のコミュニケーションに不安がないこと」(36.8%)と続く。
- ・ 女性は「通勤しやすい職場」(69.6%)が最も高く、次いで「勤務時間が柔軟な職場」(65.9%)、「勤務日が柔軟な仕事」(61.2%)が6割を超える。



N:

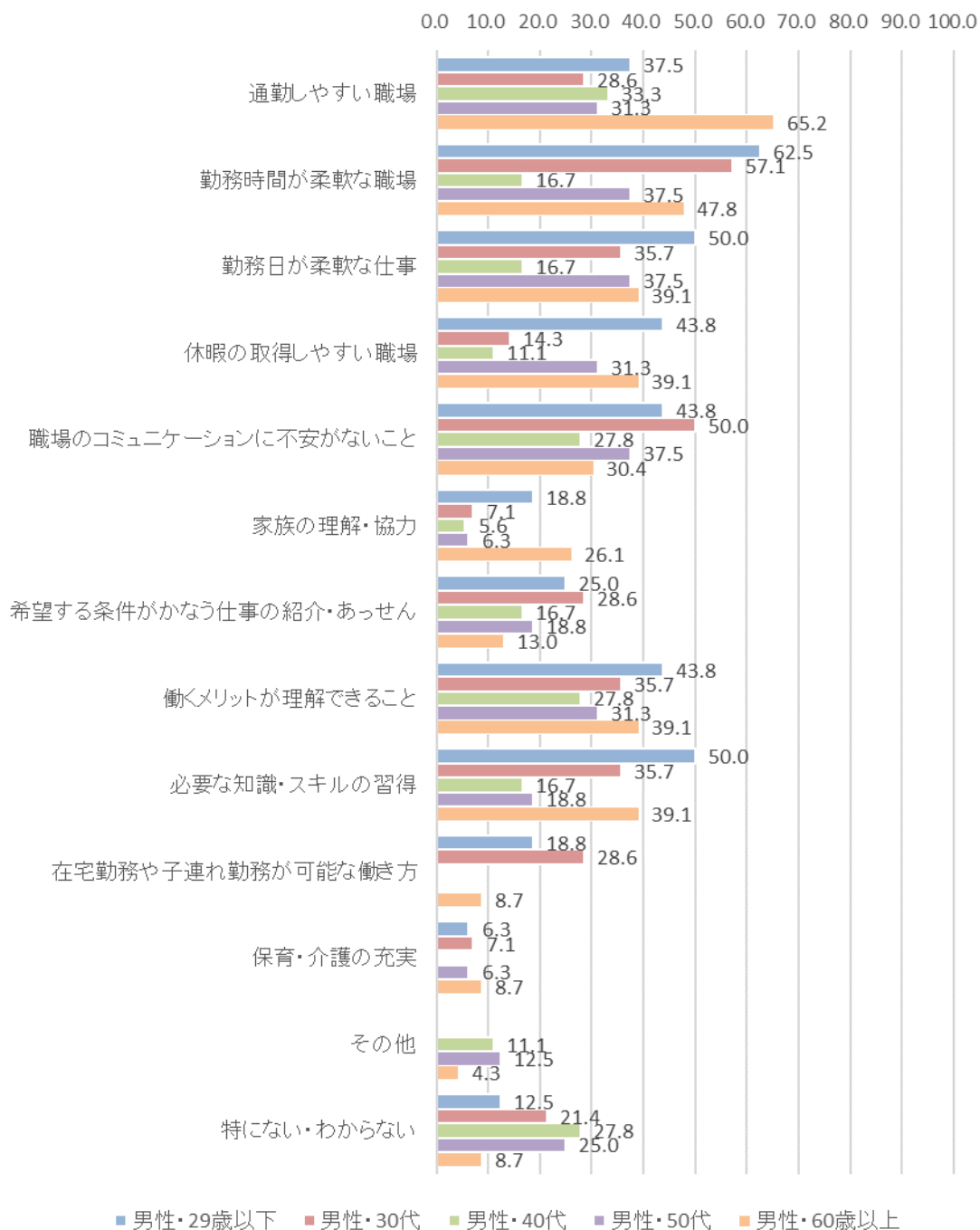
男性	女性
87	299

<性・年代別によるクロス集計結果>

※ サンプル数が少ないため参考集計

(男性)

- ・ 60歳以上では「通勤しやすい職場」が65.2%で最も高くなるものの、他の年代は30%前後となり、それほど高くない。
- ・ 29歳以下や30代では、「勤務時間が柔軟な職場」が、それぞれ62.5%、57.1%で最も高い。
- ・ 女性と比べると、「働くメリットが理解できること」が高く、就労に対する意識の高さがうかがえる。



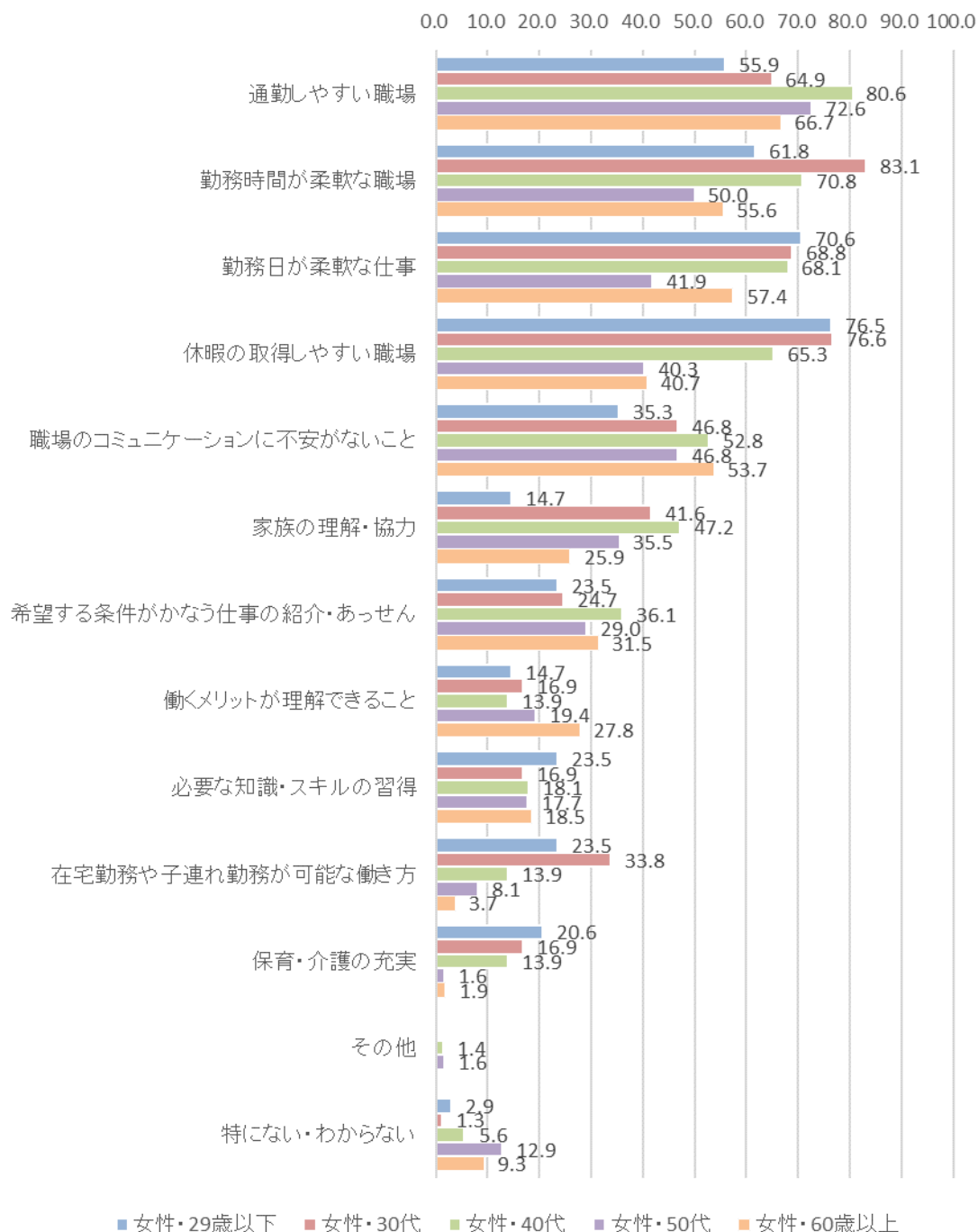
N:

29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上
16	14	18	16	23



(女性)

- ・ 40代より高い年代では、「通勤しやすい職場」が最も高い。
- ・ 29歳以下や30代では、「勤務時間が柔軟な職場」や「勤務日が柔軟な仕事」、「休暇の取得しやすい職場」といった柔軟な働き方に対する希望が高くなる。
- ・ また、30代では「在宅勤務や子連れ勤務が可能な働き方」(33.8%)、40代では「家族の理解・協力」(47.2%)が他の年代と比較して高くなり、子どもの成長に伴い希望が変化する傾向がうかがえる。



N:

29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上
34	77	72	62	54

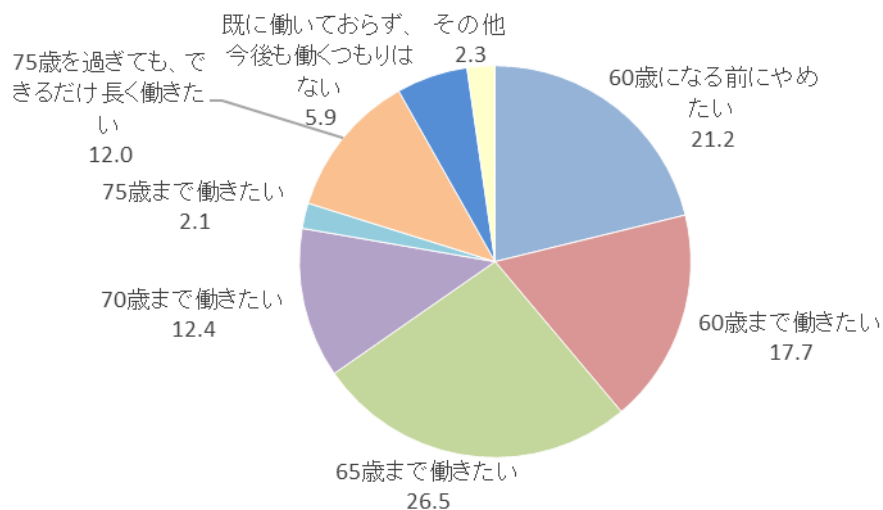
【現在の就業形態が「経営者」以外の人に対する設問】

Q7 あなたは、職場・会社などでいつまで働きたいと思いますか。最も当てはまるものを1つ選んでください。

※現在の職場・会社限定せずお答えください。

※現在働いていない方は、働くことを想定してお答えください。

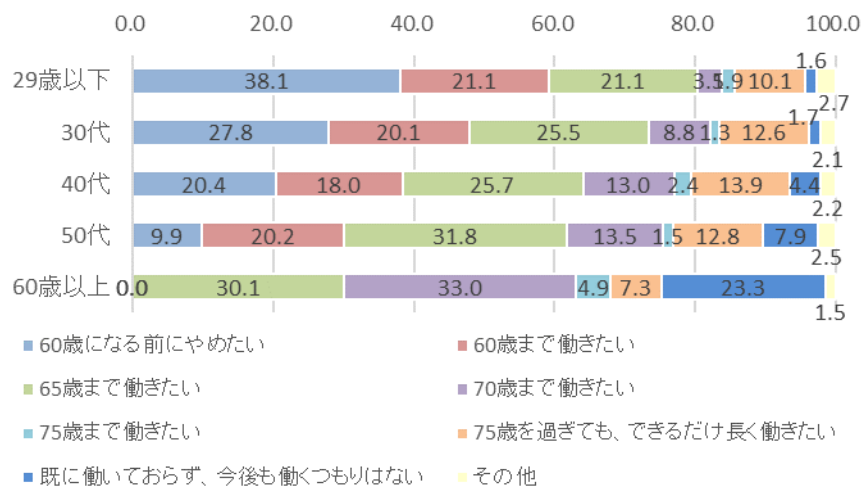
- ・ 職場・会社などで働きたい年齢について、「65歳まで働きたい」が26.5%と最も高い。
- ・ 次いで、「60歳になる前にやめたい」(21.2%)、「60歳まで働きたい」(17.7%)と続き、60歳には働く意思のない人が40%近くに達する。
- ・ 一方、「70歳まで働きたい」、「75歳まで働きたい」、「75歳を過ぎても、できるだけ長く働きたい」を合わせると26.5%となり、4人のうち1人は65歳を超えても働く意思を持っている。



N: 1,999

<年代別によるクロス集計結果>

- ・ 年代が高くなるほど、高齢になっても働く意思を持つ割合が高くなる傾向がある。
- ・ 65歳を超えて働くことを希望する人（「70歳まで働きたい」「75歳まで働きたい」「75歳を過ぎても、できるだけ長く働きたい」の計）は50代では3割弱（27.8%）、60歳以上では4割を超える（45.2%）。

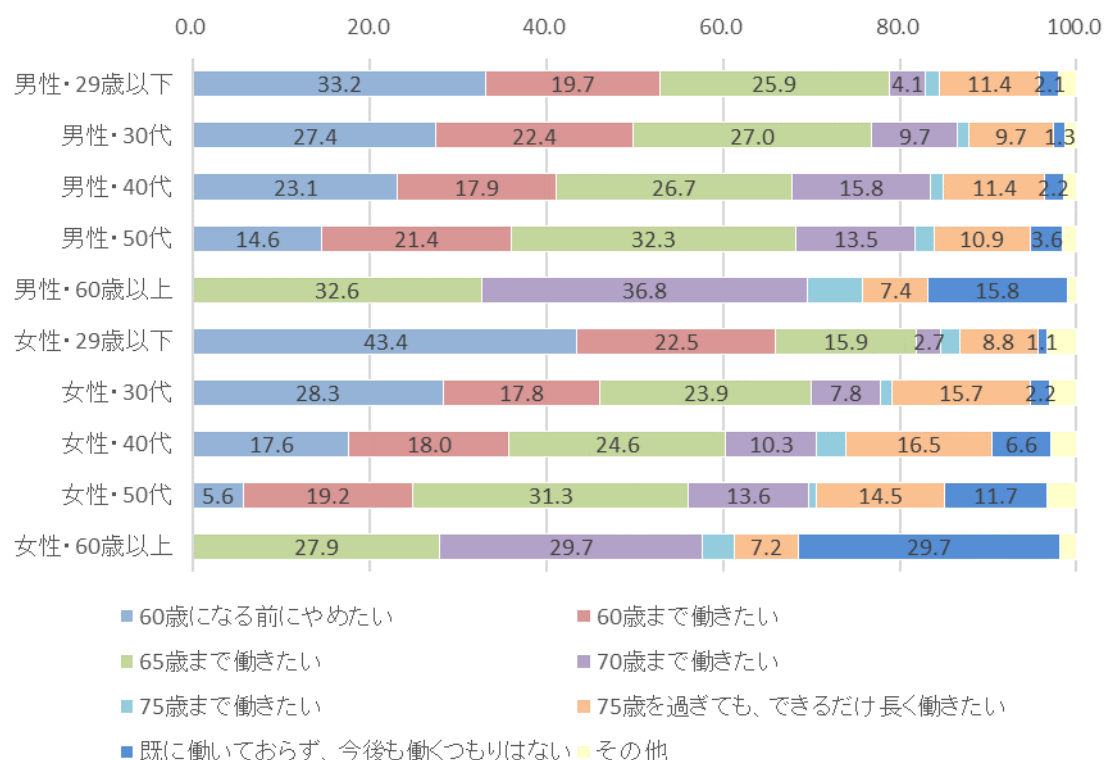


N:

29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上
375	467	545	406	206

<性・年代別によるクロス集計結果>

- ・ 男女ともに年代が高くなるほど高齢になっても働く意思を持つ割合が高くなる。
- ・ 一方、年代が低くなるほど「60歳になる前にやめたい」が高くなり、29歳以下では男性が33.2%、女性が43.4%となる。
- ・ 男性で40代より高い年代では、「70歳まで働きたい」が高くなり、65歳を超えて働くことを希望する人が30%前後に達する。
- ・ 女性では、男性よりも長く働く意向を持つ人の割合は低くなるものの、40代より高い年代では、65歳を超えて働くことを希望する人が30%前後に達し、男女の違いがなくなる。

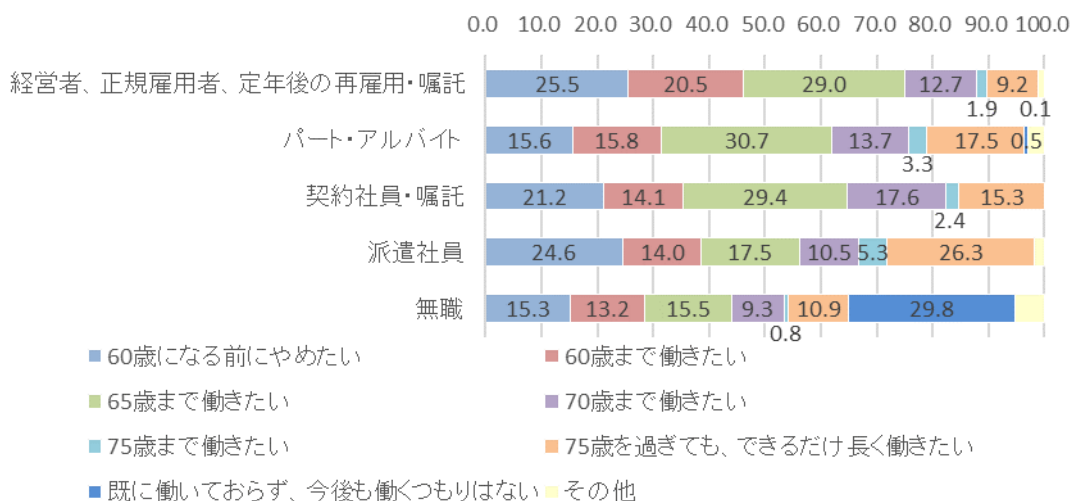


N:

男性					女性				
29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上	29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上
193	237	273	192	95	182	230	272	214	111

<就業形態によるクロス集計結果>

- ・「正規雇用者等」よりも非正規雇用者の方が長く働きたい人の割合が高くなる傾向にあり、65歳を超えて働くことを希望する人は、「正規雇用者等」が 23.8%であるのに対して、「派遣社員」が 42.1%となるなど大きく上回っている。
- ・「無職」では、「既に働いておらず、今後も働くつもりはない」は 29.8%にとどまる。



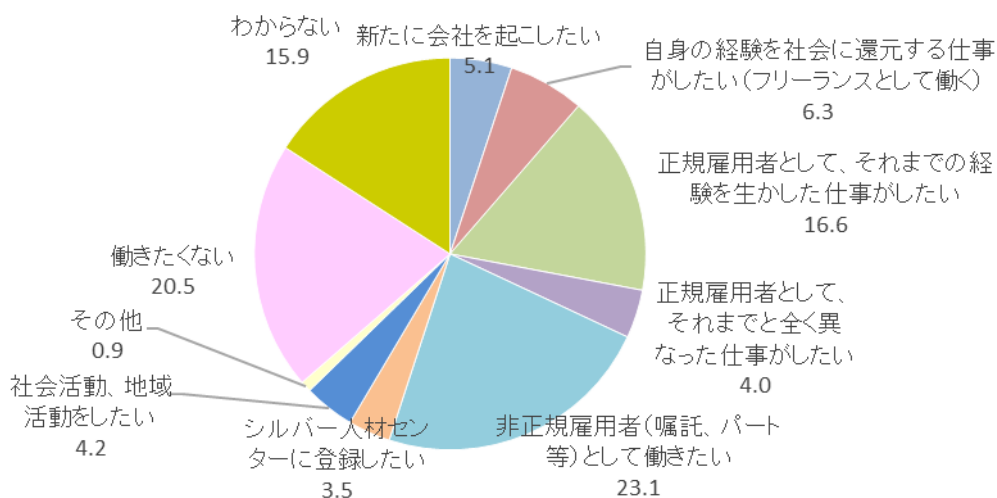
N:

正規雇用者等	パート・アルバイト	契約社員・嘱託	派遣社員	無職
1047	424	85	57	386

【現在の就業形態が「経営者」以外の人に対する設問】

Q8 あなたは、職場・会社の退職後など、今後、高齢になってからどのような道に進みたいと思いますか。最も当てはまるものを1つ選んでください。

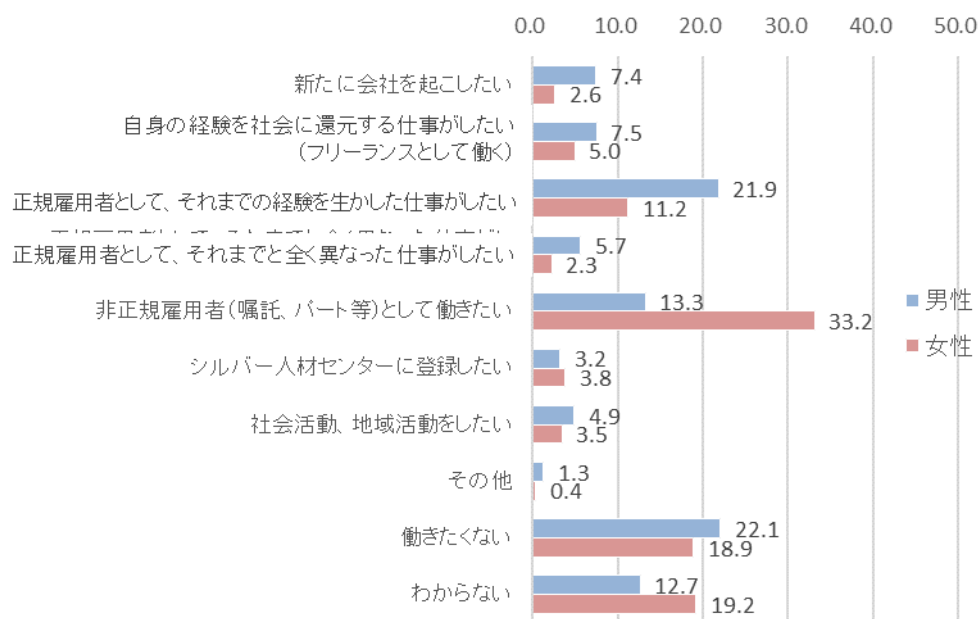
- ・ 職場・会社の退職後など、高齢になってからの働き方について、「非正規雇用者(嘱託、パート等)として働きたい」が 23.1%となり最も高くなる。
- ・ 「正規雇用者として、それまでの経験を生かした仕事がしたい」が 16.6%、「自身の経験を社会に還元する仕事がしたい(フリーランスとして働く)」が 6.3%となるなど、現在の経験を生かした働き方に対する希望が2割を超える。



N: 1,881

<男女別によるクロス集計結果>

- ・ 男性は「働きたくない」(22.1%)が最も高く、次いで「正規雇用者として、それまでの経験を生かした仕事」(21.9%)と続く。
- ・ 女性は「非正規雇用」(33.2%)が最も高く、次いで「わからない」(19.2%)と続く。



N:

男性	女性
955	926

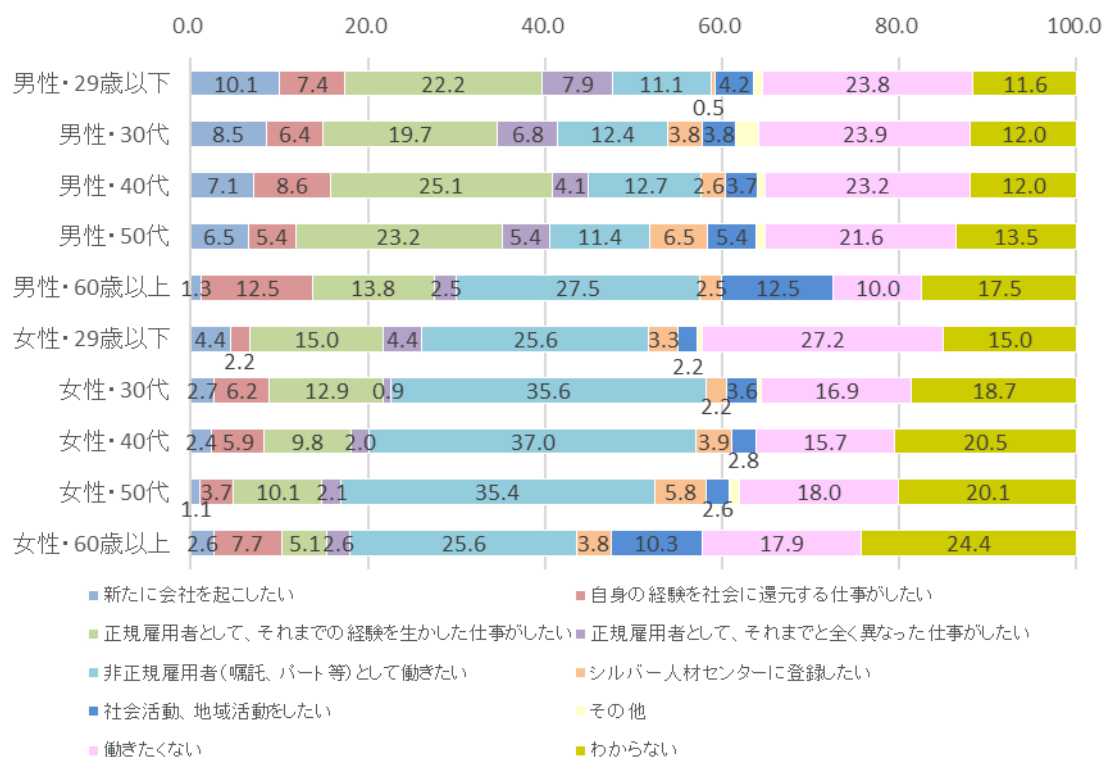
<性・年代別によるクロス集計結果>

(男性)

- ・ 40 代より低い年代では、「働きたくない」が最も多くなるものの、就労方法の選択肢の中では「正規雇用者として、それまでの経験を生かした仕事をしたい」が 20~25%程度で最も高い。
- ・ 50 代では、「正規雇用者として、それまでの経験を生かした仕事をしたい」が 23.2%で最も高くなる。一方、60 歳以上では、「非正規雇用者(嘱託、パート等)として働きたい」が 27.5%で他の年代と比較して突出して高くなる。
- ・ 「新たに会社を起こしたい」や「正規雇用者として、それまでと全く異なった仕事をしたい」とする割合は、年代が高くなるほど低くなる傾向にある。

(女性)

- ・ 女性は 29 歳以下で「働きたくない」が 27.2%で最も高いものの、他の全ての年代では「非正規雇用者(嘱託、パート等)として働きたい」が最も高い。

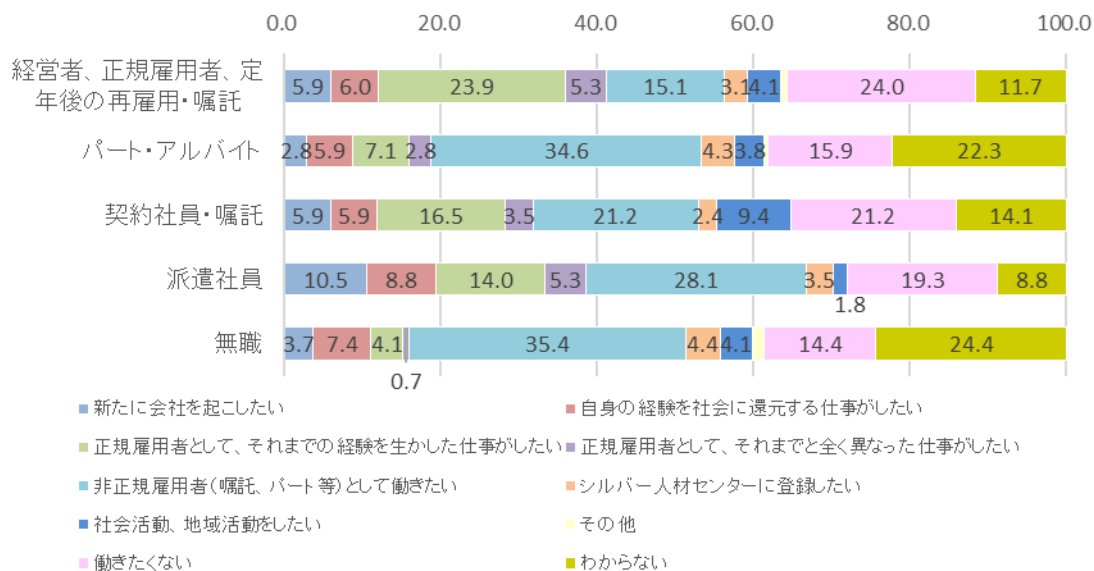


N:

男性					女性				
29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上	29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上
189	234	267	185	80	180	225	254	189	78

＜就業形態によるクロス集計結果＞

- ・ 「正規雇用者等」は「働きたくない」(24.0%)が最も高く、次いで「正規雇用者として、それまでの経験を生かした仕事をしたい」(23.9%)、「非正規雇用者(嘱託、パート等)として働きたい」(15.1%)と続く。
- ・ それ以外の属性では、「非正規雇用者(嘱託、パート等)として働きたい」が最も高い。
- ・ 就業形態別で「新たに会社を起こしたい」の割合が最も高くなったのは「派遣社員」で唯一10%を超える。

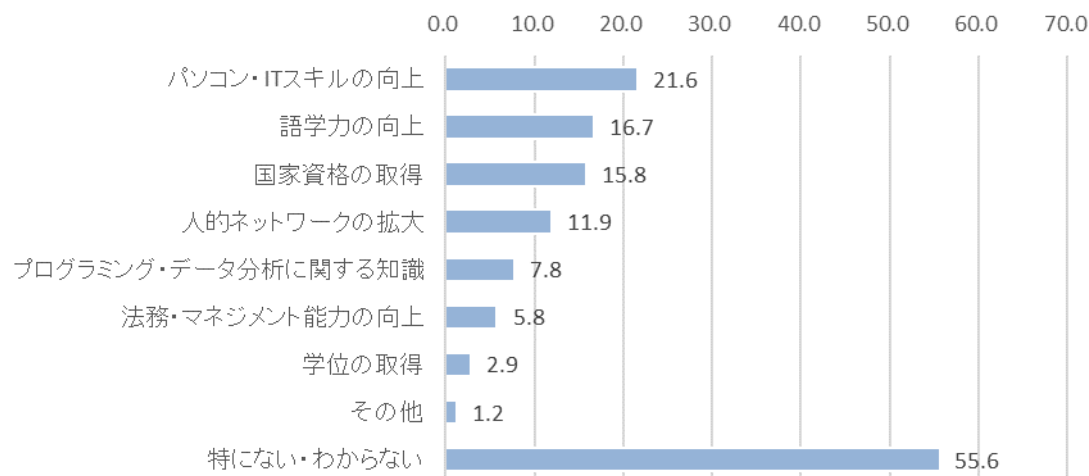


N:

正規雇用者等	パート・アルバイト	契約社員・嘱託	派遣社員	無職
1046	422	85	57	271

Q9 あなたが、将来のキャリアパスを見据えて、取り組みたいこと(既に取り組んでいること)は何ですか。当てはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

- ・ 「パソコン・ITスキルの向上」(21.6%)が最も高い。
- ・ 次いで「語学力の向上」(16.7%)、「国家資格の取得」(15.8%)と続く。
- ・ 回答者の半数弱がキャリアパスを見据え、何らかに取り組みたいとしている。



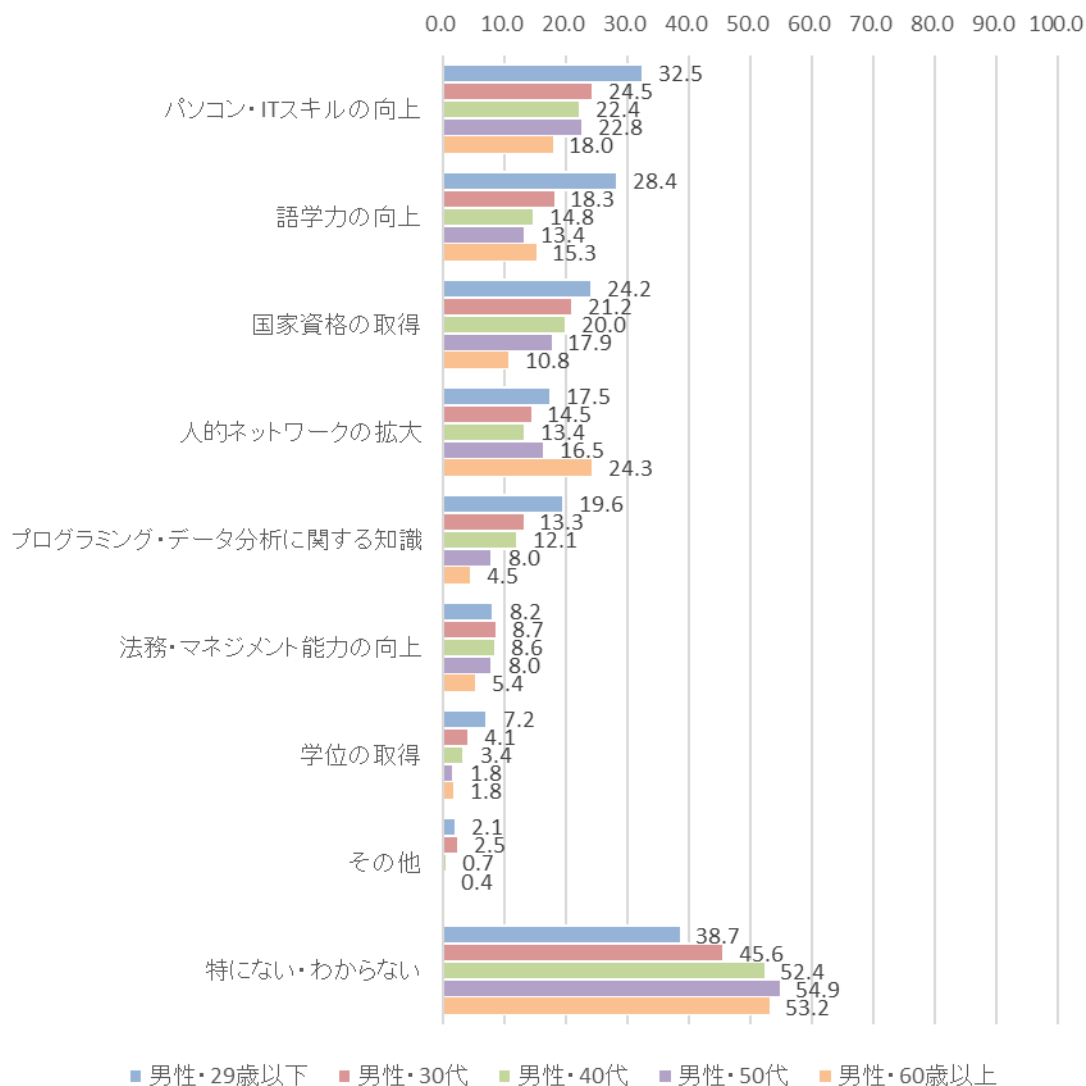
N:2,078



<性・年代別によるクロス集計結果>

(男性)

- ・ 年代が低くなるほど、「特にない・わからない」が低くなるとともに、殆どの項目が高くなる。
- ・ 29歳以下では、「パソコン・ITスキルの向上」が32.5%、「語学力の向上」が28.4%と高くなり、他の年代と比較して突出して高い。
- ・ 60歳以上では、「人的ネットワークの拡大」が24.3%となり、他の年代と比較して高い。

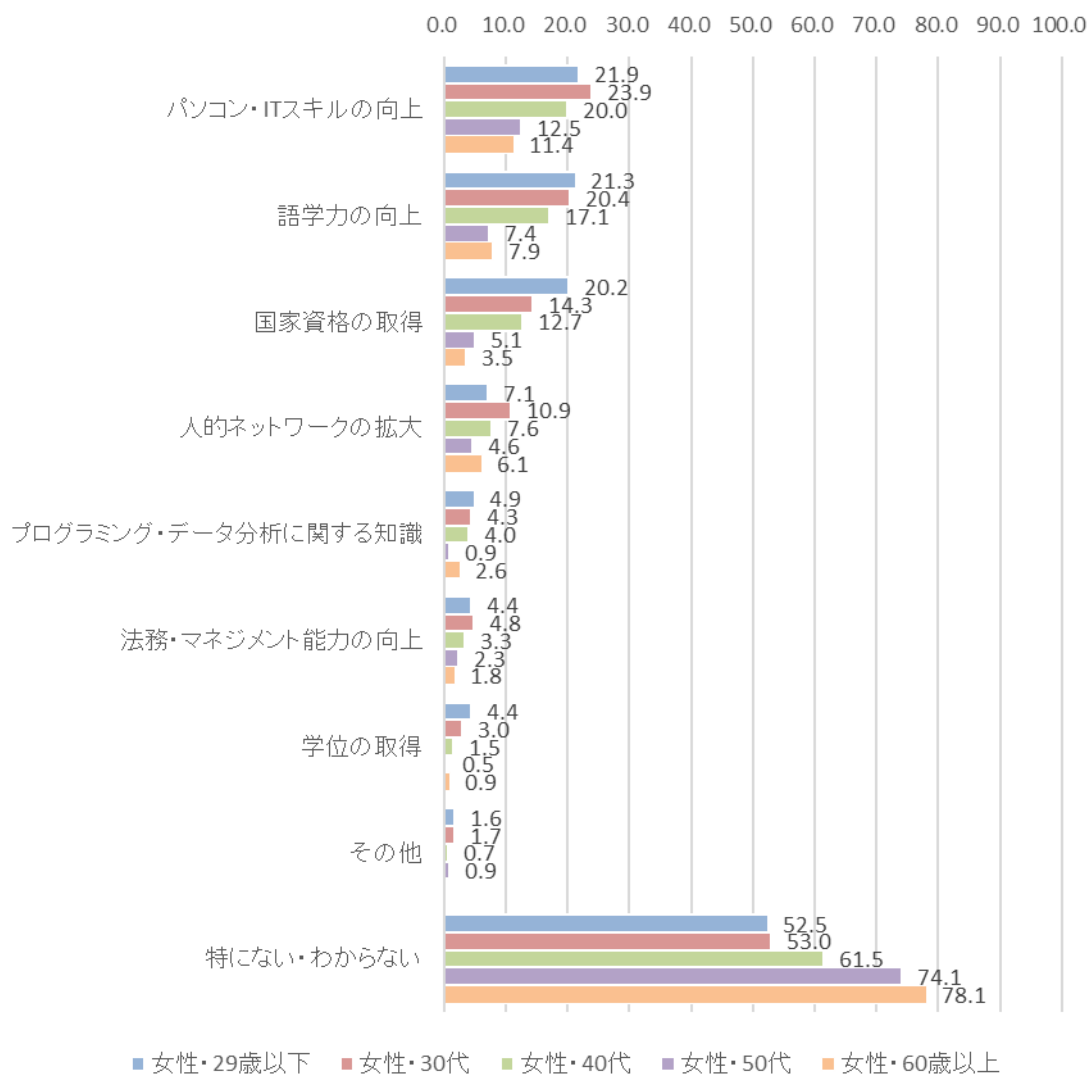


N:

29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上
194	241	290	224	111

(女性)

- ・ 男性と同様に年代が高くなるほど低くなる傾向にあるが、いずれの項目においても男性より概ね低い。
- ・ 29 歳以下では、「パソコン・IT スキルの向上」(21.9%)、「語学力の向上」(21.3%)、「国家資格の取得」(20.2%)がいずれも約2割となる。また、30 代においても、「パソコン・IT スキルの向上」(23.9%)や「語学力の向上」(20.4%)が2割程度となり、若い年代でキャリアパスに対する意欲の高さがうかがえる。

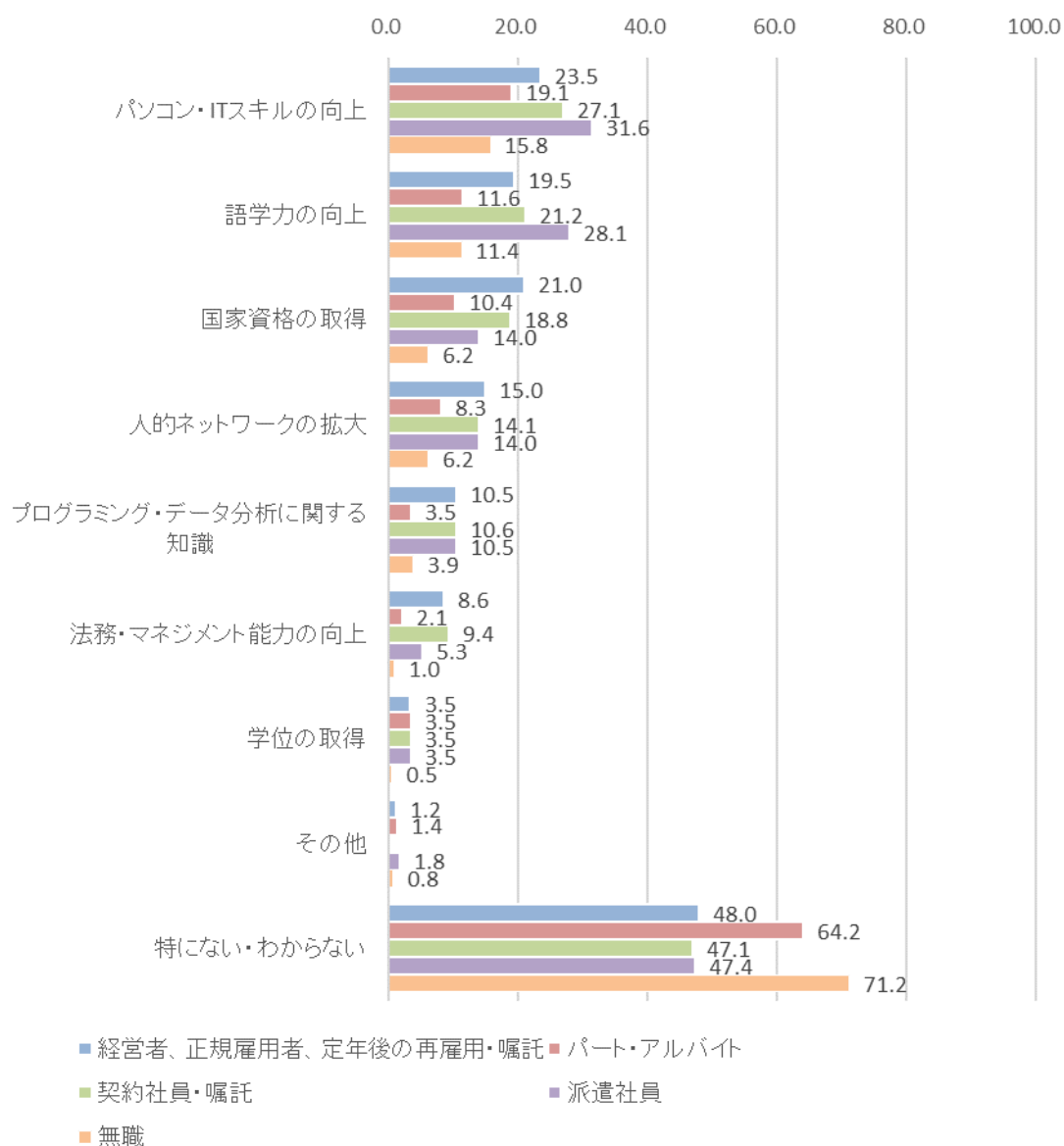


N:

29 歳以下	30 代	40 代	50 代	60 歳以上
183	230	275	216	114

<就業形態によるクロス集計結果>

- ・「特にない・わからない」が、「パート・アルバイト」及び「無職」でそれぞれ 64.2%、71.2%と高くなっているものの、それ以外は 50%を下回り、就業形態により意向が異なる。
- ・「派遣社員」では「パソコン・IT スキルの向上」(31.6%)や「語学力の向上」(28.1%)が3割前後となり、「正規雇用者等」を上回る。雇用の安定を希望して、あるいは正規雇用者になるために、スキル向上を志向していることがうかがえる。
- ・「正規雇用者等」や「契約社員・嘱託」では、「パソコン・IT スキルの向上」(23.5%、27.1%)が最も高く、次いで「語学力の向上」(19.5%、21.2%)や「国家資格の取得」(21.0%、18.8%)も高くなり、「派遣社員」との違いがみられる。



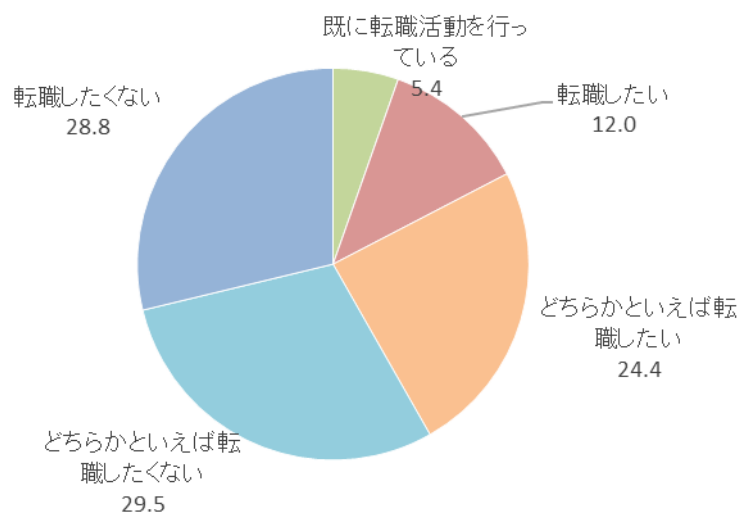
N:

正規雇用者等	パート・アルバイト	契約社員・嘱託	派遣社員	無職
1,126	424	85	57	386

【現在の就業形態が「経営者」「働いていない」以外の人に対する設問】

Q10 あなたは、現在の主な職場・会社を転職したいと思いますか。

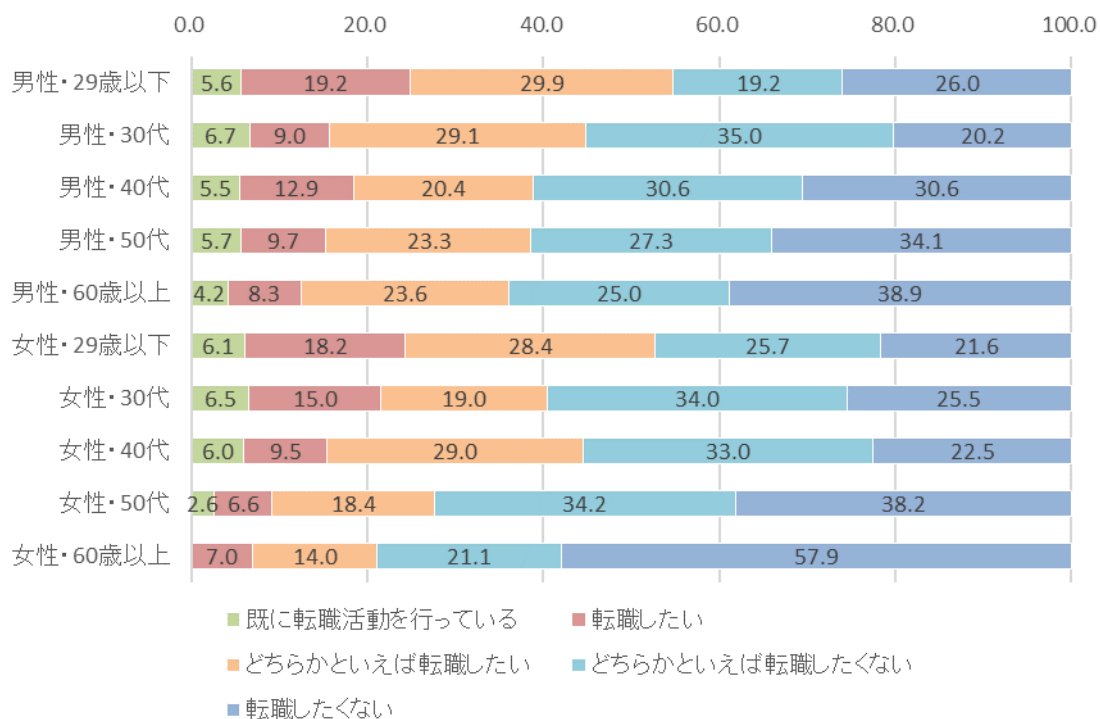
- ・ 転職を希望しない（「転職したくない」、「どちらかといえば転職したくない」の計）とした割合は58.3%となり、約6割を占める。



N:1,613

<性・年代別によるクロス集計結果>

- ・ 男女ともに年齢が高まるほど転職を希望しないとした割合が高くなる傾向にある。
- ・ 29歳以下では、転職を希望する(「既に転職活動を行っている」、「転職したい」、「どちらかといえば転職したい」の計)とした割合は男性が54.7%、女性が52.7%となり、ともに5割を超える。

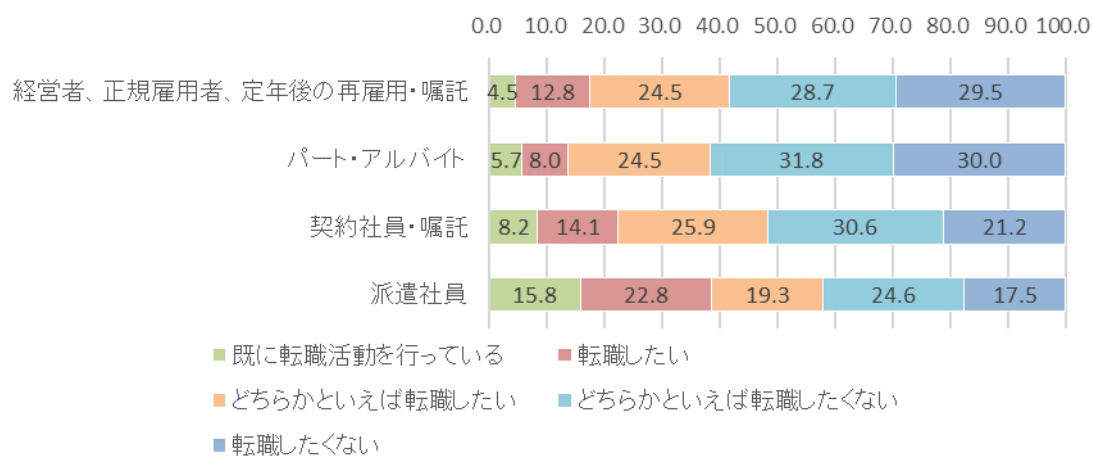


N:

男性					女性				
29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上	29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上
177	223	255	176	72	148	153	200	152	57

<就業形態によるクロス集計結果>

- ・ 転職を希望しないとした割合は「経営者、正規雇用者、定年後の再雇用、嘱託」(58.2%)と「パート・アルバイト」(61.8%)では約6割となっている。
- ・ 一方、「派遣社員」では半数以下(42.1%)となっている。



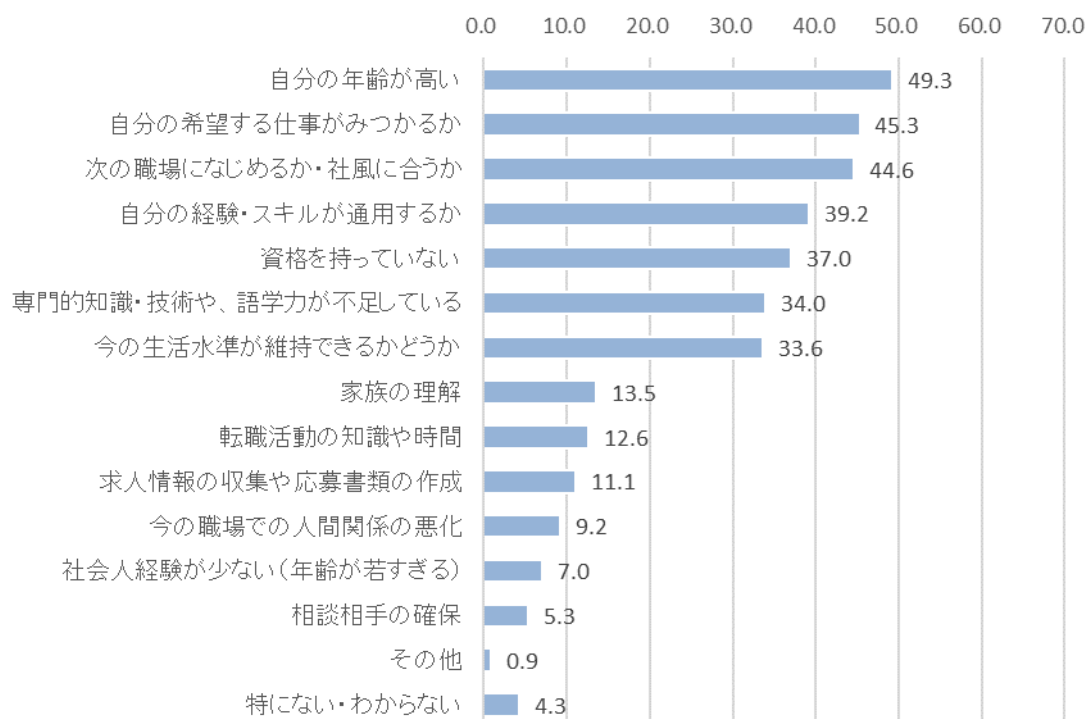
N:

正規雇用者等	パート・アルバイト	契約社員・嘱託	派遣社員
1047	424	85	57

【Q10で「既に転職活動を行っている」「転職したい」「どちらかといえば転職したい」を選択した人に対する設問】

Q11 転職を検討するうえで不安に思うことは何ですか。当てはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

- ・ 「自分の年齢が高い」(49.3%)が最も高い。
- ・ 次いで「自分の希望する仕事が見つかるか」(45.3%)、「次の職場になじめるか・社風に合うか」(44.6%)が4割を超える。
- ・ 「自分の経験・スキルが通用するか」(39.2%)、「資格を持っていない」(37.0%)、「専門知識・技術や、語学力が不足している」(34.0%)と自らの職業能力に対する不安も多くなっている。

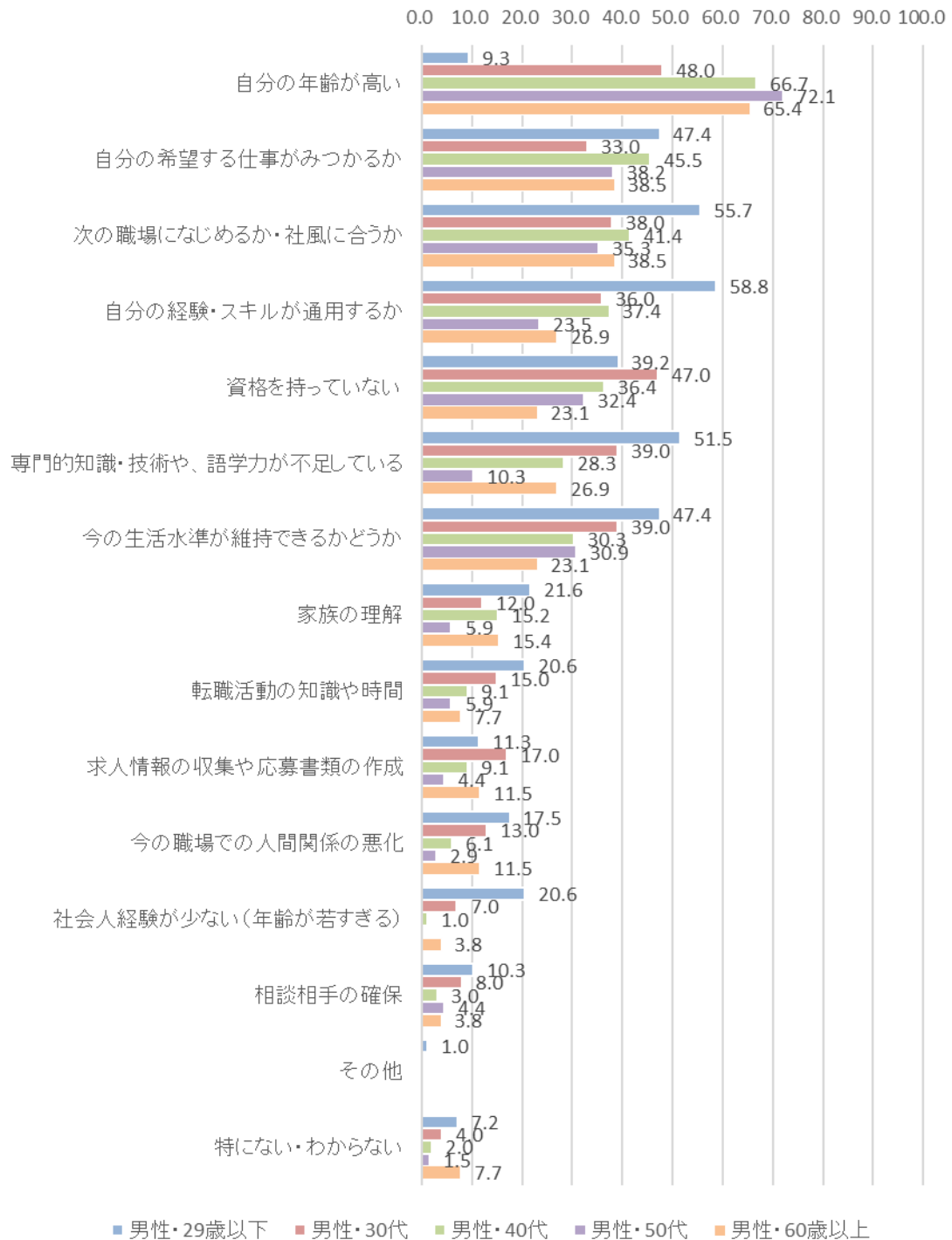


N:673

#### <性・年代別によるクロス集計結果>

(男性)

- ・ 40代よりも年代が高くなると、「自分の年齢が高い」が60%を超えて突出して高くなる。次いで、「自分の希望する仕事が見つかるか」や「次の職場になじめるか・社風に合うか」が40%前後となり続く。
- ・ 30代では、「自分の年齢が高い」が上記の年代と同様に48.0%となり最も高いものの、「資格を持っていない」も47.0%と同様に高い。
- ・ 29歳以下では、「自分の経験・スキルが通用するか」(58.8%)をはじめ、「次の職場になじめるか・社風に合うか」(55.7%)、「専門的知識・技術や、語学力が不足している」(51.5%)、「自分の希望する仕事が見つかるか」(47.4%)、「今の生活水準が維持できるかどうか」(47.4%)、「資格を持っていない」(39.2%)と高い項目が多くみられ、様々な不安を抱えていることがうかがえる。



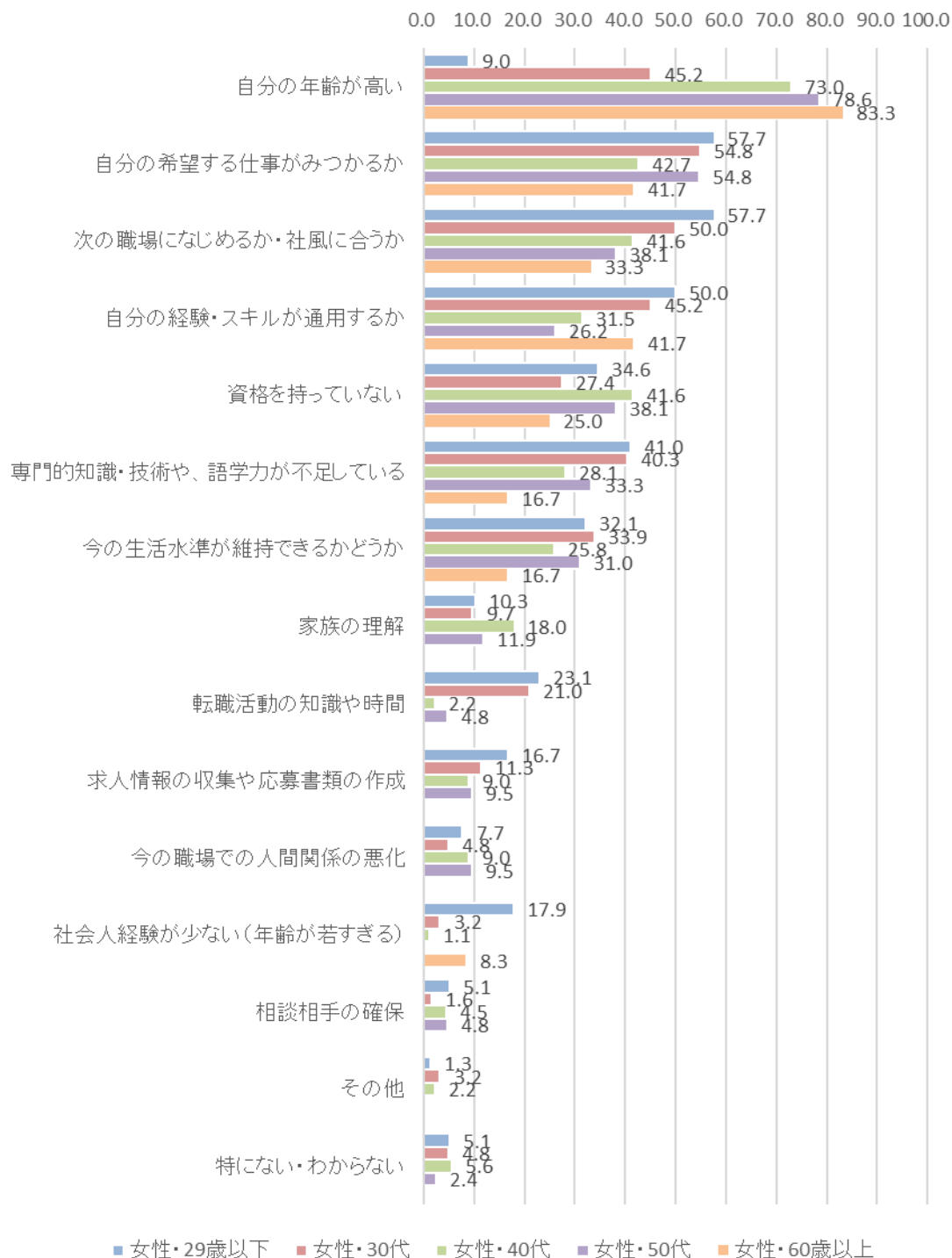
N:

29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上
97	100	99	68	26



(女性)

- ・ 40代よりも年代が高くなると、「自分の年齢が高い」が男性以上に高くなり70%を超える。
- ・ 29歳以下及び30代では、「自分の希望する仕事が見つかるか」(57.7%、54.8%)や「次の職場になじめるか・社風に合うか」(57.7%、50.0%)、「自分の経験・スキルが通用するか」(50.0%、45.2%)の3項目が5割前後と高い。

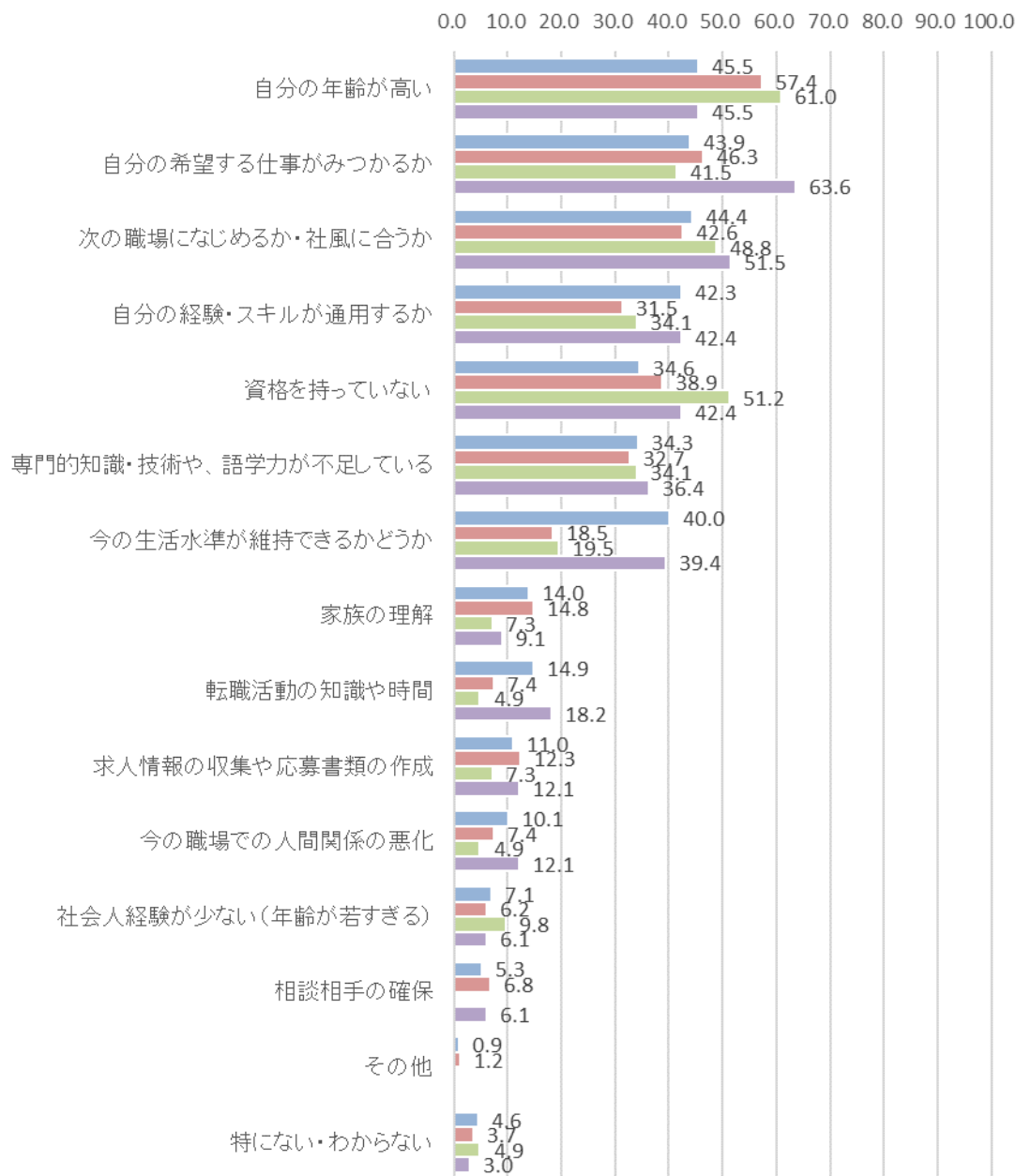


N:

29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上
78	62	89	42	12

<就業形態によるクロス集計結果>

- ・ 転職意向の最も強い「派遣社員」では、「自分の希望する仕事が見つかるか」(63.6%)が突出して高い。
- ・ 「正規雇用者等」では、「自分の年齢が高い」(45.5%)や「次の職場になじめるか・社風に合うか」(44.4%)、「自分の希望する仕事が見つかるか」(43.9%)、「自分の経験・スキルが通用するか」(42.3%)、「今の生活水準が維持できるかどうか」(40.0%)の4項目が4割を超えて高い。



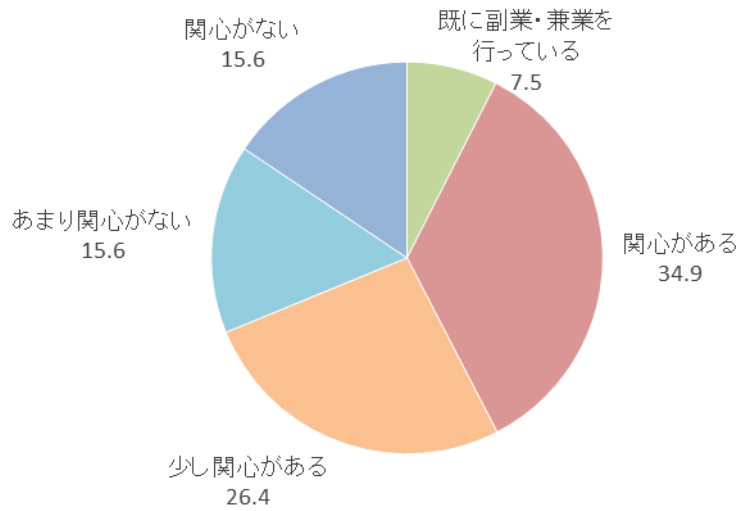
■ 経営者、正規雇用者、定年後の再雇用・嘱託 ■ パート・アルバイト ■ 契約社員・嘱託 ■ 派遣社員

N:

正規雇用者等	パート・アルバイト	契約社員・嘱託	派遣社員
437	162	41	33

Q12 あなたは、副業・兼業に関心がありますか。最も当てはまるものを1つ選んでください。

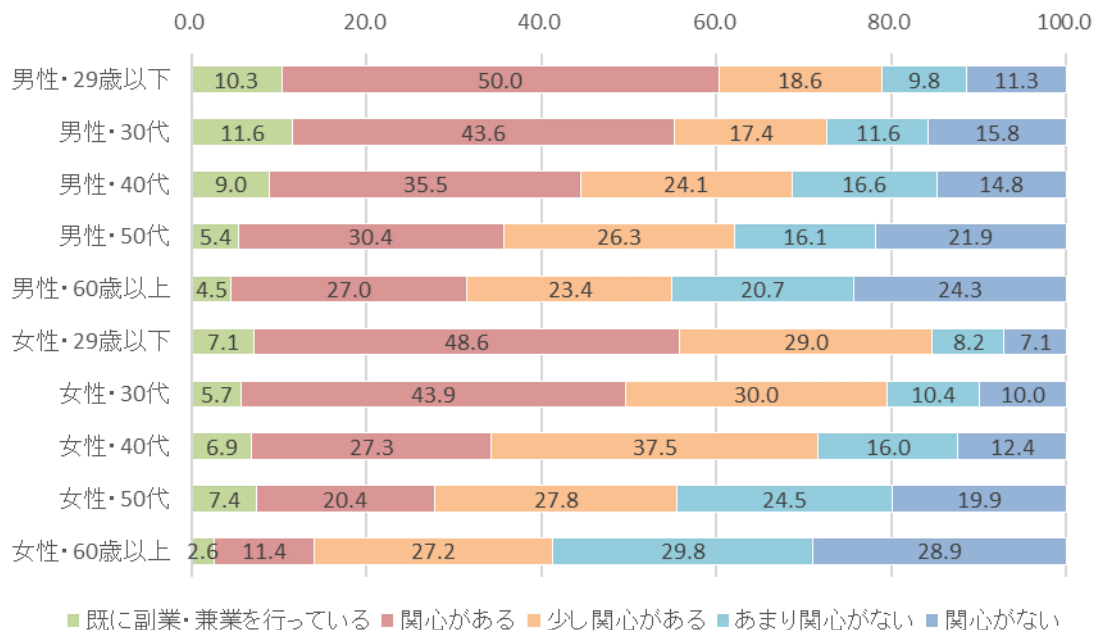
- 副業・兼業について、「既に副業・兼業を行っている」が 7.5%であり、「関心がある」が 34.9%となる。また、関心度（「関心がある」、「少し関心がある」の計）は 61.3%となり、副業・兼業に対して高い関心のあることがうかがえる。



N:2,078

<性・年代別によるクロス集計結果>

- ・ 男女とも年代が低くなるほど、「関心がある」とした割合は高くなっている。
- ・ 男女とも 29 歳以下では「関心がある」とした割合は約5割を占める。

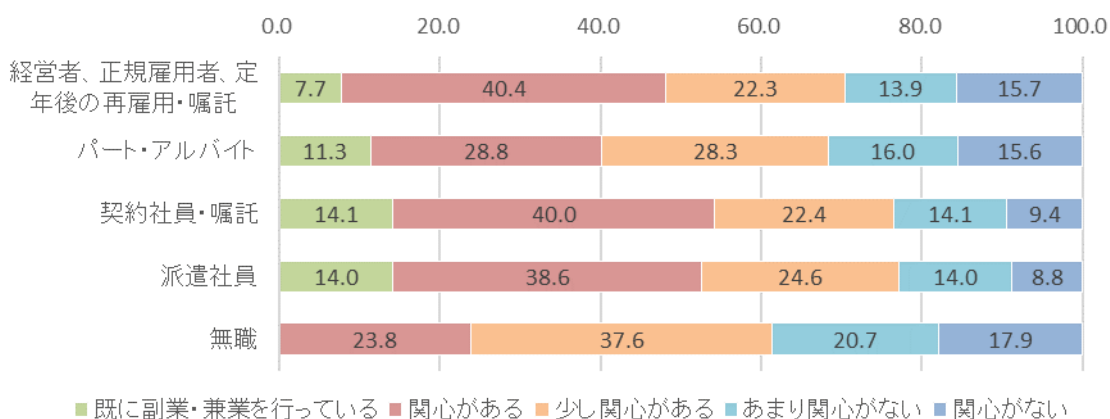


N:

男性					女性				
29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上	29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上
194	241	290	224	111	183	230	275	216	114

<就業形態によるクロス集計結果>

- ・ 「既に副業・兼業を行っている」割合は、「契約社員・嘱託」が 14.1%、「派遣社員」が 14.0%、「パート・アルバイト」が 11.3%であり、「正規雇用者等」が 7.7%となる。
- ・ 関心度は、「パート・アルバイト」(57.1%)を除いて、いずれも6割を超えており、就業形態を問わず関心が高い。

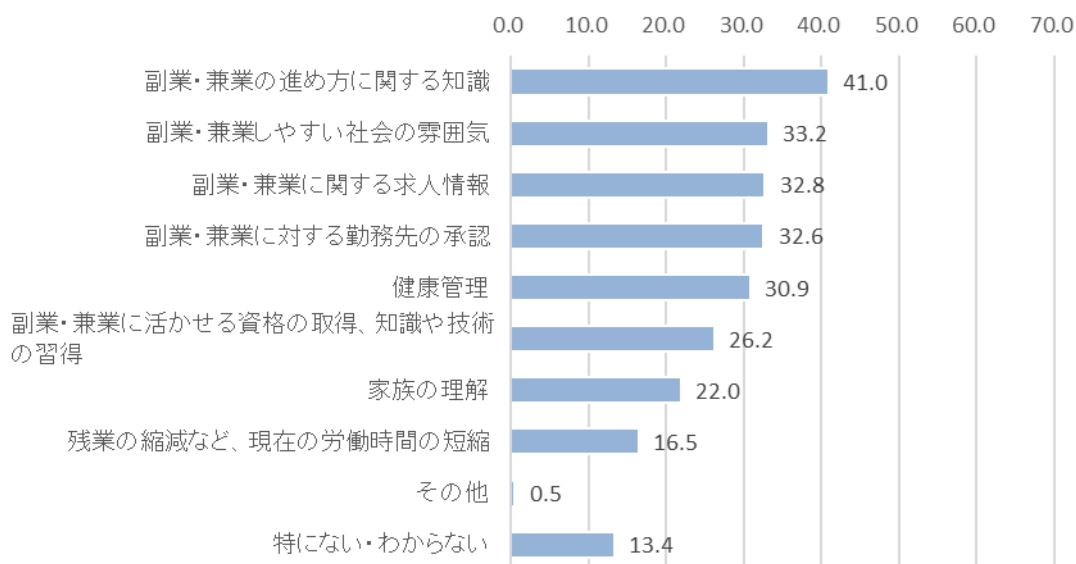


N:

正規雇用者等	パート・アルバイト	契約社員・嘱託	派遣社員	無職
1,126	424	85	57	386

【Q12で「既に副業・兼業を行っている」「関心がある」「少し関心がある」を選択した人に対する設問】  
 Q13 副業・兼業をするために、必要だと思うことは何ですか。当てはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

- ・ 「副業・兼業の進め方に関する知識」(41.0%)が最も高い。
- ・ 次いで「副業・兼業しやすい社会の雰囲気」(33.2%)、「副業・兼業に関する求人情報」(32.8%)、「副業・兼業に対する勤務先の承認」(32.6%)、「健康管理」(30.9%)が3割を超える。

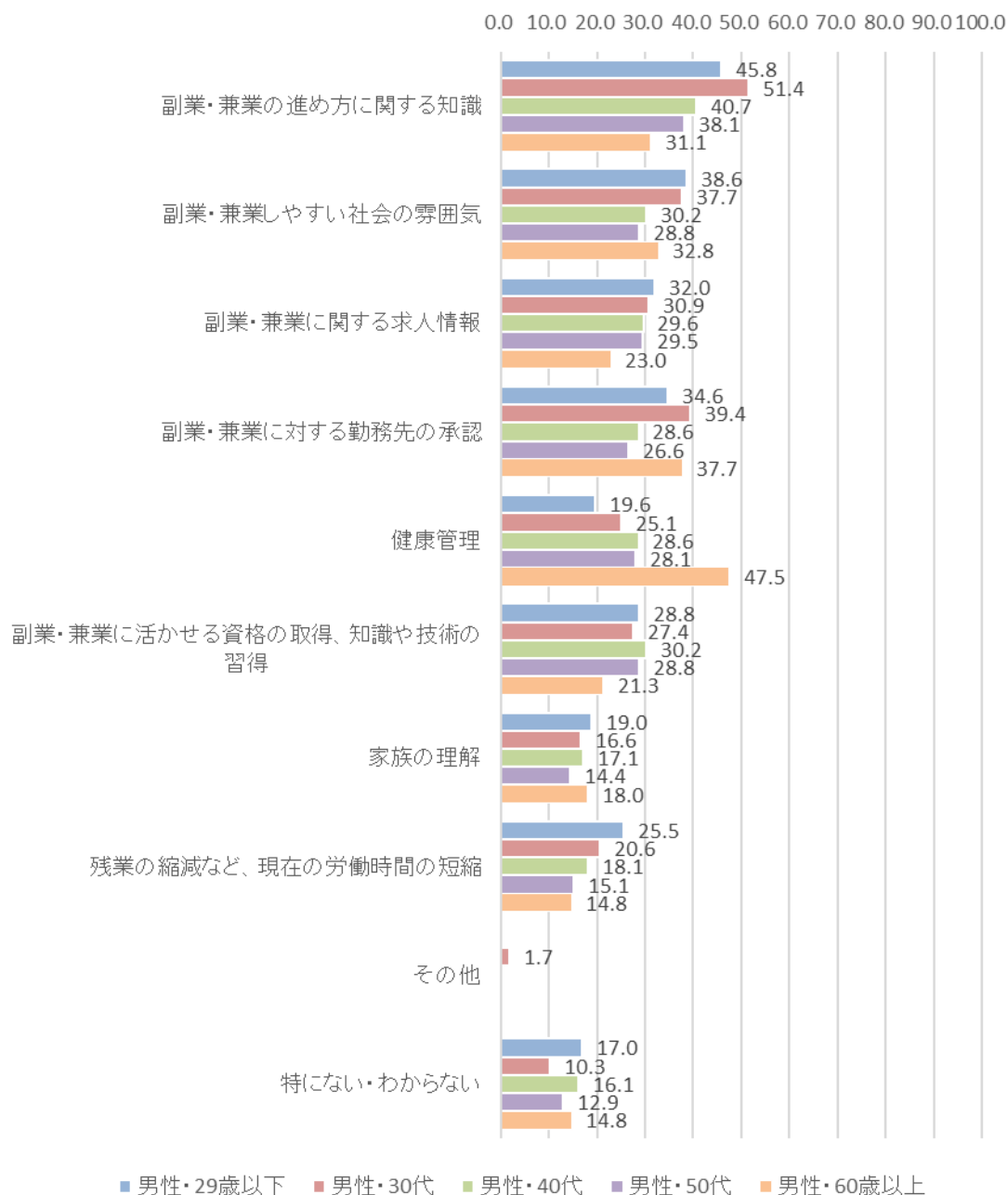


N:1,429

<性・年代別によるクロス集計結果>

(男性)

- ・ 60歳以上を除いて「副業・兼業の進め方に関する知識」が最も高い。
- ・ 関心度の高い 29歳以下及び 30代では、「副業・兼業しやすい社会の雰囲気」(38.6%、37.7%)や「副業・兼業に対する勤務先の承認」(34.6%、39.4%)が高く、副業・兼業しやすい社会形成を必要としている。

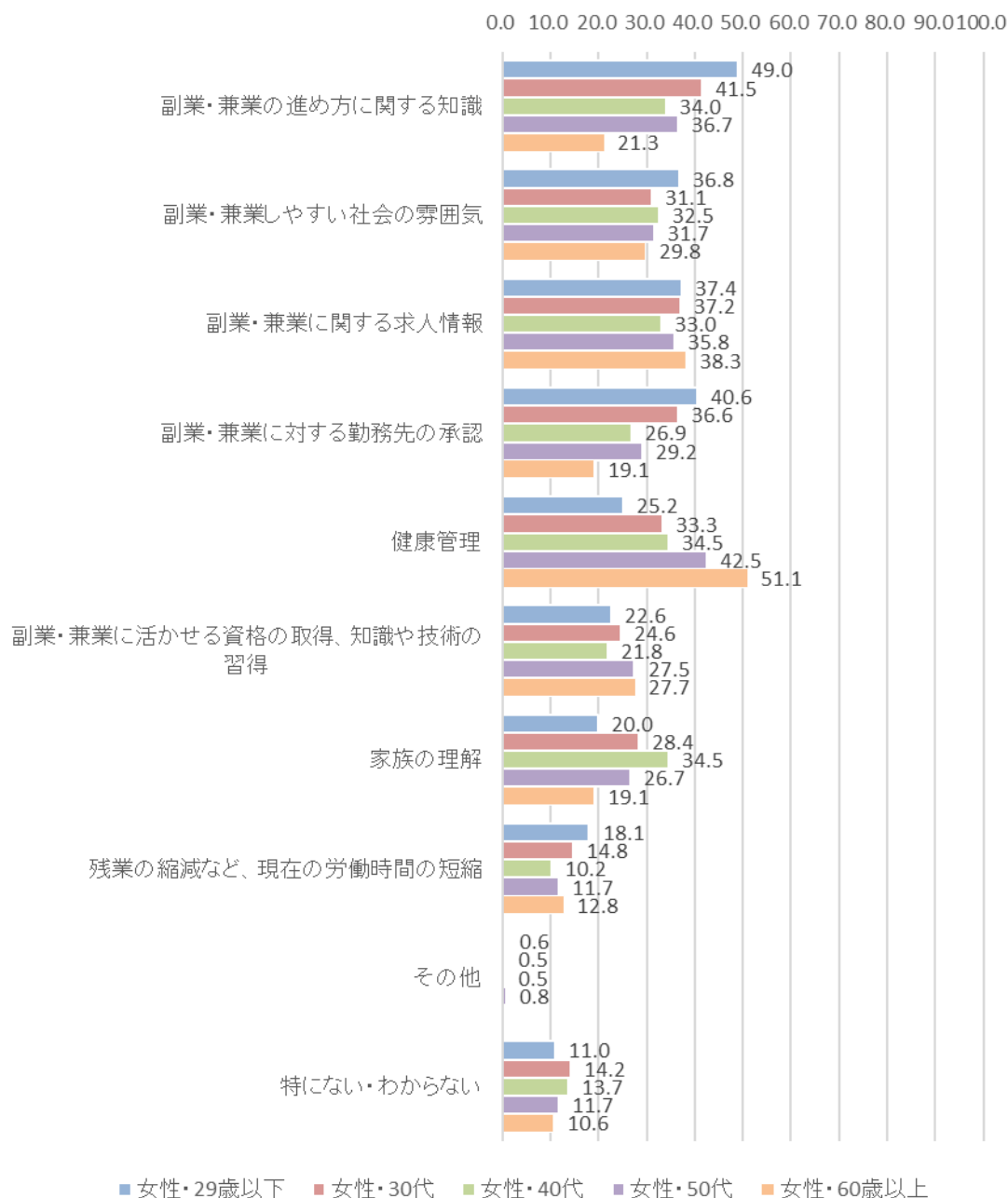


N:

29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上
153	175	199	139	61

(女性)

- ・ 関心度の高い 29 歳以下及び 30 代では、「副業・兼業の進め方に関する知識」(49.0%、41.5%)が最も高く、次いで「副業・兼業に関する求人情報」(37.4%、37.2%)が続く。
- ・ 同年代の男性が必要としている副業・兼業しやすい社会形成よりも、情報を必要としていることがうかがえる。

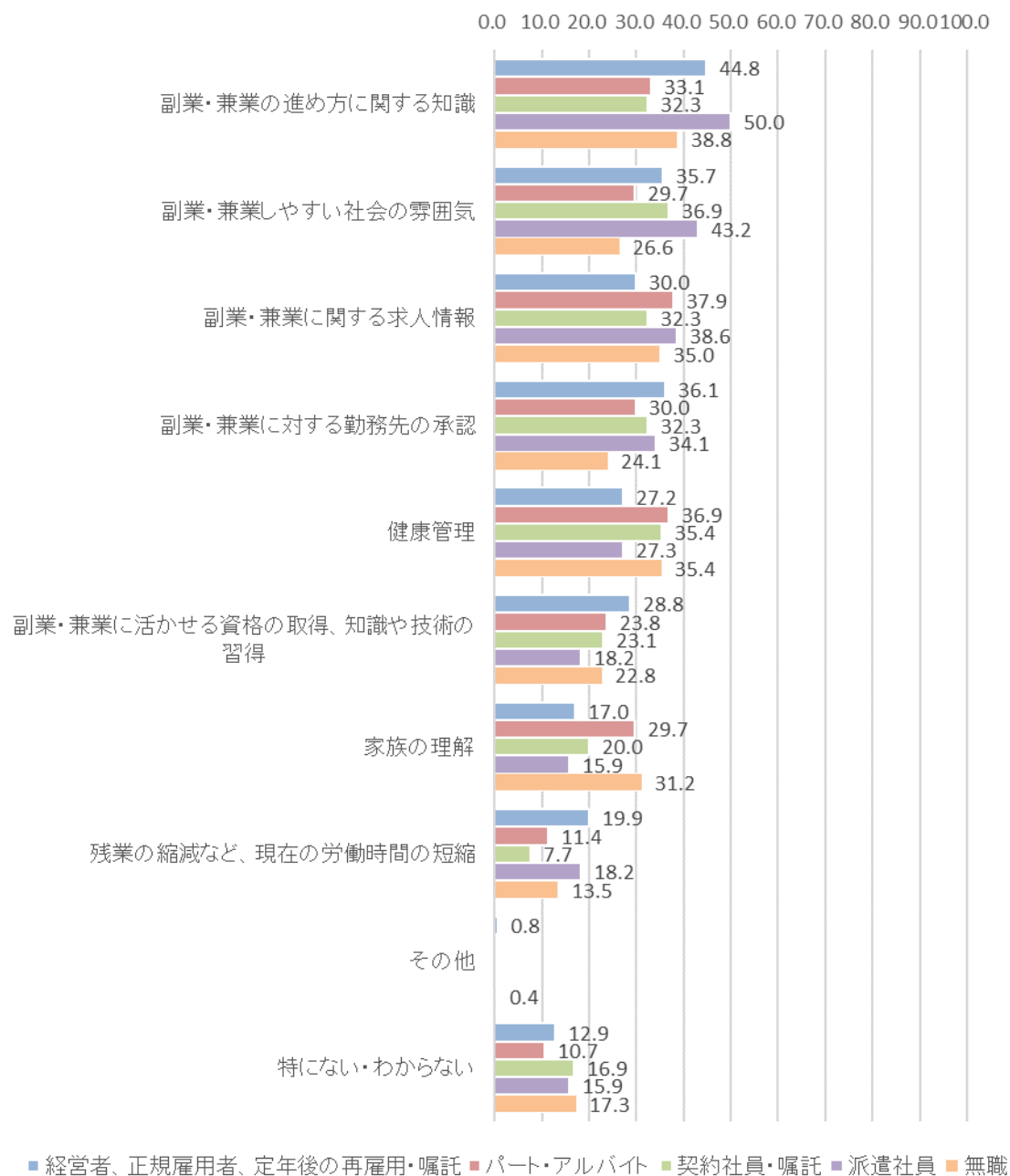


N:

29 歳以下	30 代	40 代	50 代	60 歳以上
155	183	197	120	47

<就業形態によるクロス集計結果>

- ・「正規雇用者等」及び「派遣社員」では、「副業・兼業の進め方に関する知識」(44.8%、50.0%)が最も高く、他の就業形態と比較して高い。



N:

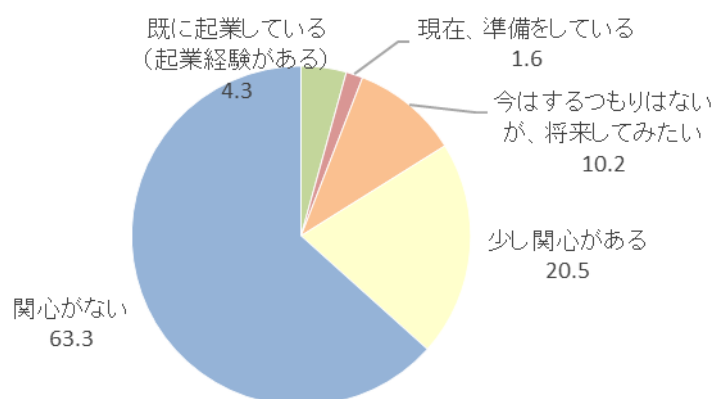
正規雇用者等	パート・アルバイト	契約社員・嘱託	派遣社員
793	290	65	44



Q14 あなたは起業経験がありますか。あるいは起業したいと思いますか。最も当てはまるものを1つ選んでください。

なお、起業とは、自ら会社を設立したものやフランチャイズチェーンへの参加が該当します。社内昇格や親族等からの経営権引継は該当しません。

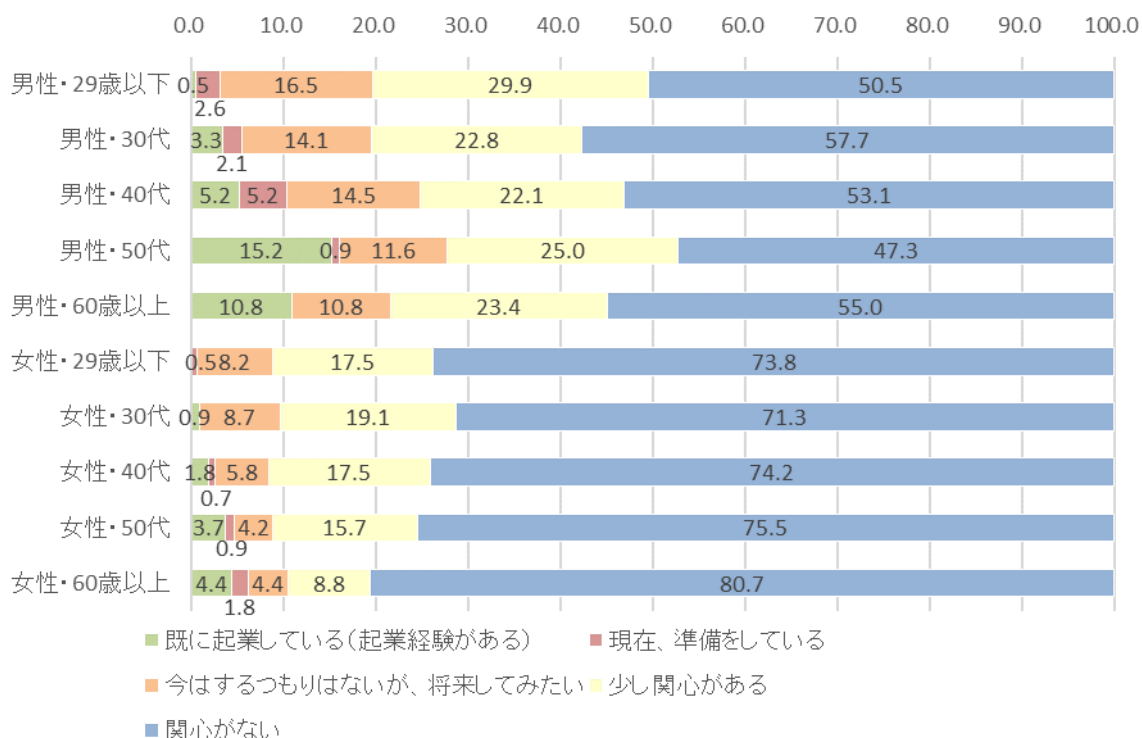
- ・ 「既に起業している(起業経験がある)」は 4.3%、「現在、準備をしている」は 1.6%となる。
- ・ 関心がある(「今はするつもりはないが、将来してみたい」、「少し関心がある」)とした割合は 30.7%となる。



N:2,078

### <性・年代別によるクロス集計結果>

- ・「既に起業している(起業経験がある)」は 50 代の男性(15.2%)が最も高く、次いで 60 歳以上の男性(10.8%)と続く。
- ・男女とも年代が低くなるほど、関心があるとした割合は高くなっており、29 歳以下の男性は4割を超える(46.4%)。

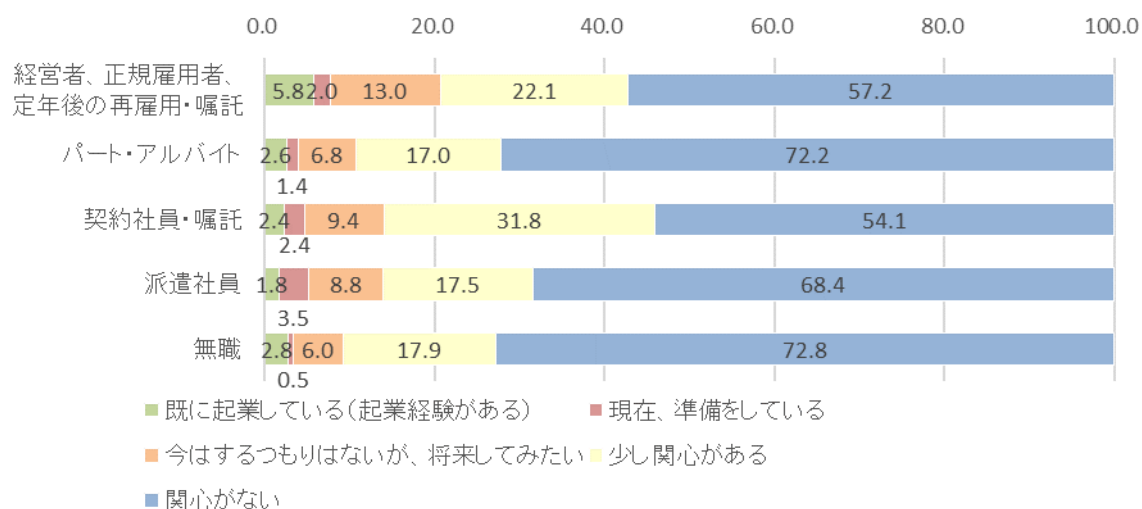


N:

男性					女性				
29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上	29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上
194	241	290	224	111	183	230	275	216	114

### <就業形態によるクロス集計結果>

- ・「既に起業している(起業経験がある)」は、「正規雇用者等」が 5.8%となり、他の就業形態と比較して高い。
- ・関心があるとした割合は「契約社員・嘱託」で高く、約4割となる(41.2%)。

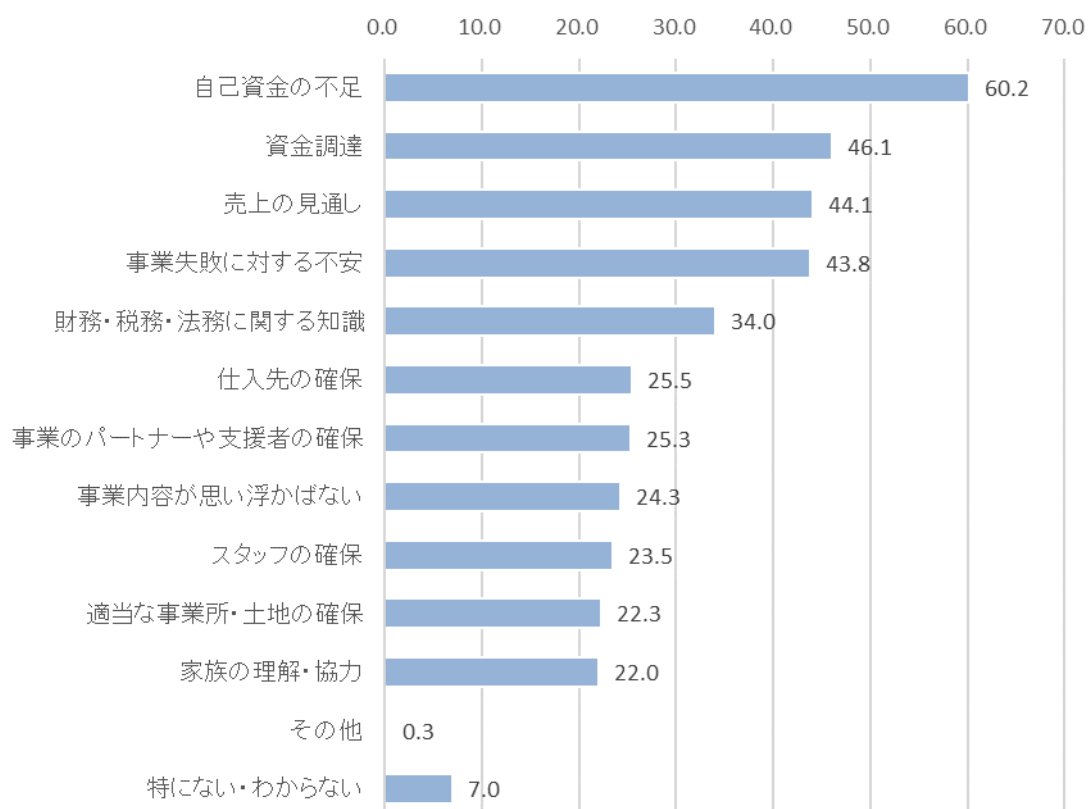


【Q14で「既に起業している(起業経験がある)」「現在、準備をしている」「今はするつもりはないが、将来してみたい」「少し関心がある」を選択した人に対する設問】

Q15 あなたが起業するにあたって課題と思うことは何ですか。当てはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

※今後、起業意向がない方も、起業することを想定してお答えください。

- ・ 「自己資金の不足」(60.2%)が最も高く、次いで「資金調達」(46.1%)となっており、資金面の課題が上位を占める。
- ・ 次いで「売上の見通し」(44.1%)、「事業失敗に対する不安」(43.8%)が4割を超える。

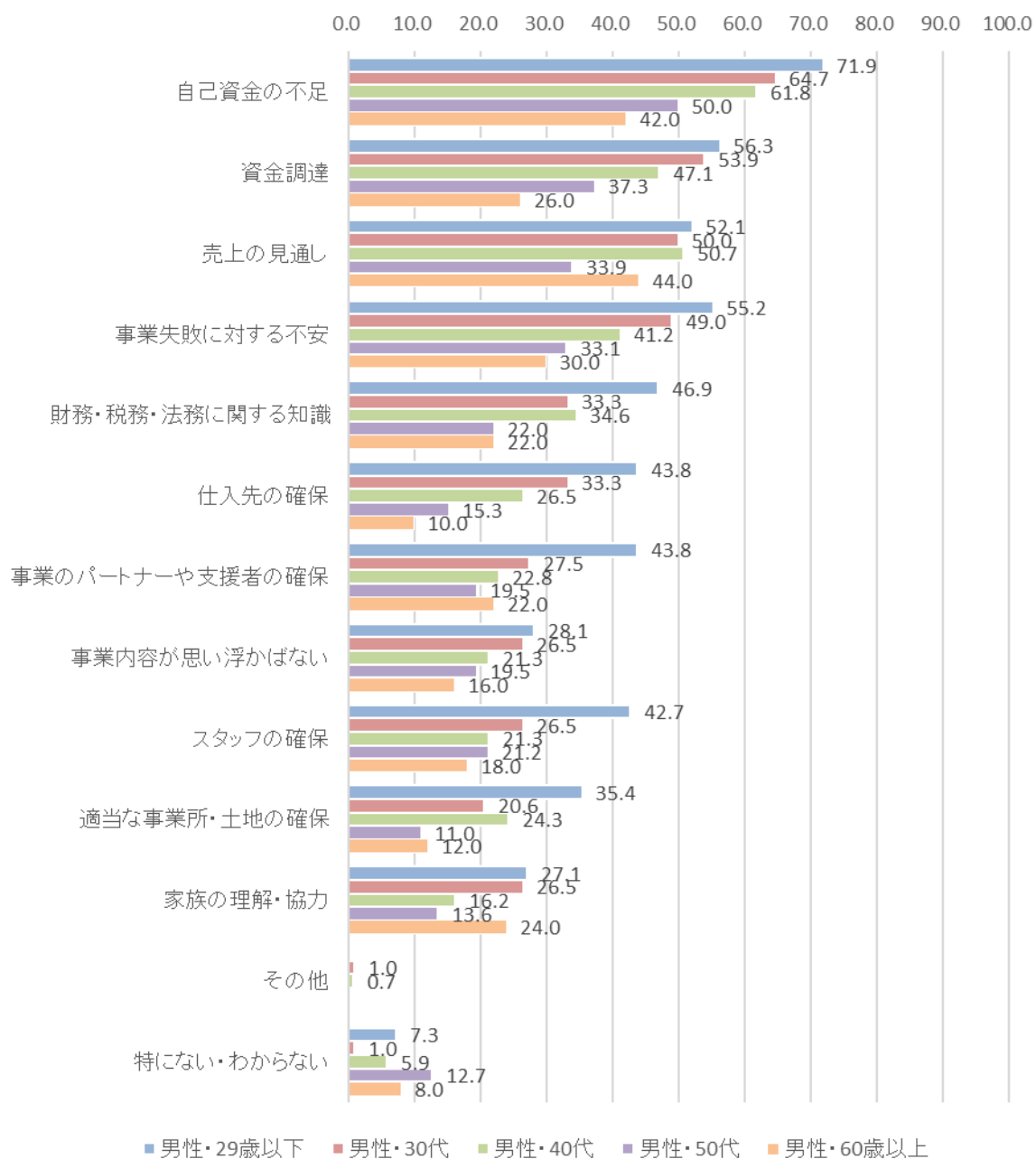


N:762

<性・年代別によるクロス集計結果>

(男性)

- ・ 多くの項目において年代が低くなるほど割合が高くなる傾向にあるが、「売上の見通し」は 40代よりも年代が低くなると、年代を問わずいずれも 50%程度と高い。
- ・ 特に 29 歳以下では、「自己資金の不足」(71.9%)をはじめ、「資金調達」(56.3%)、「事業失敗に対する不安」(55.2%)、「売上の見通し」(52.1%)、「財務・税務・法務に関する知識 (46.9%)」、「仕入先の確保(43.8%)」、「事業のパートナーや支援者の確保(43.8%)」、「スタッフの確保」(42.7%)と8項目で4割を超えており、様々な課題を認識していることがうかがえる。

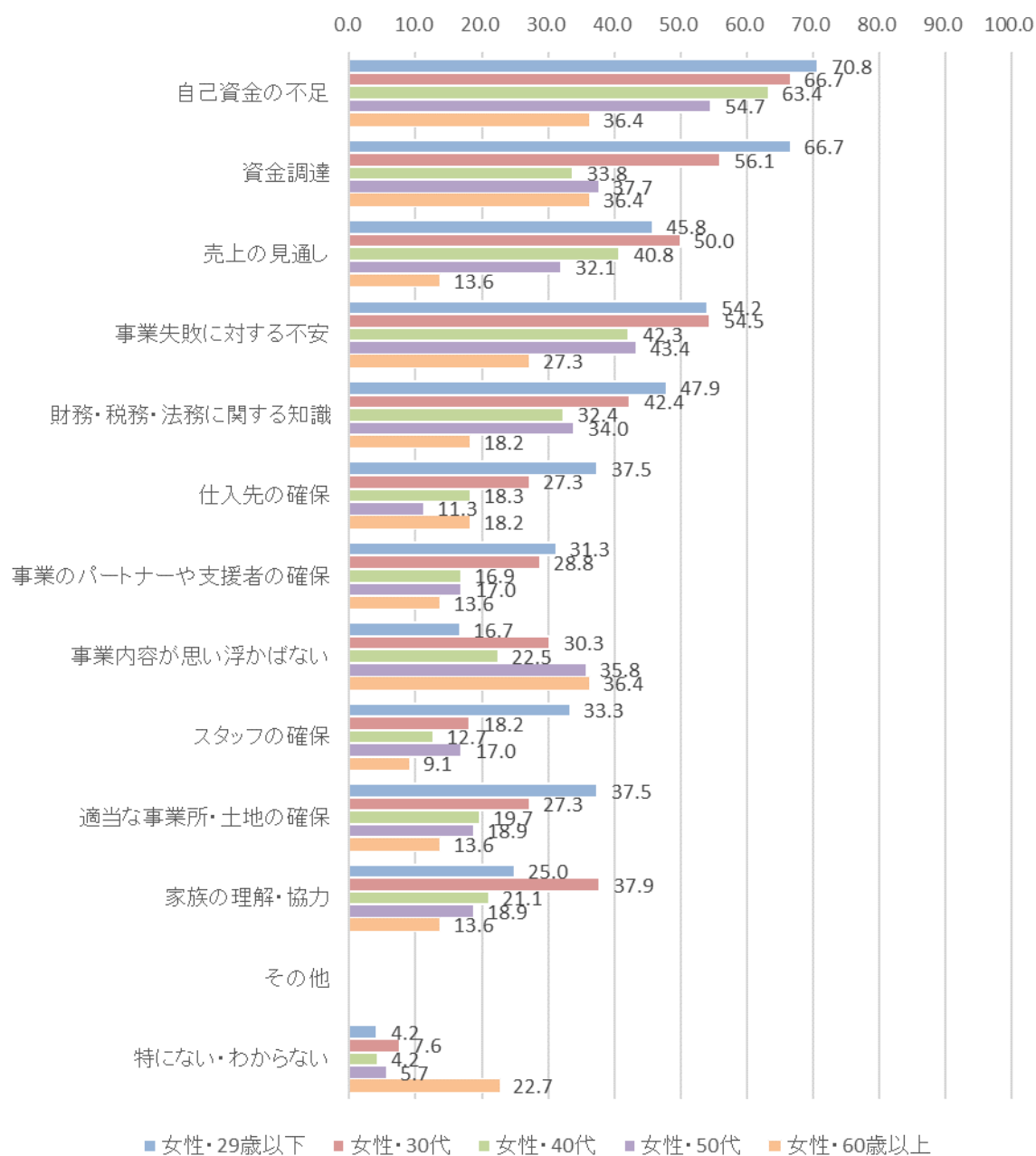


N:

29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上
96	102	136	118	50

(女性)

- ・ 女性では、男性の傾向と概ね変わらない。

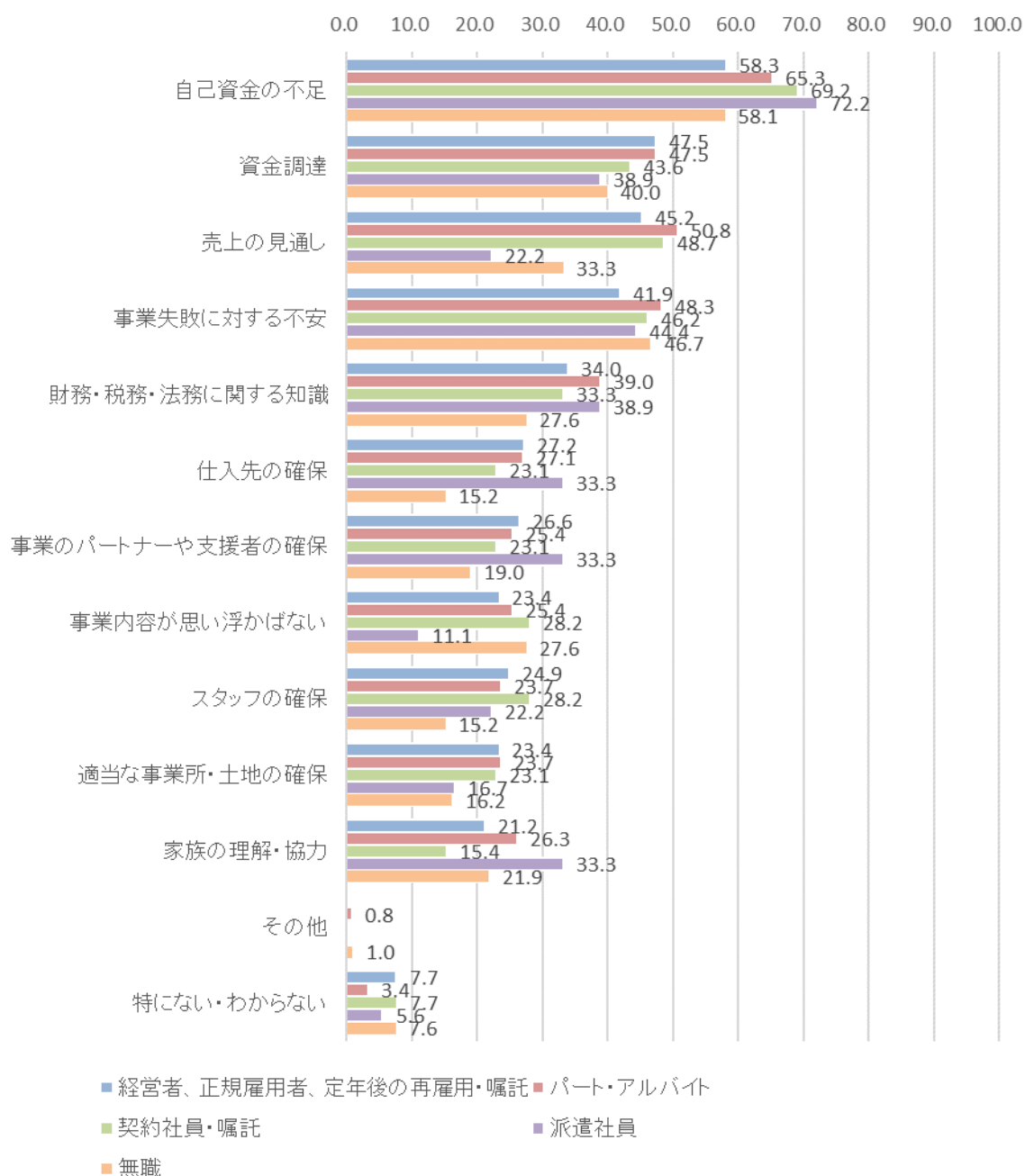


N:

29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上
48	66	71	53	22

<就業形態によるクロス集計結果>

- ・「自己資金の不足」について、非正規雇用者が「正規雇用者等」と比較して高い。
- ・この他上位項目について、「売上の見通し」が「派遣社員」で低いものの、就業形態による傾向の違いはみられない。

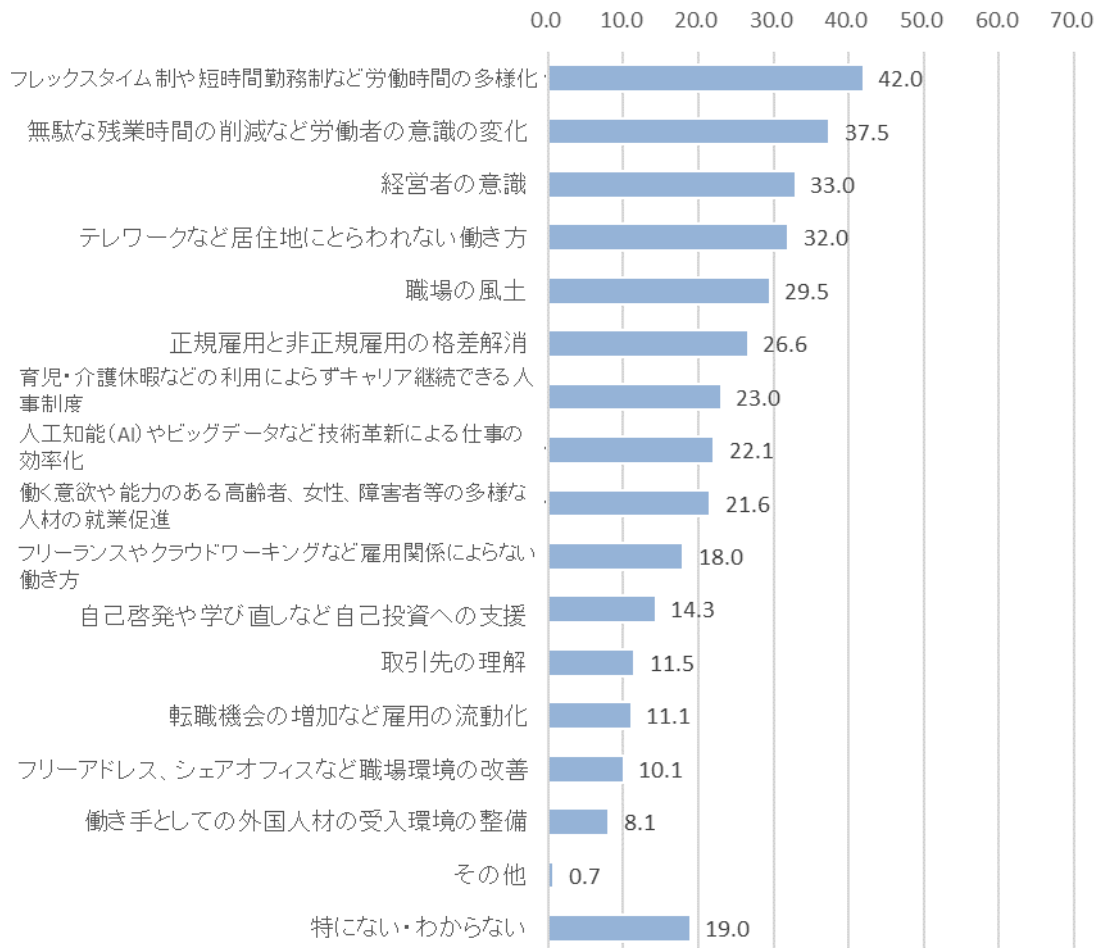


N:

正規雇用者等	パート・アルバイト	契約社員・嘱託	派遣社員	無職
482	118	39	18	105

Q16 働き方改革の重要性が高まっていますが、その実現に向けてどのようなことが必要だと思いますか。当てはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

- ・ 「フレックスタイム制や短時間勤務制などの労働時間の多様化」(42.0%)が最も高い。
- ・ 次いで「無駄な残業時間の削減など労働者の意識の変化」(37.5%)、「経営者の意識」(33.0%)、「テレワークなど居住地にとらわれない働き方」(32.0%)が3割を超える。

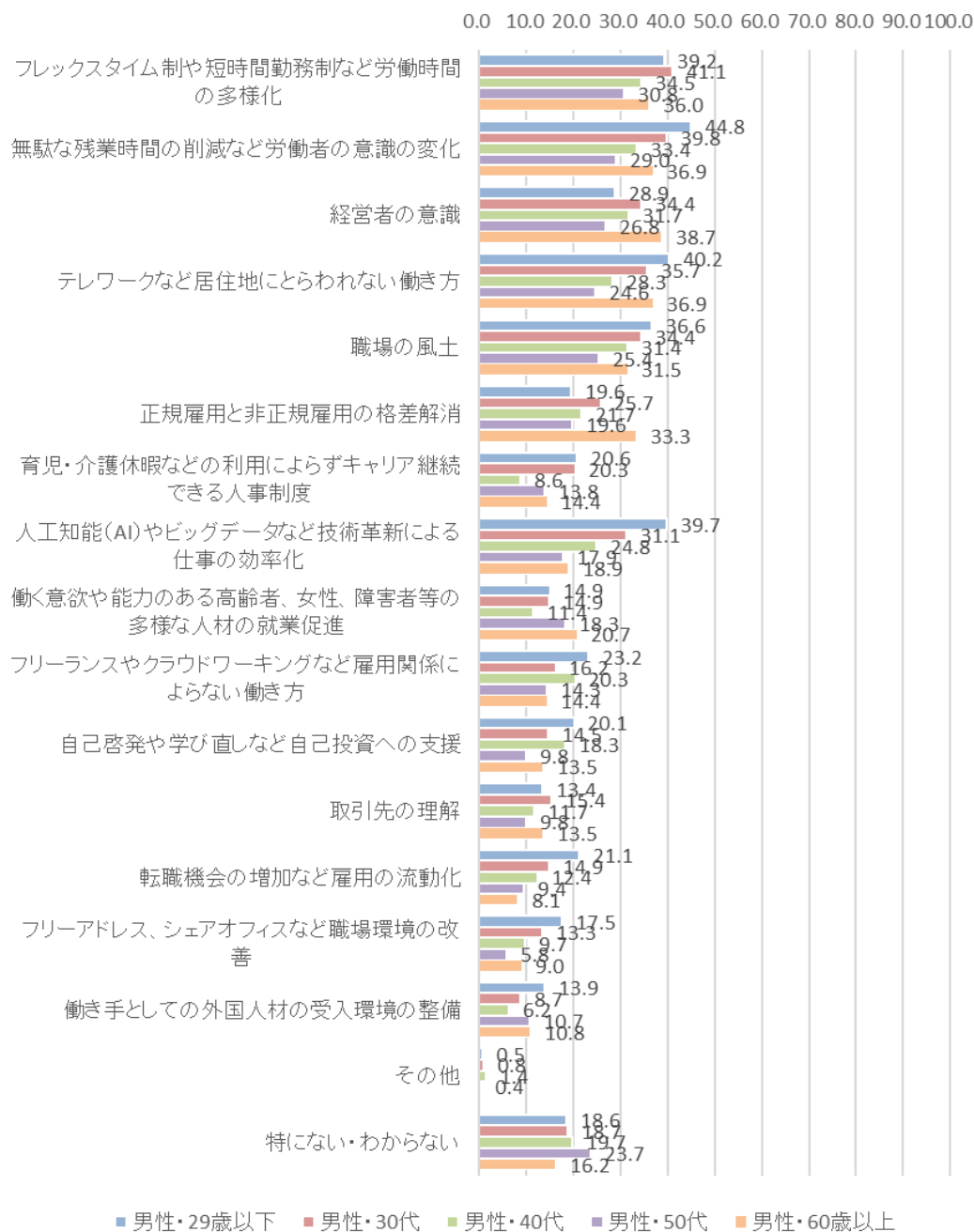


N:2,078

<性・年代別によるクロス集計結果>

(男性)

- ・ 29 歳以下では、「無駄な残業時間の削減など労働者の意識の変化」(44.8%)や「テレワークなど居住地にとられない働き方」(40.2%)、「人工知能(AI)やビッグデータなど技術革新による仕事の効率化」(39.7%)が4割前後となり、他の年代と比較して高い。
- ・ 60 歳以上では、「経営者の意識」(38.7%)や「正規雇用と非正規雇用の格差解消」(33.3%)が他の年代と比較して高い。



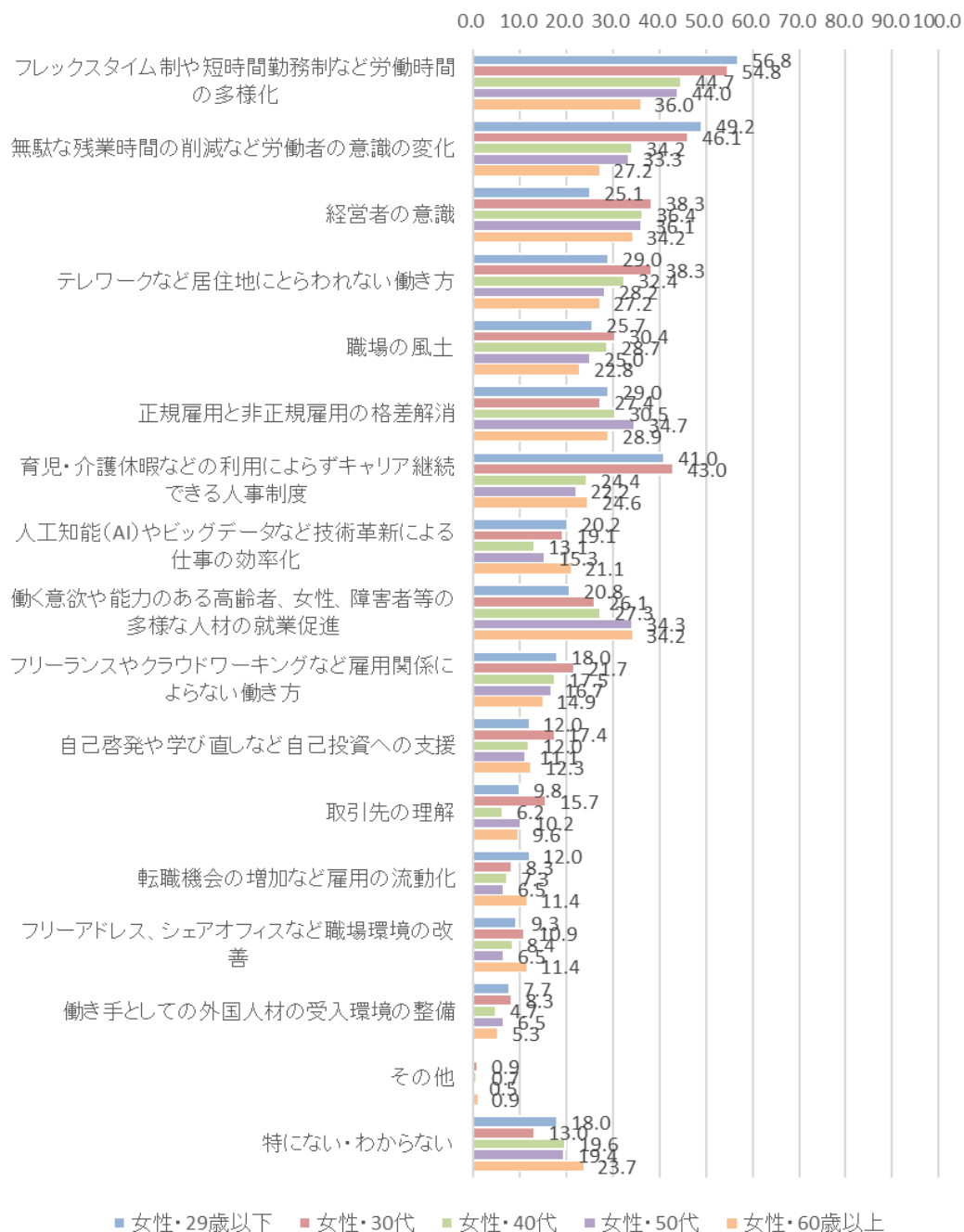
N:

29 歳以下	30 代	40 代	50 代	60 歳以上
194	241	290	224	111



(女性)

- ・ 29 歳以下及び 30 代では、「育児・介護休暇などの利用によらずキャリア継続できる人事制度」(41.0%、43.0%)が他の年代、更には男性と比較して突出して高い。また、「フレックスタイム制や短時間勤務制など労働時間の多様化」(56.8%、54.8%)や「無駄な残業時間の削減など労働者の意識の変化」(49.2%、46.1%)も高く、若い年代が必要性を強く認識していることがうかがえる。
- ・ 50 代及び 60 歳以上では、「働く意欲や能力のある高齢者、女性、障害者等の多様な人材の就業促進」(34.3%、34.2%)が他の年代と比較して突出して高い。

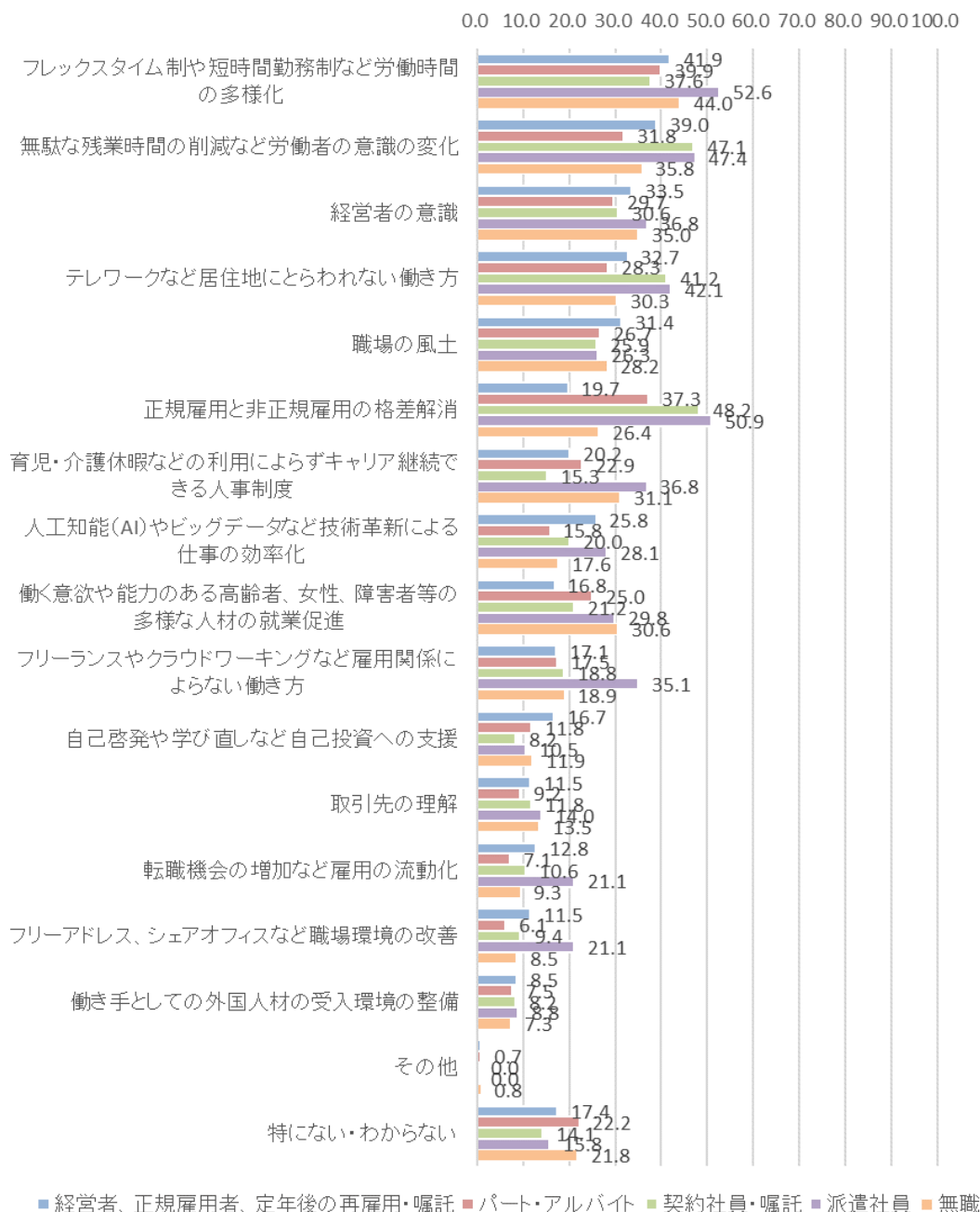


N:

29 歳以下	30 代	40 代	50 代	60 歳以上
183	230	275	216	114

<就業形態によるクロス集計結果>

- ・「派遣社員」や「契約社員・嘱託」では、「正規雇用と非正規雇用の格差解消」(50.9%、48.2%)、「無駄な残業時間の削減など労働者の意識の変化」(47.4%、47.1%)、「テレワークなど居住地にとられない働き方」(42.1%、41.2%)が他の就業形態と比較して突出して高い。
- ・また、「派遣社員」では、「フレックスタイム制や短時間勤務制など労働時間の多様化」(52.6%)や「育児・介護休暇などの利用によらずキャリア継続できる人事制度」(36.8%)も他の就業形態と比較して高く、就業継続できる環境への期待の大きさがうかがえる。

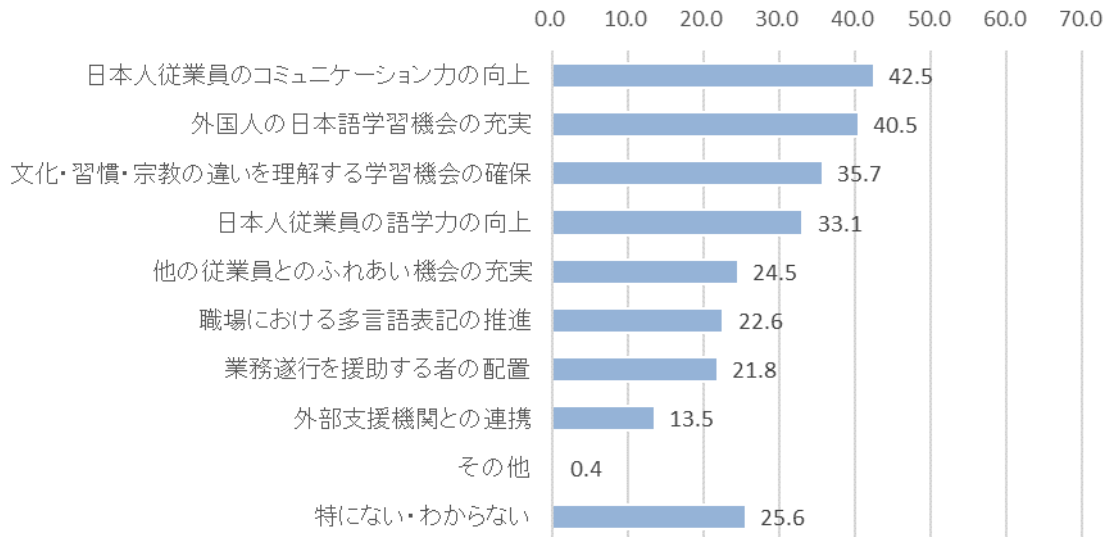


N:

正規雇用者等	パート・アルバイト	契約社員・嘱託	派遣社員	無職
1,126	424	85	57	386

Q17 外国人が働きやすく活躍できる職場づくりに必要なことについて、当てはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

- ・ 「日本人従業員のコミュニケーション力の向上」(42.5%)が最も高く、次いで「外国人の日本語学習機会の充実」(40.5%)、「文化・習慣・宗教の違いを理解する学習機会の確保」(35.7%)と続く。

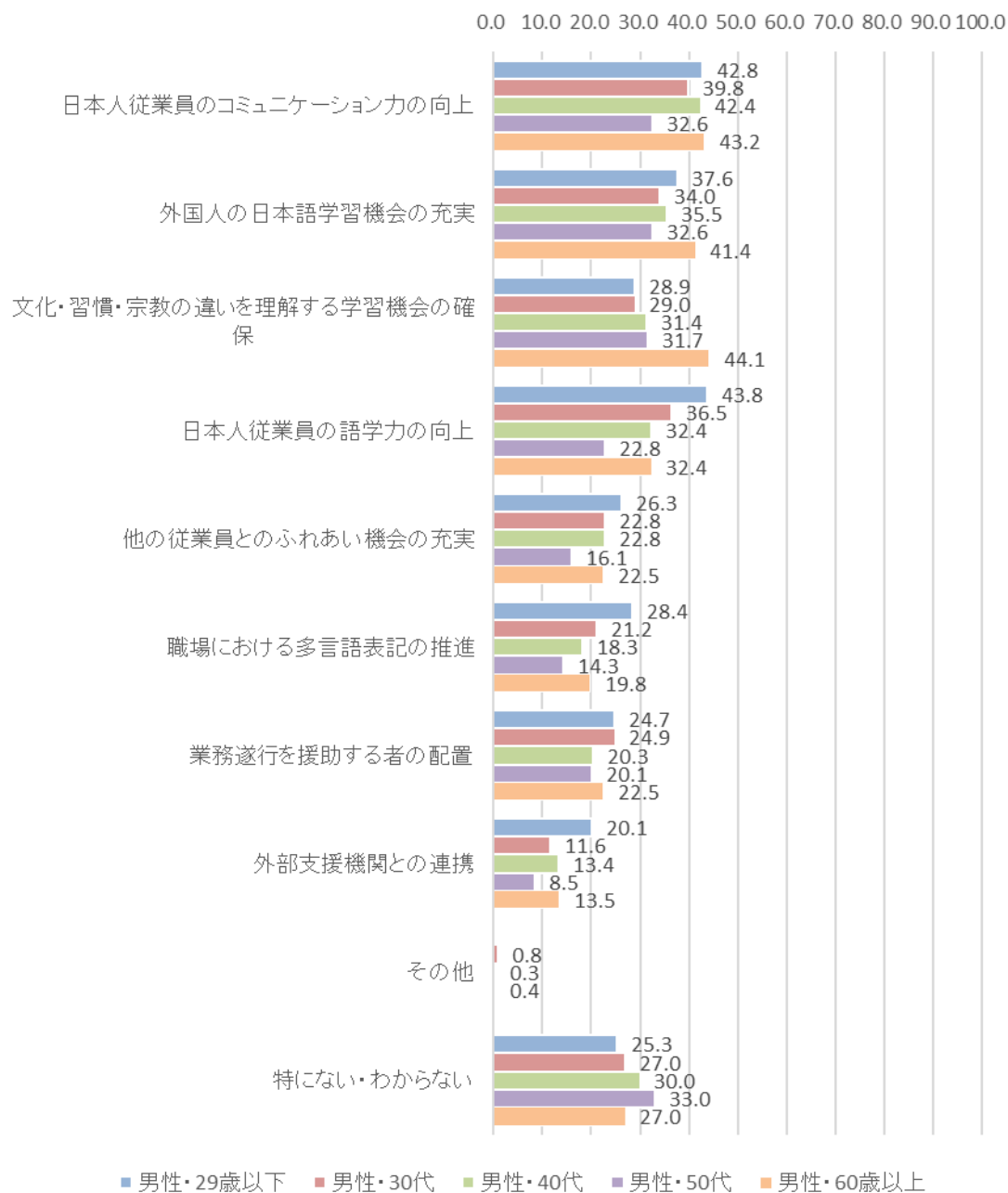


N:2,078

<性・年代別によるクロス集計結果>

(男性)

- ・ 年代による違いは比較的少ない。
- ・ 60 歳以上では「文化・習慣・宗教の違いを理解する学習機会の確保」(44.1%)が最も高く、また、他の年代と比較して突出して高い。
- ・ 29 歳以下では「日本人従業員の語学力の向上」(43.8%)が最も高く、「外国人の日本語学習機会の充実」を大きく上回る。

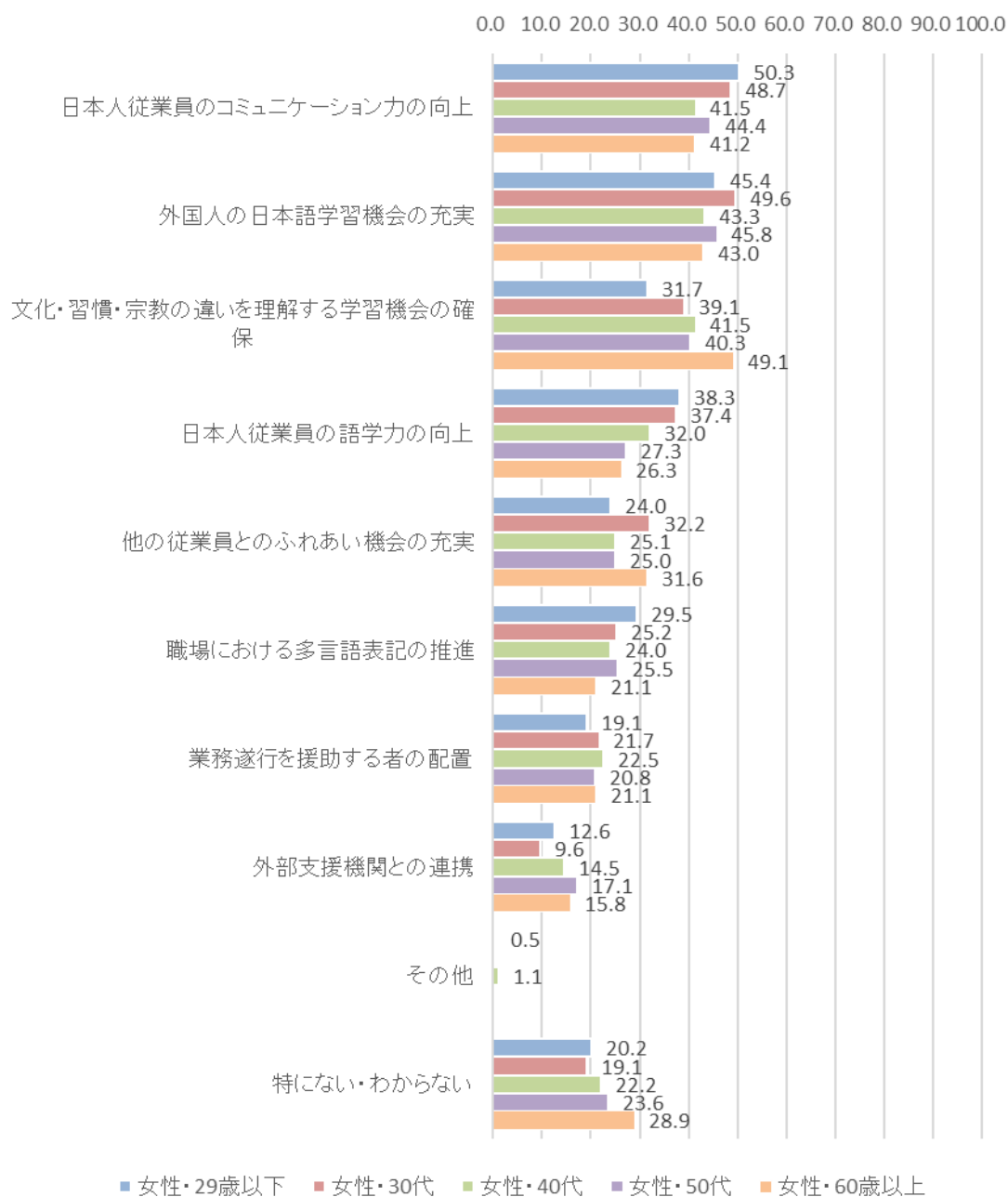


N:

29 歳以下	30 代	40 代	50 代	60 歳以上
194	241	290	224	111

(女性)

- ・ 男性と同様に年代による違いは比較的少ないが、全般的に男性よりも高い。
- ・ 60歳以上では、男性と同様に「文化・習慣・宗教の違いを理解する学習機会の確保」(49.1%)が最も高く、また、他の年代と比較して突出して高い。

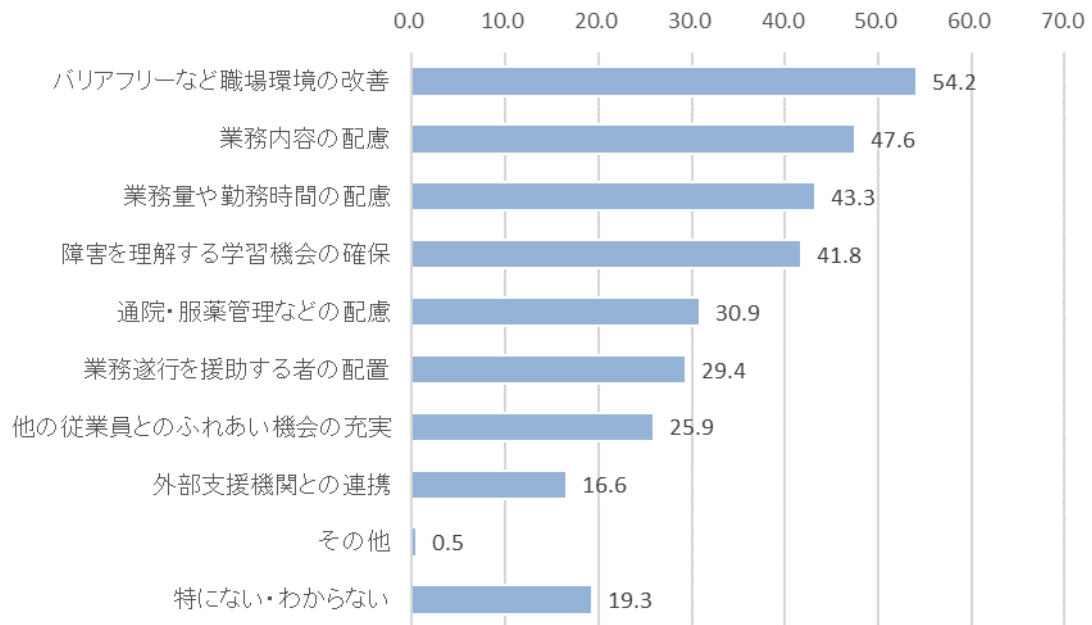


N:

29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上
183	230	275	216	114

Q18 障害者が働きやすく活躍できる職場づくりに必要なことについて、当てはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

- ・ 「バリアフリーなど職場環境の改善」(54.2%)が最も高く、次いで「業務内容の配慮」(47.6%)、「業務量や勤務時間の配慮」(43.3%)と続く。

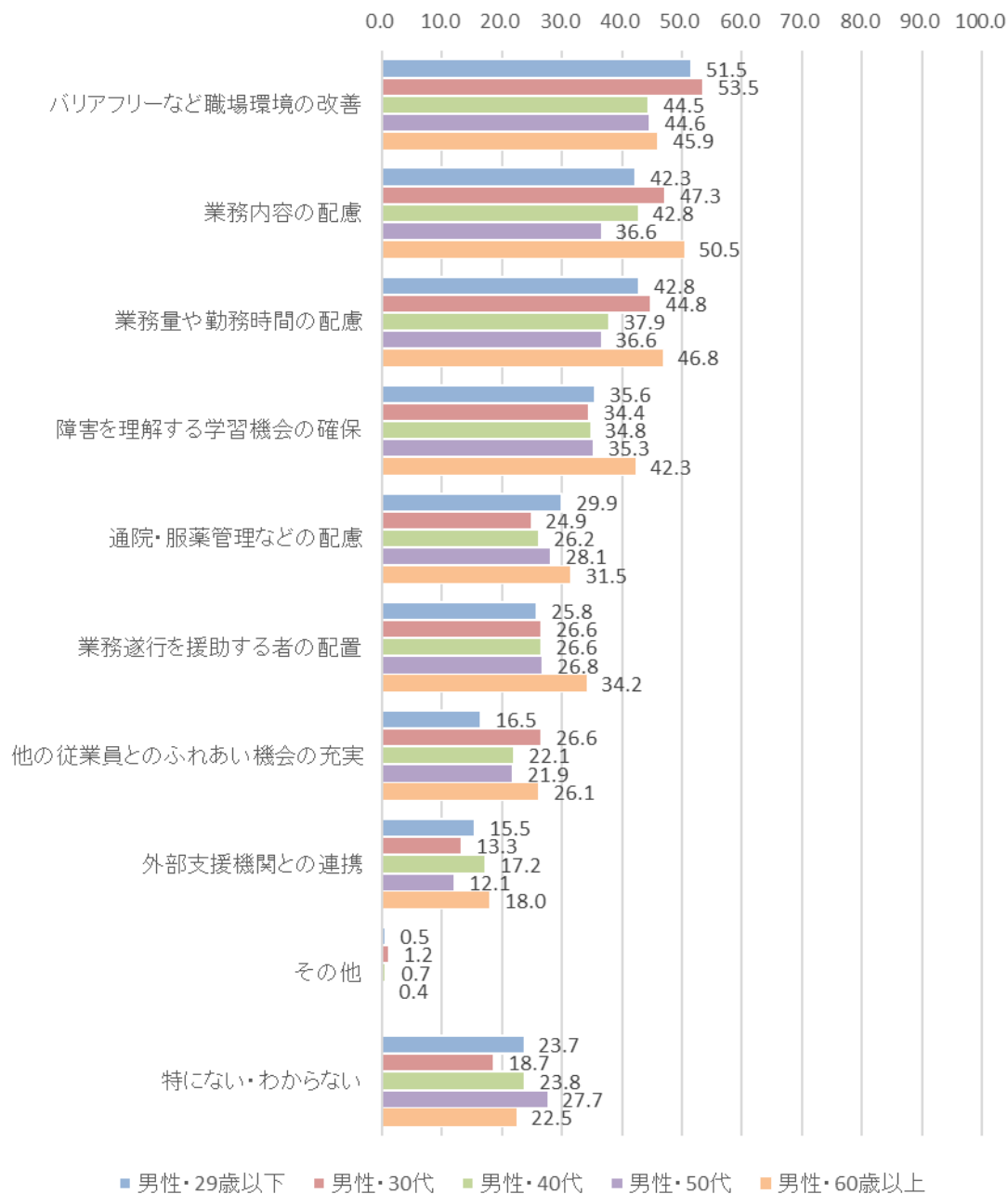


N:2,078

<性・年代別によるクロス集計結果>

(男性)

- ・ 年代による違いは少ない。
- ・ 29歳以下や30代では、「バリアフリーなど職場環境の改善」(51.5%、53.5%)が最も高い。
- ・ 60歳以上では、「障害を理解する学習機会の確保」(42.3%)が他の年代と比較して高い。

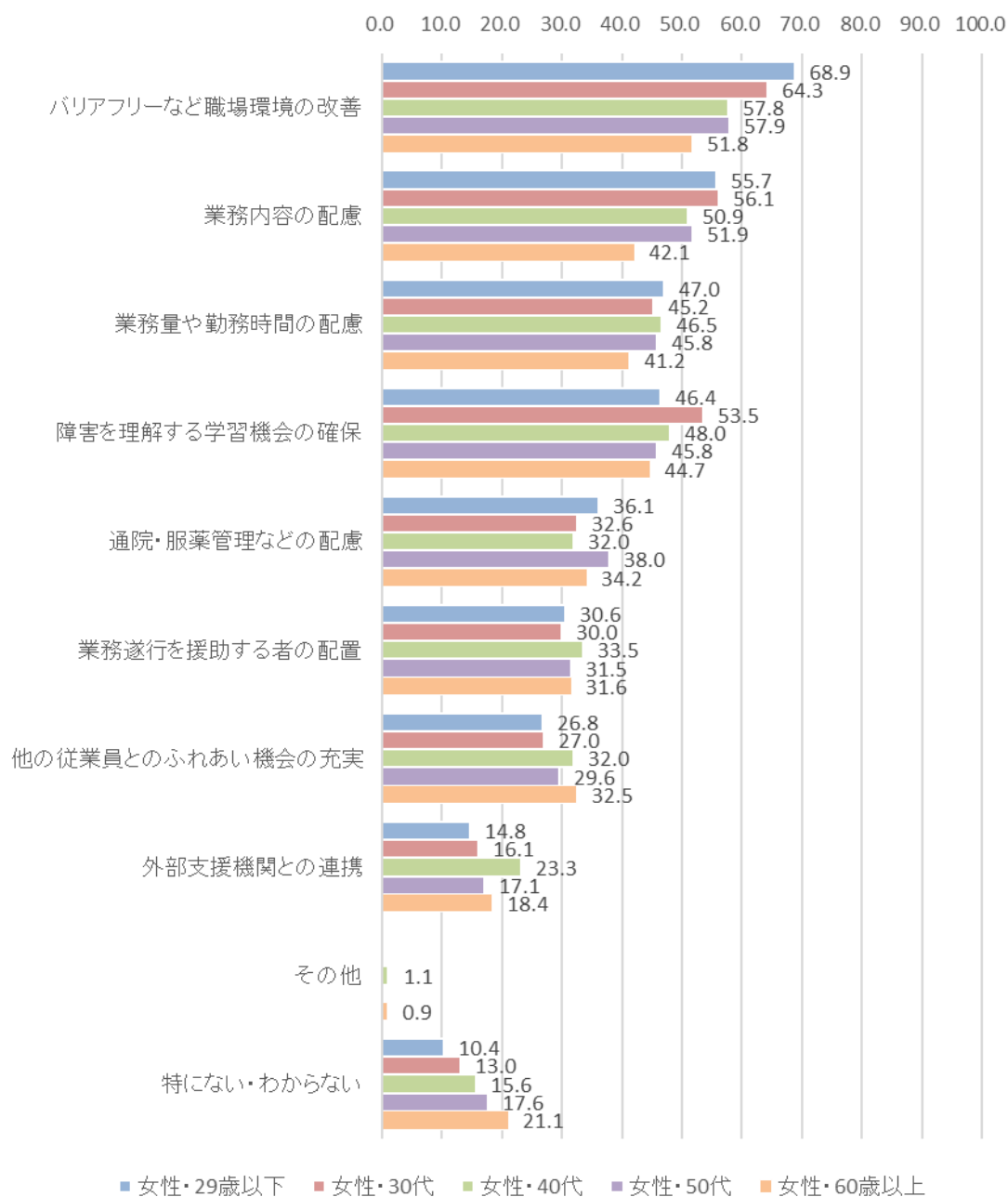


N:

29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上
194	241	290	224	111

(女性)

- ・ 男性と同様に年代による違いは比較的少ないものの、全般的に男性よりも高い。
- ・ 全ての年代において「バリアフリーなど職場環境の改善」が最も高く、特に 29 歳以下や 30 代では他の年代と比較して高くなっている(68.9%、64.3%)。



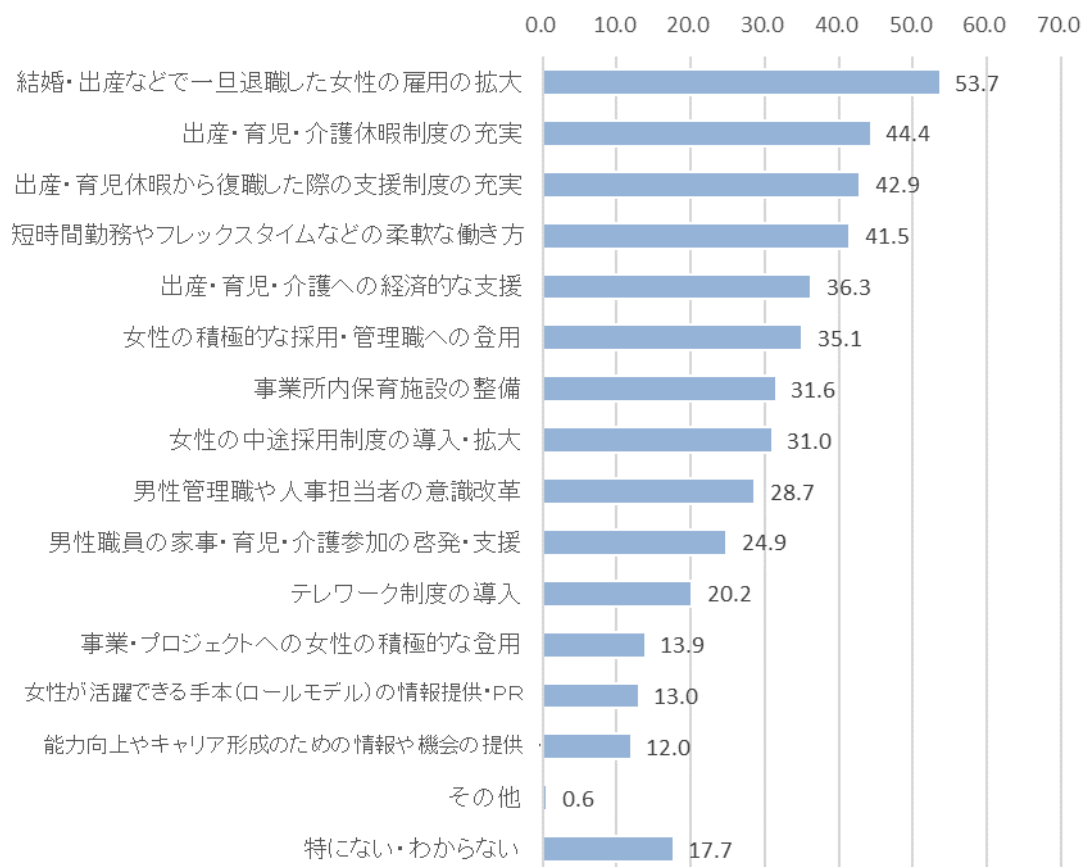
N:

29 歳以下	30 代	40 代	50 代	60 歳以上
183	230	275	216	114



Q19 女性が働きやすく活躍できる職場づくりに必要なことについて、当てはまるものを全て選んでください。(いくつでも)

- ・ 「結婚・出産などで一旦退職した女性の雇用の拡大」(53.7%)が最も高く、次いで「出産・育児・介護休暇制度の充実」(44.4%)、「出産・育児休暇から復職した際の支援制度の充実」(42.9%)と続く。
- ・ ライフイベントが働くことの妨げにならないような取り組みを重要と感じていることがうかがえる。

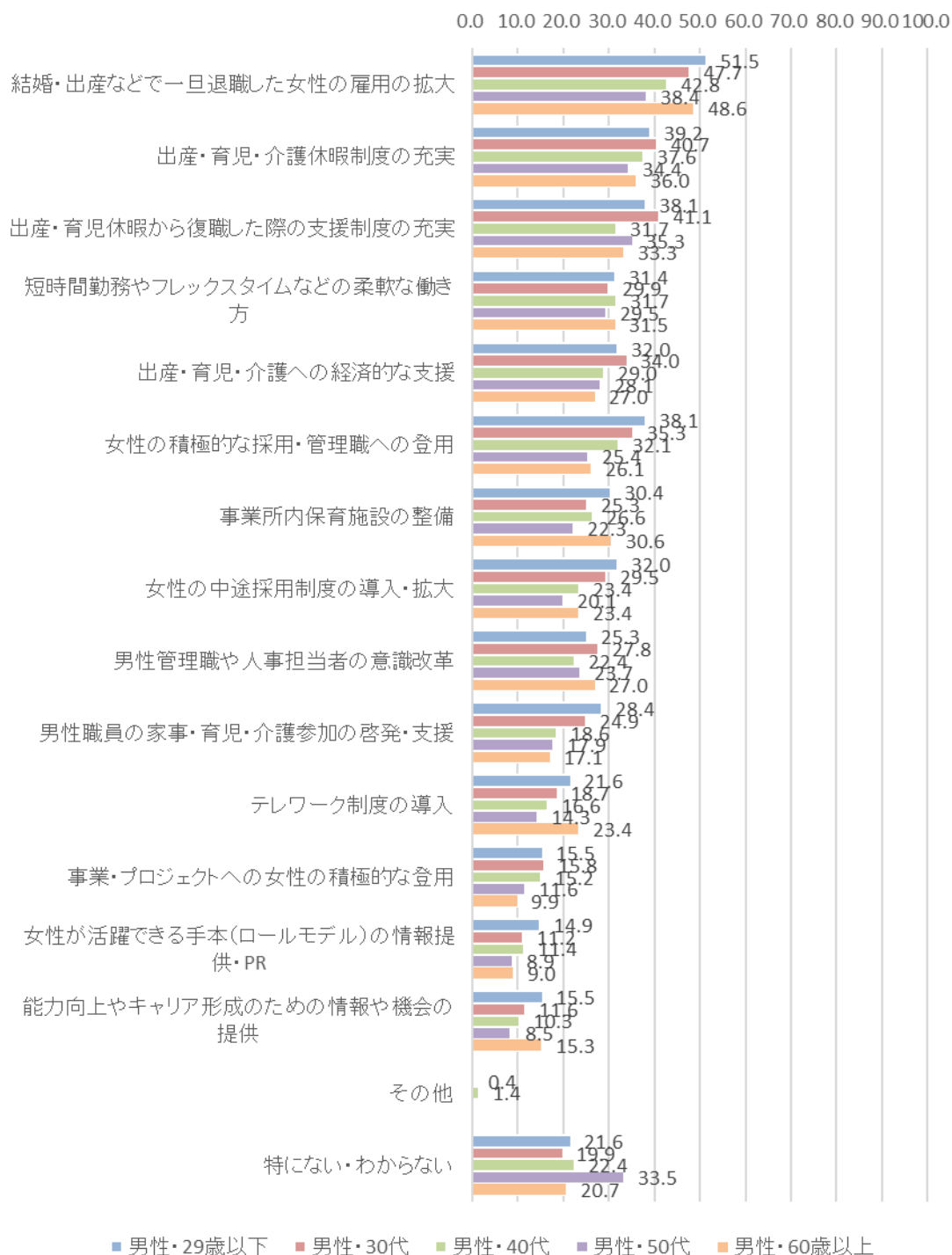


N:2,078

<性・年代別によるクロス集計結果>

(男性)

- 年代による違いは少ないものの、年代が低くなるほど、「結婚・出産などで一旦退職した女性の雇用の拡大」や「女性の積極的な採用・管理職への登用」は高くなる。

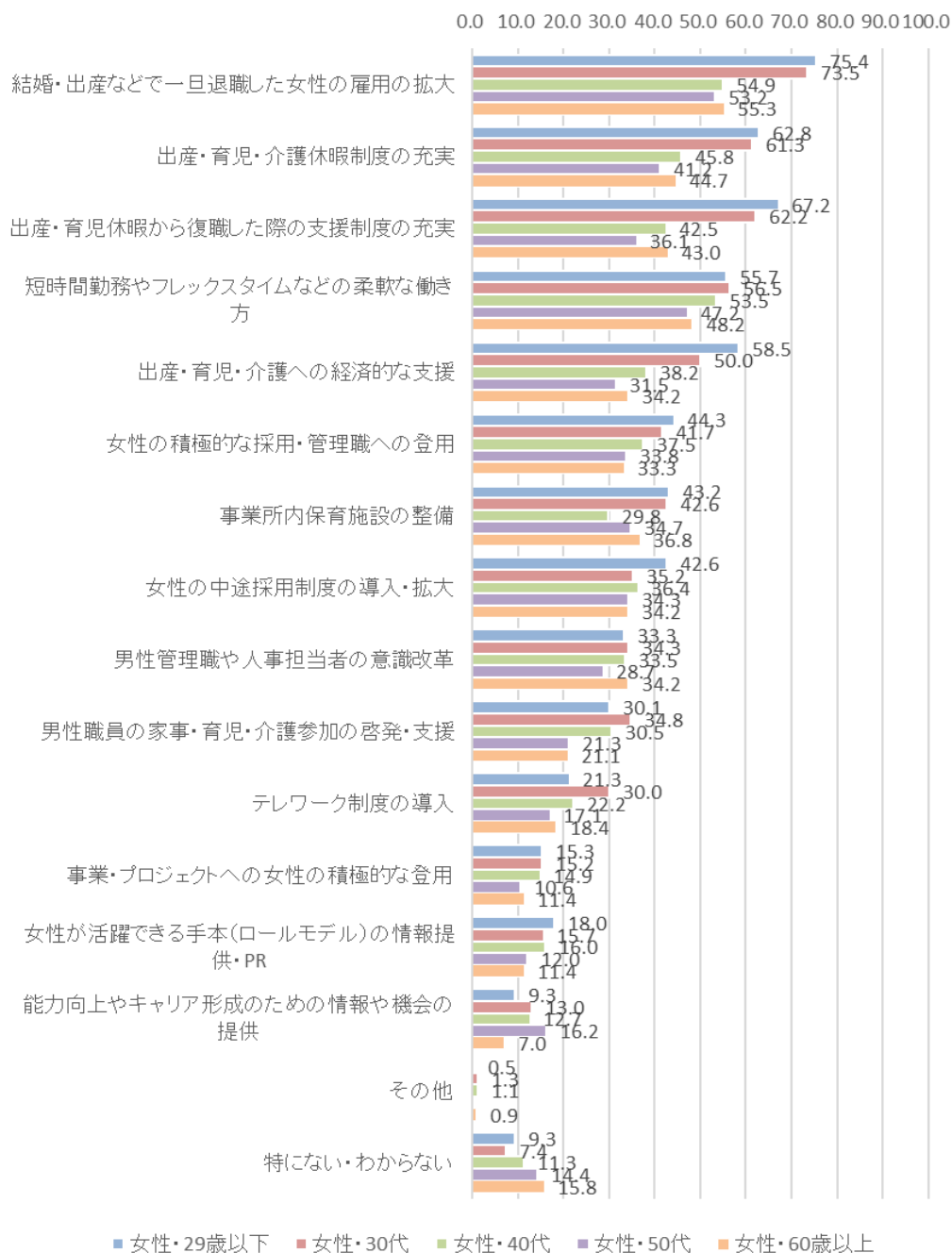


N:

29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上
194	241	290	224	111

(女性)

- ・ 多くの項目で男性を大きく上回る。
- ・ 29 歳以下及び 30 代では、「結婚・出産などで一旦退職した女性の雇用の拡大」(75.4%、73.5%)が7割を超えたことをはじめ、「出産・育児休暇から復職した際の支援制度の充実」(67.2%、62.2%)や「出産・育児・介護休暇制度の充実」(62.8%、61.3%)が他の年代と比較して突出して高い。
- ・ 40 代より低い年代では、「男性職員の家事・育児・介護参加の啓発・支援」が上位ではないものの、50 代より高い年代と比較して高い。

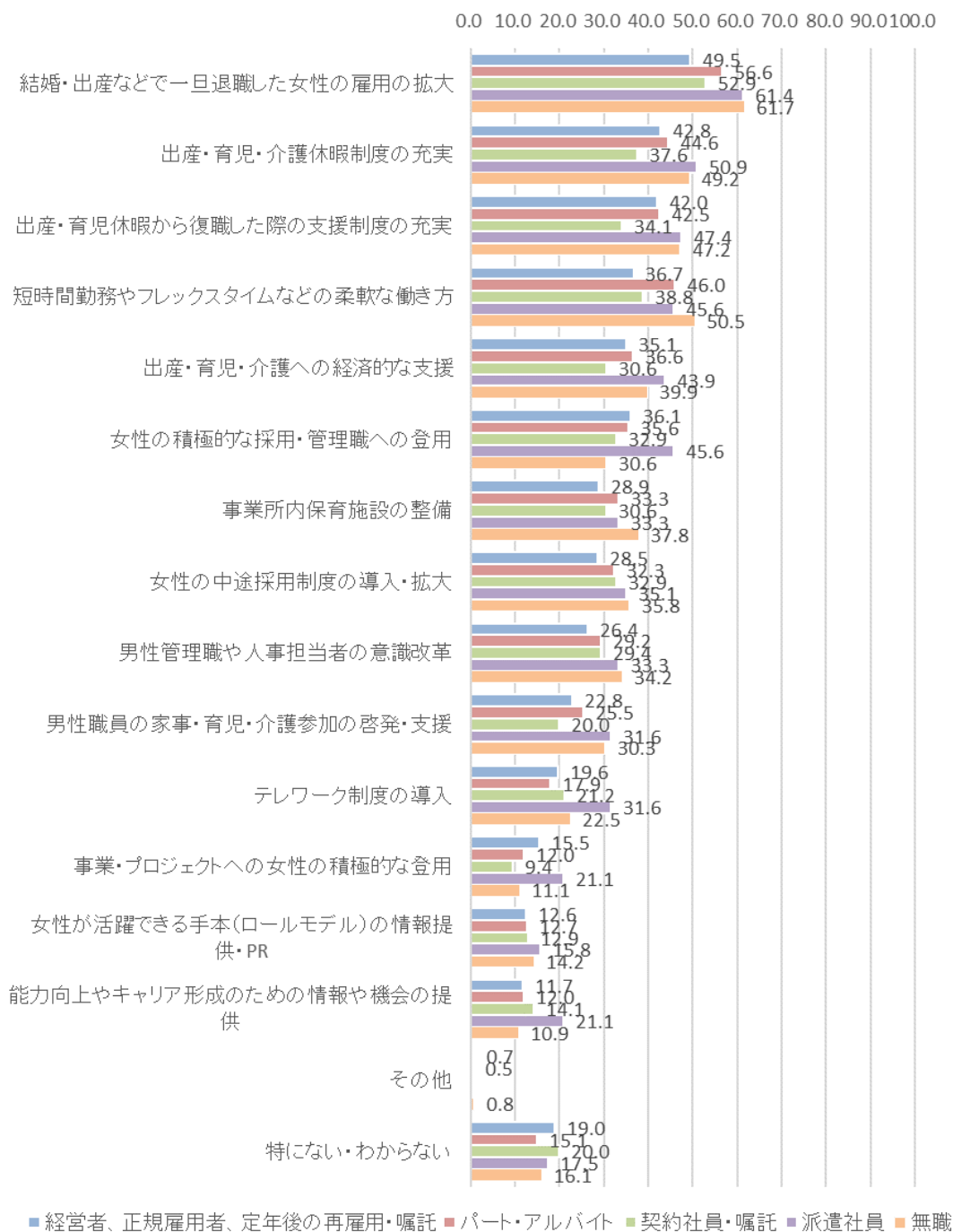


N:

29 歳以下	30 代	40 代	50 代	60 歳以上
183	230	275	216	114

<雇用形態によるクロス集計結果>

- ・ 雇用形態による傾向の違いは少ない。
- ・ 「派遣社員」や「無職」では、「結婚・出産などで一旦退職した女性の雇用の拡大」(61.4%、61.7%)が他の雇用形態と比較して高くなっている。

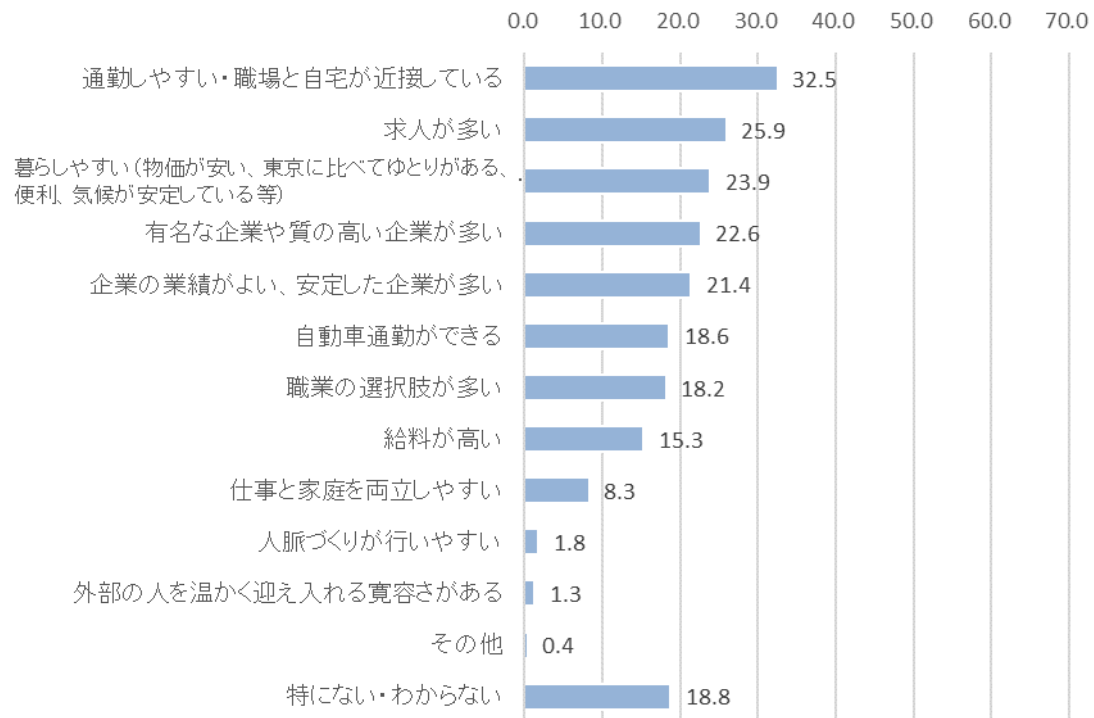


N:

正規雇用者等	パート・アルバイト	契約社員・嘱託	派遣社員	無職
1,126	424	85	57	386

Q20 あなたは、愛知県内で働くことのメリットは、何であると思いますか。最大3つまで選んでください。  
 ※現在働いていない方は愛知県内で働くことを想定してお答えください。

- ・ 「通勤しやすい・職場と自宅が近接している」(32.5%)が最も高い。
- ・ 次いで「求人が多い」(25.9%)、「暮らしやすい(物価が安い、東京に比べてゆとりがある、便利、気候が安定している等)」(23.9%)と続く。

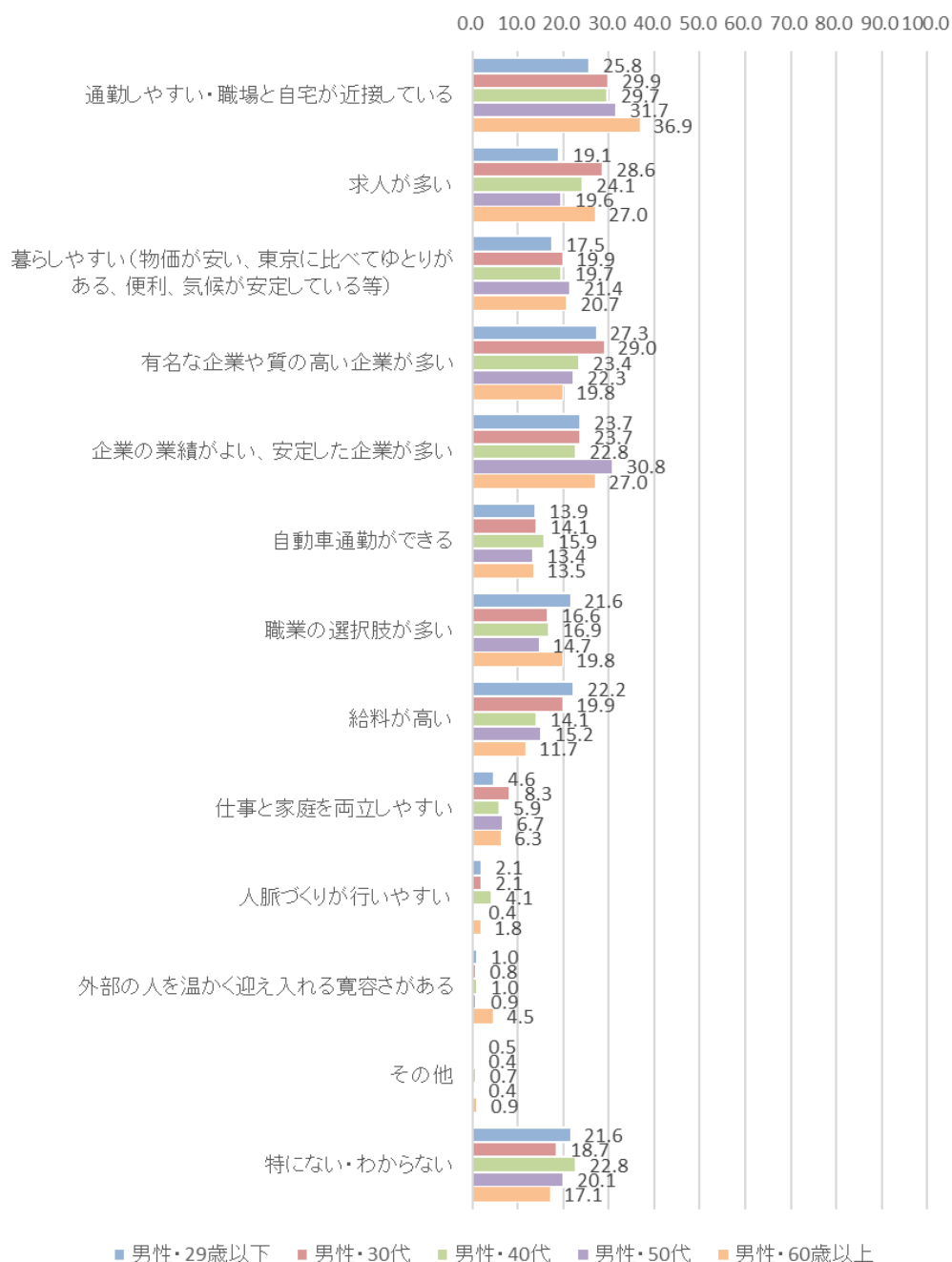


N:2,078

<性・年代別によるクロス集計結果>

(男性)

- ・ 50代及び60歳以上では、「通勤しやすい・職場と自宅が近接している」(31.7%、36.9%)が最も高い。次いで、「企業の業績がよい、安定した企業が多い」(30.8%、27.0%)が続くが、40代より低い年代ではそれ程高くない。
- ・ 「求人が多い」は、30代が28.6%となり他の年代と比較して最も高いものの、29歳以下が19.1%と最も低くなり、年代が近くても認識に違いがみられる。
- ・ 「暮らしやすい」は、20%前後でそれほど高くなく、メリットとして認識されていない。

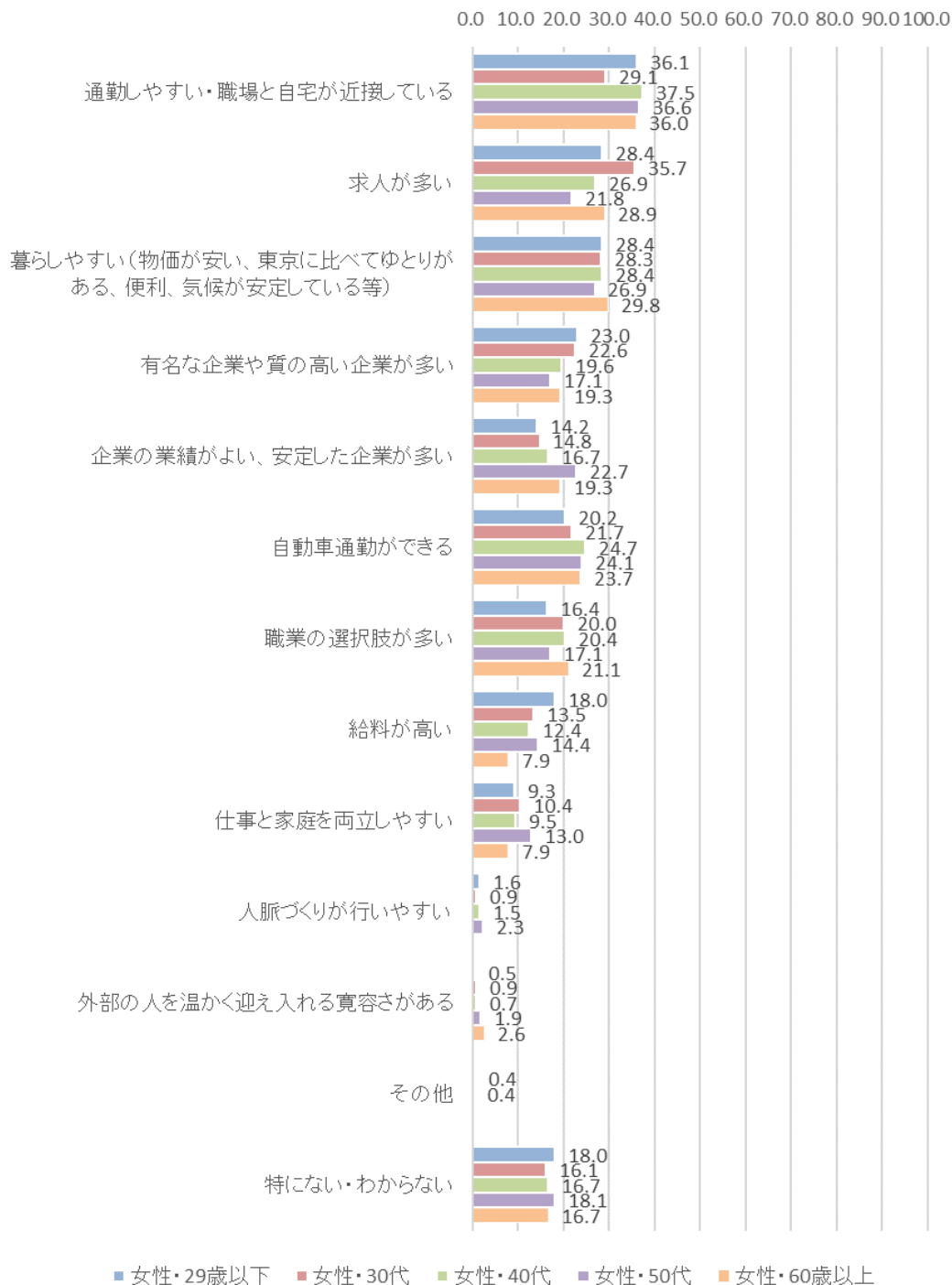


N:

29歳以下	30代	40代	50代	60歳以上
194	241	290	224	111

(女性)

- ・ 女性は男性よりも年代による傾向の違いが少ない。
- ・ 「求人が多い」は、男性と同様に 30 代が 35.7%となり他の年代と比較して最も高くなる一方、29 歳以下も 28.4%となり男性ほど差異が生じていない。
- ・ すべての年代で「暮らしやすい」が男性と比較して相対的に高い。

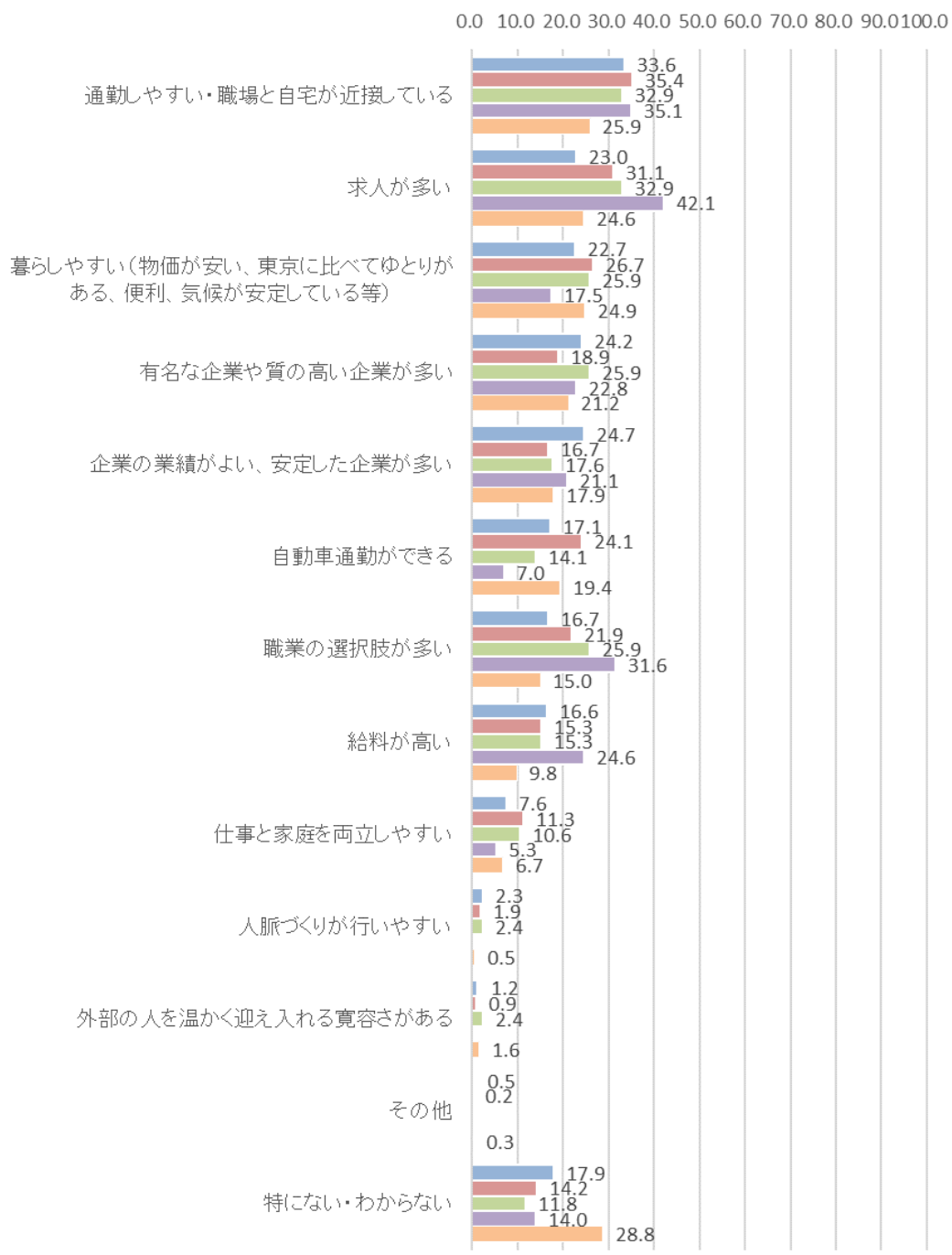


N:

29 歳以下	30 代	40 代	50 代	60 歳以上
183	230	275	216	114

<雇用形態によるクロス集計結果>

- ・ 「派遣社員」では、「求人が多い」が 42.1%と最も高く、また、他の雇用形態を大きく上回る。一方、「正規雇用者等」や「無職」では「派遣社員」の半分程度にとどまる。(23.0%、24.6%)
- ・ また、「職業の選択肢が多い」についても、同様な傾向がみられる。



N:

正規雇用者等	パート・アルバイト	契約社員・嘱託	派遣社員	無職
1,126	424	85	57	386